

派遣業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の型	労働者規模
2017	1	12～13	雪かきをしていた派遣先の店長を外に呼びに行った際に転倒し、右ひじを強打した。その際にパニック発作を起こし、緊急搬送され、肘にヒビが入っていることが分かった。	27	417	2	100～299
2017	1	17～18	派遣先からの退社時に、自家用車に乗車するため敷地内の駐車場を歩行中、足を滑らせて左臀部および左大腿部を強打した（左股関節ヒビ、軟骨の先端欠損）。	27	719	2	—
2017	1	13～14	派遣先事業場内製品出荷前置場で、基礎杭の鉄筋清掃作業（サビ取り）をしているとき、サビ取り中に回転させているワイヤーブラシの破片が飛び、右目眼球に刺さり負傷した。	52	159	6	10～29
2017	1	16～17	派遣先にて除雪作業中、屋根の上から氷の塊が落ちてきて、それが右眉毛辺りにあたり負傷した。	39	719	4	—
2017	1	13～14	備品引取作業時に、トラックのパワーゲートに乗り荷物を上げようと操作したところゲートに乗っていた弊社社員の足が挟まってしまい骨折した。	27	221	7	30～49
2017	1	0～1	ガラス基板が入ったBOXがクリーンルームから搬送される梱包作業で、ガラス基板が入ったBOX（約24kg）をコンベアAから取り出し、そばに置いた樹脂パレットに積む作業を2回実施し、その後コンベアBまで移動し、別のBOX（約28kg）をコンベアから持ち上げ、体を回転させた際に、腰に激痛が走り、立つことが出来ない状態になった。	30	921	19	100～299

2017	1	16～ 17	工場内において、製造終了後の豆伸ばしコンベアー機械拭取清掃作業時、ウェスを使用しコンベアーを動かしながら拭き取っていた所、コンベアー上部に設置されているローラーに右腕が接触し、右腕が引き込まれ、コンベアーとローラーに右腕が挟まった状態となった。	58	165	7	10～ 29
2017	1	8～9	台車で製品を運んでいた際、レールから台車がずれたため、台車に左足を踏まれ負傷した。	29	362	7	10～ 29
2017	1	14～ 15	物流倉庫内で玉掛け作業の後、高さ約70cm程の建材製品の上から降りようと、しゃがんだ状態で右足を床に着いた際に右足首を捻挫した。	30	529	3	—
2017	1	14～ 15	就業先の5Fカフェテリア内で、翌日の入試準備の為に机を移動させようとした際、片側にキャスターの付いた机の、キャスターの無い手前側を持ち上げて、押して移動しようとした所、机の重みでキャスターが回転して机が前に倒れ、左足甲へ落下し負傷した。	24	379	5	—
2017	1	13～ 14	派遣先において、160tプレス機の作業盤面（2835mm×1080mm×1440mm）で段取り替え中に、非常停止ボタンを押さずに製品を入れた時に上型パンチが下降してきて両手を負傷した。	35	155	7	1～9
2017	1	18～ 19	倉庫内作業場でピッキング作業をしている際、荷物をピックするためにバース付近に行き、パレットにある荷物の番号札を覗いて確認したところ、バースより転落し負傷した。	46	414	1	100～ 299
2017	1	9～ 10	高さ30cmの台車に乗った木質パネルを、2名でパネル上部と下部をそれぞれ持ち同じ高さの台車に乗せ替え作業を行っていた時に、片方を持っていた作業者の腰に痛みが発生して動けなくなり、救急搬送された。	37	921	19	50～ 99
2017	1	20～	工場内1階製造部の作業所において、検査・梱包中、製品を機械の後方へ落としてしまい、急いで拾おうとしたところベルトコンベ	36	224	7	50～

		21	アに左足を挟んでしまい左足の指にケガをした。				99
2017	1	18～ 19	派遣先メッキ工場にてバリ取り作業をしているときに、電動ヤスリ（サンダー）を製品に強く当ててしまい勢いではじかれて、自分の頬に跳ね返り、回転しているヤスリ部分で鼻周辺を切ってしまった。	52	153	8	10～ 29
2017	1	12～ 13	物流倉庫内で入荷作業中に棚に商品を置こうとしたところ、手がすべり足元に約7.5kg程の商品が落ち、角が右親指内側に当たり骨折してしまった。	25	611	4	—
2017	1	14～ 15	被災者（以下「甲」という）は当センターにおいて医療品の仕分け、たたみ作業に従事。甲は、作業場の通路を同僚と並び歩行中に、甲が同僚の前に出ようと追い越そうとした際、同僚の右足に甲の左足が引っ掛かり、前方へ転倒し、床に右大腿部を打ちつけ受傷した。	58	417	2	500～ 999
2017	1	8～9	高さ3m、幅2m位の高さでの作業で、移動する際に一番上のバラのパイプに左足を乗せた所、左足が滑り製品の間に落ちてしまい負傷した。	51	521	1	50～ 99
2017	1	19～ 20	派遣先の野菜処理室にて、スライサー（食材を設定した一定の厚さでカットする機械）の調整をしていた際、ベルトコンベア上にある食材を押さえる部分が操作した通りに下りてこなかったため、左手でこの部分を触りながら、右手で機械の上部にあるボタンを操作しようとしていたら、ベルトコンベアが動いていることに気付かず、ここに左肘が触れ、そのまま機械のカット部分に左手が入ってしまい受傷した。	58	224	8	—
2017	1	9～ 10	デイサービスセンター浴室にて（ユニットバス）洗髪を終え、浴槽に誘導した後の洗い場床をシャワーで清掃中、履いていたスリッパ（底面は滑りやすい状態）が洗剤で滑り、後ろ側に転びそうになり、洗面台前に置いてあったイスの脚部分に左足小指を蹴	39	417	3	—

			り上げるようにぶつけ負傷した。				
2017	1	22～ 23	派遣先にて就業を終え、同じ敷地内にある寮へ帰る途中、周辺が暗かったためつまずき、足を捻り転倒してしまった。	26	417	2	1～9
2017	1	12～ 13	休憩中に4Fの食堂から3Fの職場に移動する際、4Fの階段途中から足を踏み外し4Fと3Fの間にある踊場に転がり落ちた。	46	413	1	100～ 299
2017	1	8～9	出勤する際、会社敷地内の建物入り口手前の階段にて、3段ある階段の一番上で滑り落下し、尾?骨を強打し、圧迫骨折を負った。	45	413	1	300～ 499
2017	1	19～ 20	水が入ったバケツを床から右手で持ち上げ左手を添えて洗濯機に水を入れた際、腰をひねり痛めた。しばらく様子をみたが、腰部の痛みが強くなってきた。	51	921	19	300～ 499
2017	1	17～ 18	玄関にて、雨で床が濡れており、足を滑らせ扉に頭を強打し転倒した。その際、転倒を防ごうと手をついたが、つき方が悪く、負傷した。	25	417	2	1～9
2017	1	16～ 17	肉の入った台車を冷凍庫に保管しようと相手が引っぱり、本人が台車を押していたところ冷凍庫内で急に社員が方向をずらしたため、持ち手を持たず枠の外側を持っていた本人の右手が隣に置いてあった別の台車との間に手が挟まった。	55	362	7	30～ 49
2017	1	9～ 10	発掘現場にて、箕（み）を持つての移動中、発掘した穴につまずき転倒し、持っていた箕が左胸に当たり、肋骨を骨折した。	68	414	2	10～ 29
2017	1	14～ 15	生産棟・第二グループ発泡工程現場にて、発泡後の原板を高さ1mほどの金属製の枠付き台車に乗せて運搬する作業中、製品が目の高さまで搭載し前方から見えにくい状態だった為、前方から原料を運搬するフォークリフト（就業先社員が運転）が近づいたことを気づくのが遅れ、台車を動かして避けようとしたが、フォークリフトにぶつかり台車の取手で胸部を強打し負傷した。	41	222	6	100～ 299
2017	1	20～	包装場にて、スティック梱包機が稼動中異音に気づき点検をした際、スティック梱包機の計量上昇のカバーがずれており、定位置	44	165	7	500～

		21	に戻そうと機械を停止させず、カバーを掴んだ為前後に動いているシリンダーに左手中指を挟み負傷した。				999
2017	1	16～ 17	スリーブをシェル穴部に入れ込む作業中、穴位置がずれてしまった為普段はひもを手で引き修正を行うが治具を使用して修正しようとしたところ、スリーブが治具からはずれてしまい左手首に刺してしまった。	22	379	8	100～ 299
2017	1	14～ 15	当社派遣先である製造5部の大福製造工場において、機械に餅が付着していたため取り除こうとした被災者が、作動中の機械に触れ右手示指を挟まれて爪が割れ出血した。餅を取り除くときは、機械を止めてカバーをつけた上、安全手袋をはめて行うこととなっているが、機械が作動中に通常の手袋のまま機械に触ってしまった。	25	165	7	1～9
2017	1	18～ 19	従業員を就業場所から自宅まで送迎するため運転していたのだが、青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	72	231	17	500～ 999
2017	1	18～ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	37	231	17	500～ 999
2017	1	18～ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	55	231	17	500～ 999
2017	1	18～ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	35	231	17	500～ 999
2017	1	7～8	派遣先事業所にて、出勤後、始業前に2階のロッカーから1階の作業場へ移動時、階段で足を滑らせ転んでしまい、右手をついたところ、右手の甲を骨折した。	53	413	1	50～ 99

2017	1	22～ 23	派遣先にて、移動式のクーラーボックスを二つ同時に出荷に向けて移動させている時、広い通路から狭い通路へ移動する際、減速しようとしてクーラーボックスを止めたが二つが壁に当たり、その反動でクーラーボックス同士が勢いよくぶつかり、左手が挟まれた形となった。	50	362	7	30～ 49
2017	1	22～ 23	休憩中、外の喫煙室から食事を取るために食堂へ移動していた際に、通路に置いてあった箱に気付かず躓き、四つん這いになるように前のめりに倒れ、その際に右手の中指を床にぶつけた。	40	417	2	30～ 49
2017	1	16～ 17	工場内の大型コアチーム作業場で、トランス製造に於ける鉄芯準備作業中、作業台に寝かせてある鉄芯を3人1組で起こそうとした際、起こした反動で床ずれし、支えようとした際に背部と腰部を痛めた。なお、痛める以前より、元々ある持病の腰痛に違和感があり、痛みもあった。痛める前作業中に元々ある持病の腰痛に違和感があり痛みがあった。	36	921	19	30～ 49
2017	1	14～ 15	作業場で金属部品の面取り加工の作業をしており、作業終了後、面取り加工で使用する小型モーター（横196mm、縦150mm、高さ137mm、重さ32kg）を工場長が片付けようとした際に、工場長の手から小型モーターが滑り落ち、左足親指と人差し指に落ちた。	52	159	4	—
2017	1	5～6	段差（20cm位）のある砂利の駐車場で、上段から下段へ降りる時、足を踏んでバランスを崩し転び、左足を負傷した。	41	419	2	30～ 49
2017	1	10～ 11	派遣先にて、水冷設備の清掃・洗浄・整備の作業に従事中、冷却水槽の上部に設置された外蓋を外す為、移動式足場に昇り（足場板の高さ2メートル弱）作業したが、電気工員が作動しなかったため、電気の確認をするため足場の梯子から降りようとした時、掴んだフレームの留め具が外れ、足場板から落下した。その際、コンクリート製の床面に左足で着地したため、左踵を負傷した。	57	411	1	1～9
			就労中、休憩時間となり、工場敷地内の薄暗い通路を歩行してい				

2017	1	3～4	たところ、通路横に置いてあった台車（長さ約3m）に誤って足を引っ掛けてしまい前方に転倒した。その際、右頭部・右頬・右膝・左太もも・脛脛を負傷した。	34	417	2	10～ 29
2017	1	13～ 14	介護者をベットから車椅子に2人で移動時（本人が介護者の頭を、もう一人（職員）が足をもって持ち上げての動作）、腰に負担がかかり、腰部捻挫・左大腿部挫傷を負った。	56	921	19	100～ 299
2017	1	11～ 12	評価試験作業現場にて、派遣先担当者より、電子負荷装置の棚整理の指示を受け、一人で作業をしており、3段棚（高さに約120cm）に設置された装置3台と作業机に設置された装置3台を台車に乗せる作業を行う。そのなかで、棚最上部に設置されていた最後の装置1台（重量約15 ^{キロ} ）（幅455mm×高さ150mm×奥行470mm）を降ろすため持ち上げたところ、急に体のバランスを崩したことで体が右側へよじれ、無理な体勢を立て直そうとしたところ、右肩痛・背中痛・腰痛が生じた。	48	921	19	100～ 299
2017	1	18～ 19	ADC（自動段取）中に、B側ボルスターがプレス内に入ったと同時にB側2工程のスクラップ2次シュートを取り付けようとプレス内に入ってしまった。自動段取中の為、安全ガードはMB着床後すぐに下降し、挟まれた。	35	169	7	100～ 299
2017	1	15～ 16	台車を押して空ケースを洗浄場所に運搬中、ドアのストッパーに左足を引っ掛けてしまい、左に半回転しながら脛部分を強打し、左腕と頭部も打撲した。大腿部が痛く動けない状態になり、大腿部骨折を負い、即日入院となった。	68	379	2	1～9
2017	1	17～ 18	自動車用部品の組立カシメ作業をしていたが、入社して間もない為、カシメ機械の扱いになれておらず、肩と腕に無理な力がかかり、肩と腕を損傷し、1ヶ月間の局部安静治療となった。	31	169	19	30～ 49
2017	1	2～3	点呼を受けるため、自家用車から事務所へ向かう途中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、右腕を骨折した。	56	416	2	—
			ゼラチンリーフカット機Aラインにおいて、加工時に発生する製				

2017	1	0～1	品の長辺カッター屑がギア付近にあるのを見つけ取り除こうとした。初めにエアブローをしたが取り除けなかったため、右手でエアガンを持ち左手でカッター屑を取ろうとしてベルトコンベア駆動ギアに指が巻き込まれた。カッター屑を取り除く際には機械を停止させてから作業を行うよう徹底していたが、それが守られていなかったため、事故が発生した。	39	169	7	100～ 299
2017	1	21～ 22	施工管理業務を行っている被災者は、当日1階打ち合せ室より2階事務所へ戻る為、階段で上がっていたが、最上段から2、3段下で足を滑らせ、1階まで滑り落ちた模様（現認者無し）。事務所にいた職員が確認した時は、階段下で被災者が横向きで倒れていた。意識はあったため状況を尋ねたが、覚えていない状況であり、頭を打った可能性もあるため病院へ搬送した。	63	413	1	100～ 299
2017	1	13～ 14	不動産担保物件調査をする為、店舗出口から駐車場へ出る時、ブロック2個置いている場所で左足がブロックにかかり、着地した際に左足ふくらはぎの肉ばなれを負った。	68	419	19	100～ 299
2017	1	23～ 24	生産棟4Fに設置しているWET装置の搬送口、ニップ部ローラーの清掃をウエスを使用し行っていた。本来の手順でローラーの回転を停止させて清掃を行わなければならないとルール化されている事を認識していなかったため、回転させたまま作業を行ってしまい、左手を巻き込まれ、上下ローラーに挟まれた。	43	163	7	—
2017	1	9～ 10	ドラム缶の積替作業中、ドラム缶の間に誤って左手薬指を挟んでしまった。	56	611	7	10～ 29
2017	1	7～8	夜勤の介護業務を1人で行っていた際、深夜の記録を最後に、脳出血で意識消失し、翌朝出勤してきた介護士によって倒れている所を発見される。	47	921	90	—
2017	1	15～ 16	構内作業場、荷物が載っていない台車を移動させようと引っ張った際、左肩に痛みが走った。	50	362	19	30～ 49

2017	1	6～7	梱包していた荷物を運ぶためのローラーの作業が終了した為に清掃していたところ、ローラーの間にゴミが挟まっていたため取り除こうとしたら、親指が巻き込まれて挫創した。	50	224	7	100～ 299
2017	1	13～ 14	第一工場2F製本課において、紙積み作業後のフィーダー準備中に、フィーダーの持ち上げの固定フックを外すときに右の手でフィーダーを支え、左手でフックを外そうとして、左手人差し指先を引っ掛けてしまった。	36	169	8	100～ 299
2017	1	15～ 16	駐車場出入口の鉄の門扉を押して閉めようとした際、予想以上に門扉の動くスピードが速く、門扉下部のフレームに右足首をぶつけた。前日は雪が積もっており、強く押さないと中々動かなかったが、当日は雪も少なく、押して少し手を離し前進したが、予想以上に動きが速く、フレームが右足に当たり負傷する。	47	419	3	300～ 499
2017	1	15～ 16	敷地内にて廃棄物をのせている10tトラックコンテナ車から廃棄物を降ろす為にあおりを開ける際、あおりを止めている固定ピンが固く木の棒で固定ピンを下から叩き、そのピンを抜いた際、勢いよくあおりが開き、あおりの一部が左頬に直撃し、鼻から出血し、左頬骨骨折した。	52	221	6	100～ 299
2017	1	8～9	鉄製品のバリ、返り取り作業工程に従事している際、非常に製品のバリが取りにくい箇所もあり、ヤスリを当てる角度によっては手首をひねった状態で力を入れ作業することが多くあり、手首の痛みを感じた。	29	921	19	100～ 299
2017	1	23～ 24	イベント会場からテントの撤収作業中に、テント上部分を両手で持ち上げて脚部を折りたたもうとした際、勢いあまってテントの骨が右足くるぶしに落下し、それが直撃して負傷した。	30	419	4	50～ 99
2017	1	16～ 17	作業場にて、普段より少し重い1.75kgの導波管を伸ばす作業をしている際、両足を踏ん張り導波管を引っ張っている時に、腰の周辺の筋を捻ってしまい、腰痛を引き起こした。	50	921	19	—
			デイサービスの利用者の送迎で車両の運転をしていた。当該車両				

2017	1	8～9	は1ヶ月前より助手席側のスライドドアが日によって開閉不良を起こすことがあった。当日朝、迎えに上がった際もドアの開閉が著しく悪く、地面に踏ん張り、両肩にも相当な力を込めて開閉した。このような事があと4件続いたため、両肩・腰を捻挫した。	67	999	19	500～ 999
2017	1	16～ 17	工場内で、下着の生地に着着剤を塗布する機械で、定められた型枠に生地をセットする作業中、型枠に付着した水滴をウエスで拭き取った後、回転する型枠テーブルの下にある台の上にウエスを置こうとした時、本来なら型枠テーブルの下からウエスを置くべきところ、不注意で機械の回転ボタンを押したままテーブルの間のすき間上部から右腕を差し込んだ。その時、テーブルが回転し、テーブルと機械の間に右腕をはさまれてしまった。慌てた作業者が右腕を無理に引き抜いた為、右手中指の付け根部分を5針縫う怪我と右腕に挫傷を負った。	42	169	7	100～ 299
2017	1	15～ 16	派遣先の工場内作業中、被災者は、製品前の砂糖を機械に投入する作業中、砂糖の塊が機械に詰まり、本来は機械を停止して棒を使って突き崩すところを、被災者は機械が動いている状態のまま手を伸ばして処理しようとしたところ、装着していた手袋ごと機械に巻き込まれた。	56	169	7	30～ 49
2017	1	15～ 16	郵便物を取りに階段を下りている時、携帯電話を落とし、それを拾おうとした際につまずき、階段を転落して受傷した。	49	413	1	1～9
2017	1	9～ 10	就業場所の敷地内駐車場にて、通勤車両から降車した時に足元の凍結に気付かず、滑って転倒し、右橈骨遠位端骨折となってしまう。	53	417	2	30～ 49
2017	1	18～ 19	就業先養護老人ホームにて、入所初日の利用者（70代男性）に食事を提供したが、一口も食べていなかったため、個室に食事を置いておく旨を伝え、被災労働者が付き添って個室に入ったところ、利用者が興奮状態になり、個室内で被災労働者の襟元を掴んで壁へ打ちつけ、拳で顔面を2度殴られ、首から肩を痛め、口内出	37	911	90	1～9

			血を伴うケガを負った。この利用者には精神障害の症状（アルコール中毒）があり、自立支援を目的とした入所でもあった。				
2017	1	16～ 17	店舗駐車場内に設置してあるごみステーションにおいて、店内のごみ出し作業中に、上げていたごみ箱の蓋が急に閉まり、蓋が顔面を強打し、顔面及び眼、鼻を負傷した。	26	379	6	100～ 299
2017	1	13～ 14	派遣先作業現場にて、作業前に安全靴（スニーカータイプ）に履き替えようとして、立ったまま右脚を靴に入れようとした際に、同僚からの遅刻の連絡が携帯電話にかかったため、側にいた上司へ携帯電話を渡そうとしてよろけて、右足を安全靴に強く踏み込み、靴の内側の保護用鉄板がむき出しになった部分に右足親指の爪が引っかかり、爪が剥げ負傷した。	51	911	3	—
2017	1	15～ 16	派遣就業先である倉庫内にて、商品のピッキング作業を行っていた際、リストを見ながら作業をしていたため誤って商品に躓き転倒し、右膝を強打し、右膝内側半月板・側副靱帯不全損傷、節骨内側骨挫傷、関節水腫を負った。	52	417	2	300～ 499
2017	1	14～ 15	倉庫内、クレーン清掃作業中に、倉庫内ホーム高さ約1.3m位から、当日は雨がふっていたため足元が悪く、すべって後ろ向きに転落し、腰を強打し、第一腰椎等圧迫骨折、全治3ヶ月程度のケガを負った。	67	414	1	1～9
2017	1	8～9	派遣先の工場内の調味液入りポリタンク保管庫にて、コロ付きの調味液入りポリタンクを引っ張って、運び出す作業中に、本人が運び出そうとしていた調味液入りポリタンクと隣のポリタンクとの間に右手親指を挟み負傷した。	28	611	7	50～ 99
2017	1	11～ 12	労働者派遣先にて、プラスチック射出成形機操作を終え、左手でカッターナイフを使ってパージ作業を行っていた際、機械の警報音が鳴ったことに驚き、慌てて作業を行ったところ、誤って右手示指にカッターの刃が接触し、第一関節から付け根にかけて切創を負った。	53	364	8	300～ 499

2017	1	21～ 22	播漬作業中、調味料をすくう金属製のヒシャクの角が当たって切傷した。流水で流し、血を止めて作業をしたが、腫れがひどくなり、菌がついて化膿していたため、切開処置に至った。	31	364	8	30～ 49
2017	1	7～8	出勤時、就業場所の屋上駐車場に車を停めて徒歩で坂道を下り職場へ向かっていた際、雨で足を滑らせ転倒し、腰部と左肩を強打し受傷した。	59	417	2	100～ 299
2017	1	8～9	就業先構内駐車場にて業務終了後、自身の車のフロントガラスの氷を溶かそうとしてフロントガラスにホースで水をかけていた。その後、車に乗り込もうとした際に路面の水が凍っている事に気付かずに足を滑らせた。その際に右手の手のひらをつくような体勢で転倒し、肘の関節から手のひらまでの筋肉と筋を痛める形になった。	62	416	2	—
2017	1	16～ 17	作業場で、ウェットティッシュを巻いているローラーの機械の細かい部分に出てきた所に溜まったほこりを、しゃがんで掃除機で取り除く作業中、立ち上がった時にかぶっている帽子で見えず、機械（スイッチ箱）の角に額をぶつけた。	52	391	3	100～ 299
2017	1	15～ 16	作業説明の際、二階倉庫に向かう必要があったので、二階倉庫に職場の社員と向かった。説明が終わり倉庫から出て階段を下りる際、後ろを向いて社員に話しかけたとき、一瞬脇見をしてしまったため、階下の床にあったパレットに躓き転倒し、手をつき骨折した。パレットは高さ15cmで階段幅より広く階段との間隔は25cm程だった。	54	379	2	—
2017	1	8～9	キャラバン車のメンバー工程で、FR SIDE MBR RHを助力装置にてセット後に、2ND CROSSのセット忘れに気付いた。その為、反対側の作業者と2人でFR SIDE MBRを持ち上げ、忘れた2ND CROSSをセットしてFR SIDE MBRを下ろす際に持ち位置が悪く、治具のロケットピンの先端部とFR SIDE MBRの間に左第2指が挟まり受傷	32	159	7	1～9

			した。				
2017	1	14～ 15	工場内清掃時、タンク内の掃除が終わり高さ2メートル程の足場から掃除機を降ろす際、梯子に足を掛けた状態で掃除機を抱えていたところ、掃除機の重みで勢い余り、右側面にあった足場の幅木で右肘を打った。	35	419	3	30～ 49
2017	1	17～ 18	レジカウンターの扉付近で踞みながら商品の袋を補充していたとき、同僚が開けたドアが頭部に激突した。	50	418	6	100～ 299
2017	1	15～ 16	集配中、台車集配コンテナの角と胸部を打ちつけ、右胸部肋骨1本を骨折した。	64	362	3	300～ 499
2017	1	18～ 19	勤務先で、商品名のボート作成のためポリエステル製の板をカッターナイフで切断中、板がなかなか切れなかったため力を入れて手前に引いたところ、勢い余ってカッターナイフの刃が右大腿部に接触し、裂傷した。	22	364	8	500～ 999
2017	1	14～ 15	社用車で走行中、前方3台の車輛が減速したが、前方注意不足により気付くのが遅れ、追突を避けるため急ハンドルし、対向車線を越え空地に進入した。咄嗟のことでブレーキを踏めず、空地石壁に衝突した自損事故である。	82	231	17	1～9
2017	2	10～11	災害当日、被災者は木材パレットの解体作業中、解体した木材を一旦解体した木材を後ろに置いて作業していた。新たにパレットを解体していた時に、テコを利用して勢いがついてしまい後に仰け反った際、木材に刺さっている釘を左足かかとで踏んでしまった。	29	521	9	100～ 299
2017	2	15～16	本人が、商品交換の為冷凍庫内の電動移動ラックレーンに入り商品を出庫しているところ、棚の中に入って商品を確認していた為、他の作業員が存在に気付かず移動ラックを動かしてしまう。本人は、移動の警報が鳴ってはいるが、自分のレーンが狭くなるとは思わなかった為、回避が遅れ棚の間に顎周りを挟んでしまう。	43	391	7	100～ 299

2017	2	9~10	派遣先にて、野菜の下処理をする作業中に、ペティナイフが手に持っていた野菜を貫通し、左手の手のひらに刺傷を負った。	37	364	8	100～ 299
2017	2	18~19	老人介護施設にて介護員として就業中、利用者の食事介助をしていたところ、別の利用者に左腕を引っ張られ、左手が車椅子に激突してしまった。	54	911	3	10～ 29
2017	2	11~12	派遣先で、患者様の体勢がベッドの下方へ崩れていたため、身体の下にバスタオルを敷いて向きを直し整える際、自分側に患者様の身体を引っ張り直すのに身体の高い患者様だったため力を入れ過ぎて肘を痛めた。	56	921	19	100～ 299
2017	2	17~18	本社工場内において、ワカメカット作業中、フレッシュワカメカット作業からボイルワカメカットに切り替えるため、刃を外し洗浄作業を行う。刃の清掃作業が終了し、次の作業のための刃を取り付ける。刃を取り付けた後、若布の残骸に気づき機械に手を入れ左人差し指を切断する。（安全カバーのセンサーが不具合を起こしていた。）被災者は、刃を取り付けたことを忘れていた。また通常はスイッチを入れた状態で手を入れると、安全カバーが外れた状態では作動はしない。	49	341	11	100～ 299
2017	2	16~17	コンプレッサー組立ラインでタンクに圧縮機を取り付け、そのタンクをラインから持ち上げる時に体をひねってしまった。その際に痛みが出た。前年に階段から滑り落ちた時に腰を痛めていたため、気を付けて作業していたが、筋肉を痛めてしまった。	23	921	19	100～ 299
2017	2	13~14	中会議室で人材採用面接業務を開始直後、応募者（A）が自分が経験したIT系企業が受付表にないと面接担当を恫喝し、面接担当の左顔面（頬）を右手こぶしで殴打した。面接担当は悲鳴を上げ、逃げようとした際さらに右足で顔面（左頬）を蹴られた。	45	921	90	50～ 99
2017	2	6~7	被災者は事業所内発送工場において4t冷凍車のコンテナ庫内を清掃しようと、踏み台に乗りリアステップに右足を乗せたところ、	56	221	1	10～ 29

			バランスを崩し、左足から工場床に落下し被災した。				
2017	2	13~14	本社に派遣中の事故である。自動車部品を入れるパレット（1100×1100×150mm）重さ約20kgを両手で持ち上げようとしたところ、誤って右手小指先端の関節が逆方向に曲がり負傷した。小指に違和感があったが、その日の作業を終え翌日も就業した。途中痛みが出だしたが、現場の判断で定時まで従事した。	42	611	19	50～ 99
2017	2	11~12	プレス型替えの段取りをしている時に、ホースから油圧が出るスイッチが入ったままになっていたため、ホースを金型に差し込もうとした時、油圧の反動でホースが胸に強く当たった。	38	154	6	1～9
2017	2	2~3	作業現場で機械を使用し鉄パイプの切断を行っていた。鉄クズが発生したため取り除こうと掴み引っ張った際、右手人差し指の付け根を切創した。	41	159	8	10～ 29
2017	2	16~17	組配工場内シリンダーの同期調整を行う作業中、右手でエア注入のレバー操作・左手で製品を押さえていた際、本来縦向きに製品をセットするところを横向きに置き作業を行ってしまい、左手が製品のくぼみに引っ掛かりシリンダーに挟まれ負傷した。	49	169	7	100～ 299
2017	2	16~17	製麺室にて作業用の手袋を装着した状態で、焼きそば用の麺を圧延する作業時に、圧延機（以下ロール）に送り込んだ麺と一緒に人差し指の手袋が巻き込まれ指先を負傷した。直ぐに非常停止ボタンを自分で押し、自力で指を抜く。	63	163	7	100～ 299
2017	2	21~22	野菜人参原料の皮むき機で作業終了後、機械の移動中機械を持っていた左手が外れてしまい尻餅をつく形となり、その際にとっさに手をついてしまった事により強打し打撲となった。	50	417	2	300～ 499
2017	2	7~8	仕分作業中、荷物が重い為に下に置こうとしたところ自分の左足の上に置いてしまい、左足の親指を挟む。業務を終了して自宅に帰った後で足を見たら腫れており病院に行って診てもらったところ、左足親指が骨折と判明した。	60	611	7	500～ 999

2017	2	6~7	押出機オペレーター及び付帯業務に従事していた。粉上の製品（袋になっており、パレットに積み上げてある）を運搬する為に電動のハンドリフターを操作しパレットにツメを挿入したところ、斜めに入ってしまった。直そうとハンドリフターを引いた際に、他の製品のパレットとハンドリフターの間に右脚を挟み受傷した。	36	229	7	100~ 299
2017	2	13~14	第三倉庫内仕分け作業場にて、被災者がダンボールをパレットに高く積み上げ、そのパレットをフォークリフトが運搬するという作業中、高く積み上がったダンボールで被災者が死角になっており、又声で注意喚起をしたが被災者は聞こえておらずフォークリフトがパレットに爪を差し込んだ際、パレットの前にいた被災者の左足に当たった。	30	222	6	1~9
2017	2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	61	231	17	50~ 99
2017	2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	30	231	17	50~ 99
2017	2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	51	231	17	50~ 99
2017	2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	53	231	17	50~ 99
2017	2	9~10	コンビニ向け飲料水のピッキング・補充作業に従事していた。1日当たり重さ約10kgの商品（飲料水）の棚入れ（20箱/h×3.5h）および缶酎ハイ6本の袋詰めを30分（0.5h）をしていた。前月下旬ごろから背中に痛みが生じ、暫く様子を見ながら終業を続け	43	611	19	500~ 999

			た。その後起床時に患部の痛みが酷く受診したところ、左胸部下肋骨挫傷と診断される。				
2017	2	15~16	ビニールが水で滑り転倒、を踏んでしまい、ビニールが水で滑り転倒、尾?骨を床に強打した。	26	417	2	100～ 299
2017	2	16~17	被災者（以下、甲という）が、派遣先であるレストランホールにて、レジ機器の操作をしていたところ、レジ機器を載せた棚板が不安定だったため外れ、落下したレジ機器が甲の右膝に当たり負傷した。	24	391	4	10～ 29
2017	2	13~14	倉庫内作業中畳まれた鉄のカゴを無造作に引き出したところ、カゴが倒れ左手の中指、人差し指を挟まれ受傷した。	31	419	5	—
2017	2	5~6	配送先の店舗にて荷降しをする際、トラックから降りようとしたところ、着地した地面の所に凹みがあり、右足首を捻り、負傷した。	39	221	19	500～ 999
2017	2	2~3	屋上設備機器置場にて既存室外機容量確認を行った後、設備架台から下りる際、足を滑らせ転落した。	45	418	1	10～ 29
2017	2	11~12	ビル工事現場内において、トラックが場外へ出ようとした際、トラック運転手が後方確認を行わずにバックをして出ようとした為、安全確認のため咄嗟に後方に回ろうとした際、ゲート下部のワイヤーに足を引っ掛け転倒し、被災した。	67	417	2	1000 ～ 9999
2017	2	14~15	被災者は、レストランホールの洗い場にて、食器入りの食器カゴ（重量：約7.5kg）を食器棚に戻そうと食器棚へ運んでいる途中、カゴを落としそうになった為、足を踏ん張ったところ、右膝を捻ってしまい右膝関節靱帯を損傷した。	24	611	19	10～ 29
2017	2	7~8	庭にある物置からゴミ出しの作業をしている時、石畳のところでゴミの重さでバランスを崩し転倒した。右足首脱臼骨折をして手術をした。	64	611	2	500～ 999
			病院内での配膳業務中、派遣先の男性社員と接触し、左腰から横				

2017	2	12~13	向きに転倒した。転倒する際に身体を支えようと思い、左肘から倒れ左脇、左こめかみを床に打ちつけた。意識ははっきりしていたが強打したことからその場から動けず、同病院内で診療を受けた。	60	416	2	10～ 29
2017	2	11~12	派遣先事業所にて、工場内ライン作業中に荷物を積んだ台車を避けながら隣のラインへ移動をしようとした際に、床に油カスが落ちており、足を滑らせ、転倒し右手首から地面についたために骨折をした。	51	417	2	—
2017	2	4~5	入居者居室にて、排泄介助拒否があり、なかなか行えなかった。体を上の方へ持ち上げ、体位変換を行った。その後立ち上がる際に、腰がパキッと鳴った。ベッドが最低床で行っていた。	39	921	19	—
2017	2	18~19	工場内にて充填された容器をプラットフォーム内に出荷準備作業中に、自動コンベアから搬送用コンベアに切り替え手動にて容器を押す際に前方に容器がある事に気付かずに、自分で押している容器の間に容器に添えていた右手を挟み中指第一関節部に挫傷の怪我を負った。	34	419	7	—
2017	2	14~15	食器洗浄のベルトコンベアーで仕分けをしている時にトレーが詰まった為、直す際にベルトコンベアー内のトレーを取る際にベルトコンベアーが稼働中の為、ベルトコンベアーのすき間に、指を挟んだ。	61	224	7	—
2017	2	16~17	焼却炉のメンテナンス作業中、ハンドホールを開放した際に、中の流動砂が吹き出し、傷病部位に熱傷を負ったものである。	48	341	11	10～ 29
2017	2	11~12	圧入機（圧力550kg）に複数部品を重ねて組立作業中、右手で圧入機のボタンを押していたところ右側のリングが落下したためとっさに左手で取ろうとした。その際左手が圧入機に入ってしまった右手のボタンを離さず左手のみを引き抜こうとしたため左手中指の指先が圧入機稼働部と部品の間に挟まり負傷した。左手中指骨損傷。	40	121	7	50～ 99

2017	2	3~4	就業中に商品を冷蔵庫へ運び終え、ドアを閉めるためにドアのストッパーを外そうとして、開いているドアをさらに少し開けたところ、上下の蝶番が外れドアが落下した。倒れかかったドアを右手で支えようとし、ドアと壁の間に右手首を挟まれる。右手橈骨手首側にひびが入る。	41	419	7	100~ 299
2017	2	3~4	重さ約20kgの番重を持ち作業した。帰宅後痛みを感じたと本人から連絡があり、後日病院へ行った。	23	611	19	30~ 49
2017	2	16~17	被災者は当日の派遣就業先である工場にて業務終了時の清掃を行っていたところ、他の派遣会社のスタッフ2名が運搬するシンクが右太ももにぶつかり負傷した。原因はシンク運搬作業を認識していたのにシンクが移動する経路に立っていたことによる。	50	611	6	10~ 29
2017	2	16~17	仮庁舎にて管理職の机横にある棚より特許出願等使用を取り出し（角2サイズの袋10kg以上）、縁なしキャスター付テーブルにて職員机の間を中腰で運搬しパソコンに入力後、別棚（両棚の間50cm程）へ狭い為非常に無理な中腰姿勢で格納後（数日）、激しい頸部痛が発症し終業後も治まらず医療機関を受診した。	52	611	19	—
2017	2	18~19	社命により、派遣先事業場にて、ピッキング作業中、小走りで移動した際に躓き転倒した際に右肘、右足、右手小指を床に強打ち、負傷したものである。	59	416	2	30~ 49
2017	2	15~16	プレス機の金型の取りはずし作業中、はずした金型を載せる為にハンドリフトのツメをプレス機の高さに合わせて金型を手で押してプレス機からリフトのツメにスライドさせるように動かしていた時、金型の重みでリフトのツメが傾き金型を押さえていた手の方向に金型が滑りプレス機と金型との間に左手の中指が挟まってしまい負傷した。	55	521	7	10~ 29
2017	2	8~9	第二倉庫にてプラスチック廃材をプレスして針金で結束する機械をリモコン操作をしている時に、針金が出てくる穴の中の異物を除去しようと、左手を入れたところ右手で持っていたリモコンの	25	169	7	1~9

			プレス作動ボタンを誤って押してしまい左手がプレスに挟まれ骨折した。				
2017	2	11~12	利用者様をベッドから車椅子に移乗する準備をした時、バランスを崩し後ろ側に倒れ込み負傷した。	20	416	2	—
2017	2	20~21	送迎バスにて出社時に、バス降車後数歩歩いた後、ふらつく様に転倒した。その際、駐車場アスファルトにて顔面を打ち付け負傷した。被災者には持病（糖尿病）があり過去にも低血糖状態となり、何度かふらつきを発症している。	49	921	2	300～ 499
2017	2	9~10	作業台上にて、ダンボール材を裁断中に、左手で押さえながら、右手に持ったカッターで手前に向かって裁断したところ、押さえていた左手がカッターの進行方向へ滑ってしまい、左手第2指先端部の側面より指腹部の一部を挫創し皮膚表面を欠損した。	49	364	8	30～ 49
2017	2	19~20	勤務終了後、派遣先敷地内駐車場に停めてある自家用車に向かおうと玄関出入口から駐車場に続くなだらかな傾斜のある通路を歩いていた際、暗くて足元が見えなかった為通路端10cm程高くなった部分に足を引っ掛け、通路端から50cm程段差のある駐車場側に自重が掛かるように右腕から落ちた。通路を照らす照明は玄関出入口にあるが、事故当時は消灯していた為足元が見えなかった。	43	417	2	100～ 299
2017	2	17~18	フィナンシェラインでレモンケーキ製造の際に天板を反転させる作業時に軍手とニトリル手袋をはめて作業していたが、手袋に熱が蓄積して両手の掌を火傷した。	54	379	11	100～ 299
2017	2	17~18	商品管理センターにて使用済みの福祉用具（置き型手すり）のメンテナンス作業を行っていた。手すりの土台部分の鉄板（20kg程度）を作業台へ移動させる為、持ち上げようと力を入れた際、腰に痛みがはしった。	45	921	19	100～ 299
			第一製造掛製造ラインで、作業が終了後に使用していたアートカッターを作業場から所定の保管場所へ移動させる際に、アート				

2017	2	19~20	カッターの保護キャップが緩んでいた為、保護キャップをしっかり嵌めようと、右手でアートカッターを持ち左手で保護キャップを押し込もうとした際に、保護キャップが外れアートカッターの刃先が左手のひらに当たり負傷した。	42	364	8	50～ 99
2017	2	9~10	事業場のプレス工場で、2人1組での作業中、建材の上のビニールをはがし、ビニールを左手に持ったまま建材を運び、建材を置いた後に、歩行している最中に左手に持ったままであったビニールを自ら踏んで後ろに転倒して、左肘と左手を地面に強打してしまった。	44	417	2	1～9
2017	2	13~14	ホーム付けの入出荷が出来る所で、顎の高さ位までの高さに積み上げたプラスチックの箱10段を重ねたコンビニの弁当が入っている荷物を鉄のカギ棒でホームからトラックへの積み込み・積み降ろしの作業中、段差があるため60kg～100kg近くある荷物を持ち上げながら引っ張ってトラックに積み込んでいる時に右腕背部に痛みが走り、右腕は内出血までしていた。かなりの重量の荷物を倒さないように早く引っ張ってやらなければならない、筋肉に負担がかかり激痛が走るようになり仕方なく退職した。	47	611	19	30～ 49
2017	2	14~15	天井クレーンの真下の位置に吊り荷がない状態で、吊り作業を行うと上げた時に振れが生じ吊り荷がずれたり落下する恐れがあるにもかかわらず吊り作業を行おうとした際、天井クレーンの真下に吊り荷が無い事を見落とし吊り作業を行った為振れが生じて吊り荷がずれて製品と床との間に右足を挟まれて負傷した。	50	211	7	10～ 29
2017	2	10~11	治具を交換し治具上部の材料を押さえるシリンダーボルトを調整時、ボルト低部を右手中指（指の腹）で触ったまま左手でインデックス旋回ボタンを押してしまった為、インデックステーブルが回転移動しながら、材料を押さえるシリンダーボルトが材料を押さえようとして治具内の材料とシリンダーボルトに右手中指を挟んでしまった。（切削機）	59	159	7	300～ 499

2017	2	5~6	支店構内で空のボックス3本を所定位置に移動していたところ、後向きで引いていたため台車が引っ掛かりBOXが右足甲に倒れ、打撲・裂傷したものである。安全靴は着用していた。	70	611	6	500～ 999
2017	2	2~3	宅配荷物の仕分け用コンベアーの荷物搬送補助作業中にコンベアー継手部に右手を挟んだ。	24	224	7	30～ 49
2017	2	20~21	派遣先工場内で鑄造作業中にコンタマシンにて製品押湯を切断する際に、誤って指が滑り左手親指がコンタマシンの刃に当たり負傷したものである。	31	159	8	10～ 29
2017	2	13~14	派遣先工場内の作業場にて冷凍わさびの茎が入ったプラスチック製のトンカチで叩きほぐす作業中、右手首（付け根～指先にかけて）に痛みを感じたがその後も作業を中断せずに続けた。帰宅後右手首（付け根～指先にかけて）が腫れ上がった。	46	364	19	300～ 499
2017	2	8~9	鉄筋加工場において、機械を使用して鉄筋棒のU字曲げ加工の作業をしている時に、加工し終えた鉄筋を機械の近くに仮置きして次の鉄筋棒を加工したところ、アームが動きだした際に仮置きしてあった鉄筋を巻き込んでしまい、鉄筋を支えていた右手が挟まり負傷した。	44	159	7	500～ 999
2017	2	19~20	加工した製品が入ったかごを積み上げようとしたところ（3段目）、かごが2段目のかごにつかえてしまい、バランスを崩して転倒した際、右手ついて受傷した。	28	611	2	30～ 49
2017	2	13~14	派遣先のフロアに有るテーブルの前で椅子に座っている利用者と立膝をつき談笑をしていた。その際、テーブルの後方に有る洗面台を利用していた男性がふらつき転倒しそうになったので、とっさに立ち上がり男性の背後から抱え込むように抱き上げた際、左肩に激痛を感じた。	38	921	19	100～ 299
			当月就業中、転んだ時の腰痛が次第に悪化した。入浴介助、移乗を毎日行っており、翌々月の起床時から腰の痛みがひどくなり、出勤していたがその後も痛みが続く為通院した。入浴介助業務				

2017	2	10~11	は、1日6名前後1人で約20分程で基本的には1人で行うが腰痛があったため2人で行うように対応した。 移乗業務は、約40～55kg程の方をベッドから車椅子に移乗し中腰で抱きかかえ風呂に入れる。	49	417	2	100～ 299
2017	2	13~14	病院内事務室にて、事務作業を終え椅子から立ち上がろうとしたところ、隣の椅子に足を引っ掛け転倒し、右足首を捻ってしまった。 患者を待たせしていた焦りから、本人の不注意で発生してしまった。 周囲に視界を遮るものや事故に繋がるようなものは置いていなかった。	38	379	2	100～ 299
2017	2	10~11	鋼板を2人1組でプレス成型を行い完成品を台車上にパレットに立て掛けていたが、枚数が増えると、徐々に傾いてくるため、2人で修正を行っていた。 その際積荷のバランスが崩れ、中腰で作業していた左肩から両膝に数枚が落下した。 当日病院にて治療し、全治1週間の診断を受ける。	37	379	4	30～ 49
2017	2	15~16	シャフトレス7号機で作業中、材料の載っているログ台車を取りに台車置き場に行こうとしたのだが機械が急に止まり一度戻り後ろ向きに通路に出てしまい台車と接触し、その台車には、材料が乗っていて約200kg程ある台車が左足甲に乗って怪我をした。	30	362	7	300～ 499
2017	2	10~11	油圧ショベルカーのファンベルト調整中、機械装置の上（高さ60cm位）に乗り力を入れてベルトを張った際空振りして転倒し、左手首を負傷した。	60	141	1	1～9
2017	2	15~16	廃材を圧縮機に投入している際、他の派遣会社の派遣社員が蓋を閉めた為、挟まれて受傷した。	23	169	7	10～ 29
2017	2	8~9	始業後加工予定の母材内径に貼ってある母材カードを剥がす為に当該被災者が内径に手を入れている際に、同時にクレーンマンが当該コイルをラインに供給する為にリフターを降下させた。 被災者はクレーンの死角で作業（身を屈めた状態）をしていた為、降	34	211	1	10～ 29

			下してきたリフターに頭から押しつぶされた形になり、無意識に横に逃げたが、背中を圧迫された。				
2017	2	15~16	工場内の準ライン作業工程で、自動車部品の包装作業中、部品の入った箱が右側より流れてくるのを、右手で止めようとして弾かれ、右手を負傷した。	47	379	6	100~ 299
2017	2	16~17	派遣先の児童クラブにて保育補助業務に従事中、屋内で児童とボール遊びをしていたところ転倒し左手首を複雑骨折した。	67	921	2	—
2017	2	14~15	自動車部品のプレス加工工程で、機械からプレスされてきた部品を横の箱に入れる作業中、部品が取出し口に溜まった場合は機械を一時停めて作業することになっていたが、溜まらないよう多めに部品を持って急いで運び、その際に左膝をひねって負傷したものである。	40	921	19	50~ 99
2017	2	13~14	派遣先にて、鋳物製品の切断作業に従事中、切断機に製品を固定しようとクランプの可動側口金を締めた時、製品が傾いた状態に気付かず締めたため、製品を持っていた右手が製品と固定側口金に挟まれ、右中指を圧挫創した。	64	159	7	100~ 299
2017	2	12~13	派遣先にて、自動車用強化ガラスの出荷準備作業に従事中、製品であるドアガラス（1枚約3.5kg）を置き場から取り上げ、体を反転させて搬送用ローラーコンベア（高さ50cm程）上のパレットに積み込む作業で、20枚を積み込んだ後、置き場の扉を閉めるため製品に背を向けた時、ローラーコンベアのストッパーがOFFになっていた為、製品を載せたパレット（総重量約130kg）が被災者側に落下した。落下の際、パレットごと被災者の背中に寄りかかり腰や肩などに挫傷や打撲傷を負ったものである。	37	224	4	100~ 299
2017	2	12~13	水道メーターカバーの検査において、搬送ローダーは上下2段になっており、上段に四角いプレート治具を並べ加工前メーターケース2個をセットする作業をしていた。加工が終わると下段のローダーで流れて来たカバーを検査する。下段で空いたプレート	35	379	3	100~

			治具を上段にセットする為取り出そうと持ち上げたところプレートと上段のローダーに手が挟まり、つかえる形で引き抜いた為受傷した。				299
2017	2	9~10	スポット加工エリアで金具スポット溶接加工をしていて、同じ作業台で2種類の作業を実施した。（金具スポット溶接、扉バフ掛けをローラー付き作業台。）バフ掛けの扉を移動する際ローラーが回転し、部材と溶接作業員の手が一緒に移動し、打点位置に来てしまった。その為、右手親指爪部を創傷してしまった。	44	339	7	50~ 99
2017	2	19~20	派遣先にて、味噌汁をお客様に提供する際に、IHヒーターで温めていた寸胴のラップを剥がした時に、噴き出してきた蒸気が手にかかり火傷をしてしまった。	24	391	11	100~ 299
2017	2	11~12	場内にて20tフォークリフトで部材運搬業務中、当該被災者はフォークリフト業務の補助要員として作業に従事していた。第5工場北側ストックヤードに停車し、降車の上作業中、他の同様リフトが接近してきたため、道を譲ろうと移動を開始した際に、当該者がフォークリフトに乗車しようとして、転倒した為、リフト後輪にて左脚及び右脚を巻き込まれ骨折した。	56	222	7	100~ 299
2017	2	15~16	プレス機械を操作中、後方では他の作業者が台車に鉄板シートの積み替えを行っていたが、積んでいるシートの安定が悪く、滑り落ちそうになったので他の作業者がシートを支えに行った時に台車が動き、動いた台車がプレス作業当事者の右足後部分に触れた。不意のことに驚き、力んだ際に腰を痛めた。	33	921	19	100~ 299
2017	2	14~15	コンテナ洗浄ラインで、コンテナに付いているシールを薬剤により剥がす作業をしていたところ、床に薬剤にて溶けたシールが落ちていたため、滑りやすい状態になっており、移動中、滑ってしまい、手をついた際に右手首を負傷した。	56	529	2	50~ 99
			パレットに積まれた荷物にラップを巻きつける作業中、足元に置				300~

2017	2	10~11	かかれていたハンドリフトに躓き、後ろ向きに転倒した。転倒時、頭部・腰部・背中を床に打ち、受傷した。	27	362	2	499
2017	2	10~11	次の製造アイテムの具材等準備時、アルコールが入った容器を取りに行き元の場所に戻ろうとしたが、ダスターを持って行かなければいけない事に気づき、ダスターを手に取り、振り返った際に、折り畳作業台の脚に引っ掛かりそのまま膝から転倒した。	70	419	2	100~ 299
2017	2	9~10	就業地であるサービス付高齢者向け住宅にて当月下旬から介護サービスを受けていた利用者が疥癬に感染していることに気付かず利用者に対して通常の介助をしていたため感染が拡がり、当月末頃には痒みの症状が数名のスタッフから出た。最初の利用者が受診した結果、疥癬と診断された。疥癬が疑われるためスタッフが当月末に病院を受診し検査したが認められず、翌月初めの再受診の際に疥癬に感染していることが判明したものである。	60	911	90	30~ 49
2017	2	16~17	労働者派遣先にて倉庫内作業を行っていた際、2階から業務用エレベーターにカゴ台車を載せ1階で降ろす作業をしていたところ、エレベーター扉（上下に開閉、3m×3m、240kg）が4mの高さから落下した。後頭部、背中、臀部に衝突した。前方に弾き出されるように転倒した。後に、扉を保持していたワイヤーが切れたことが原因と分かった。	40	214	4	100~ 299
2017	2	11~12	当社派遣先にてプレス機（YMGP6-DX）を使い、足場部品（240×1200）の穴明け作業中に穴明け部分を変更する時に、本来手を入れないところへ手を入れた状態で、誤ってフットスイッチを踏んでしまい、右手親指の爪部分を負傷してしまう。フットスイッチは一作業毎に足を外すように注意はしていた。	24	154	7	50~ 99
2017	2	10~11	工場2階に受仕分け作業場にてエレベーターから上って来た回収コンテナを仕分け場所へ移動の際入口扉部分でコンテナと安全ポールにて指を挟み右手中指先端を裂傷した。	35	611	7	30~ 49
			作業場にて、空のラックを移動させようとした時、ラックを勢い				

2017	2	20~21	よく引いて動かそうとしたところ、ラックが倒れてきて下敷きになった。	35	362	6	300～ 499
2017	2	15~16	トラックより降ろされたかご車の中から荷物を探す作業中、荷降場（高さ1m）の端に来ていることに気付かず足を踏み外し、約1m下のスペースに転落し負傷した。	29	419	1	10～ 29
2017	2	17~18	廃品庫外側で、廃棄後カーゴ台車をたたんで運搬していた際、カーゴ台車を左足の上に倒してしまう。その後も運搬を続け、1期3F西エレベーターを出たところで再度左足の上にカーゴ台車を倒してしまい、左足を負傷した。	50	362	5	300～ 499
2017	2	5~6	派遣先内パット洗浄室にて洗浄後のパットを運搬していた際、室内の床が濡れていた為、誤って足を滑らせて転倒し、負傷し、左側頭部、左肩、左腰側面を挫創、捻挫を負った。	41	416	2	300～ 499
2017	2	18~19	被災者は1時間の残業の後、通勤車両を置いてある東2駐車場に向かい歩行中、水路にかかっている橋上で、小動物が足元を通過した際に驚いた為、水路脇のコンクリートに1.2メートルの高さから落下し負傷した。	36	417	1	1～9
2017	2	9~10	容器にお湯を入れようとホースを引っ張った際、ホースが足に絡まり転倒しそうになったため踏ん張って右足を床に着いたところ、足指を負傷した。	48	391	19	10～ 29
2017	2	14~15	作業場で部品製造中、材料（鋼線）をセットする際、誤って左手を置いたままプレス機を作動（足でペダルを踏む）させてしまい、左手人差し指を挟み負傷した。	17	154	7	10～ 29
2017	2	8~9	製品部でV字スライサーにて、パンをスライス作業中に、パンが投入口途中で詰まった為、パンを流そうと右手で押し込んだところ右手中指がカッターの刃に接触し負傷した。	66	165	8	30～ 49
2017	2	14~15	断熱材を流しビニールシートで包装する際、カットの刃が下りカットが半分位で離れていなかったなので手を入れて引っ張り離そ	49	169	7	100～

			うとしたところ、断熱材を押さえる機械が下り指を挟まれた。				299
2017	2	1~2	第二工場作業場内において、包装機搬送チェーン清掃中、清掃に使用していたウエスが搬送チェーンとローラーに巻き込まれ左手指を裂傷、靱帯損傷した。	21	121	7	50~ 99
2017	2	16~17	工場内で運搬台車に立て掛けてあったステンレス鋼（重さ30kg）の板材を両手で上へ引き上げた際、右手首に痛みを感じ、その痛みがその後に継続した為、業務終了後に病院に行った。	29	521	19	50~ 99
2017	2	15~16	作業現場にて、溶接作業を行う為に工具を棚へ取りに行く際に、天井部分からつり下がっていた溶接機器（ホース状）に足を引っ掛けて、コンクリートの床へ右肘から転倒し、強打した。	38	351	2	300~ 499
2017	2	22~23	派遣就業先である工場内作業場にて、部品供給用の台車をたたむ作業を行っていた際、固定している部分を外した時に台車が倒れ、誤って台車と台車の間に左手を挟み負傷、骨折した。	19	362	7	300~ 499
2017	2	13~14	硬綿を運搬中、床に敷いてあるパレットに右足が引っ掛かり転倒した。転倒時、左足を捻り受傷した。	43	416	2	100~ 299
2017	2	10~11	クリーンルーム内において、製造ラインを稼働させる準備作業をしている時に、機械に用いられる20kg程の底フィルムを台車で運搬するために膝を曲げ、中腰の状態で両手で持ち上げた時に左肘に強い痛みを感じて関節を痛めた。	58	529	19	50~ 99
2017	2	16~17	派遣先にて、船舶及び橋梁部品に付着しているノロを専用工具（カス取り）で除去作業中に取りづらいので力を入れて自分の方向に工具を向けた状態でノロを除去しようとした際に部品からノロが浮いた状態となり、細くとがった先端が左指へはめていた皮手を突き破って刺さった。皮手着用していた。	25	364	8	50~ 99
2017	2	13~14	ホテルでの客室清掃中、ユニットバスを清掃後、部屋に行く為左足から段差を降りようとしたところ、敷いてあったマットで足が滑り、大腿部を捻り受傷した。	42	416	19	100~ 299

2017	2	16~17	組立2課1係昇温浄油（ブラッシング）工程において、被災者がVi020（2tバックホー）を所定位置に滞留機が置いてあった為、その付近に停車させ本機から降車した時、後ろから出荷検査員（契約社員）が運転するVi055（5tバックホー）がバックして来て、Vi055のブレード（排土板）とVi020のクローラの間で左足を挟まれ負傷する。	48	142	7	100～ 299
2017	2	12~13	被災者は、作業場で自動車開発部品のメーターカバーを取り付け作業を行っている時に慣れていない作業だったので、力を入れ圧着した際、両手首に痛みを感じた。また、コネクターを結線する作業もあり、中指に痛みを感じた。	41	529	19	100～ 299
2017	2	11~12	倉庫でタンスの修理の為、タンスの角度を変更した際に手を滑らせてしまい、左中指の第一関節の上に落下し、指を打撲した。さらに落下時に咄嗟に手を引いた為、指の皮が捲れて出血した。	67	391	4	30～ 49
2017	2	9~10	グループホーム施設内で高齢者の方をトイレに誘導する為、座っていた椅子から車椅子に移乗しようと、屈んで、高齢者の方を支えて立ち上がろうとした時に腰に痛みがはしり、そのまま床に腰を下ろして座り込んだ。当日は我慢してそのまま終業時間まで就労した。翌日も痛みがあるも出勤した。しかし、右足の痛みが強くなった。以後は自宅で静養した。その後、3日間出勤したが、右足の痛みを我慢していた。次の休日に足の痛みが酷くなり、立位も困難になり夕方に受診した。翌日も勤務したがいよいよ痛みが強くなったので、その次の日から欠勤した。以後、歩行も厳しい状況となり、現在に至る。	62	921	19	100～ 299
2017	2	23~24	工場内で容器が入っているダンボールから容器を投入しようとした際に、上部で詰まり滑って落ちてきたので、下のダンボールとの間で受けようとした際に挟まり右手中指を痛めた。投入器の上にダンボールを置き、ダンボールをひっくり返して投入器の中に、容器を投入していたところ、詰まって容器が落ちなくなった	62	611	4	30～ 49

			ため段ボールを揺すったところ、手が滑ってダンボールが落ち、下に置いていたダンボールとの間で指を挟んだ。				
2017	2	19~20	商品の搬入口でパレットに商品を積み付けしている最中に、別の現場作業員が搬入口で作業している事に気付かず、シートシャッターを降ろしてしまい、頭部にシートシャッターがぶつかった。	41	418	6	10~ 29
2017	2	10~11	派遣先の調理場にて作業中、お弁当用保温容器を取りに行き戻る際、つい小走りになり、濡れていた排水路の蓋の上で足を滑らせ転倒した。腰に痛みはあったが、そのまま作業を行った。	44	417	2	50~ 99
2017	2	23~24	フォークリフト部品出荷作業中に、客先社員が同現場にてフォークリフトで作業を行っていたので7m程後方で待機していた。作業終了まで待機していたが、客先のフォークリフトがバックしていた。当然後方確認していると思ったが減速する様子が見られなかったのでクラクションを鳴らしたが間に合わずフォークリフト同士が接触し、頸部・腰を痛めた。	36	222	6	50~ 99
2017	2	22~23	ターミナルのホームにてトラック荷台へ貨物を積み込もうと、荷が入っているロールボックスを引っ張ってトラック荷台へ進入しようとした際に、ホームとトラック荷台の段差を埋めるドッグレベラーを掛け忘れた状態だった為、左足がホームとトラック荷台の間に落ちてしまい、そのままトラック荷台とロールボックス(200kg)に足が挟まれた為に負傷した。	60	362	7	1~9
2017	2	21~22	出張中、懇親会終了後、車に乗り合わせてホテルに戻るために、懇親会会場の駐車場に徒歩で移動中、側溝で足を踏み外し転倒し、左腕を強く打った。	35	417	2	10~ 29
2017	2	11~12	台車搬送作業中（塗装ライン）2人でそれぞれ1台の台車を搬送していたところ、2人目の作業員が1人目の作業員との距離感を誤り近付き過ぎて1人目の作業員の左足アキレス腱部に台車前側下部の角材を衝突させた。	23	362	6	10~ 29
			自動車の製造工場内にて、車両内に上半身を入れながら各種部品				

2017	2	6~7	の組付け作業（ステアリング下部の配線、シート周辺カバーの取付け等）を行っていたところ、左胸に違和感を感じるようになった。筋肉痛だと思い、そのまま作業を続けていたが、後日早朝、左胸に強い痛みを感じたため、医師による診察・治療を受けた。	37	231	19	50～ 99
2017	2	3~4	派遣先にて別の作業者がハンドリフターで製品（約150kg）の入ったパレットを運搬中、被災者横のパレットをぎりぎりの状態でかわし移動しようとしたところ、前方にあった障害物をよけようとハンドルを切った時に被災者横のパレットと別の作業者の押すパレットが接触し、被災者横のパレットが動き被災者の右足に当たった。当たった反動で右足首をひねり捻挫した。	36	362	6	50～ 99
2017	2	13~14	第三工場おにぎり包装3部署おにぎり包装1号機にて検品中、フィルムの柄ずれが発生したので修正の為操作盤まで移動の際、床に落ちていた海苔を踏み転倒し、右手首を負傷した。	48	417	2	100～ 299
2017	2	15~16	鑄造工場で、出入口において、運搬車両（エレカ）に台車を連結させ、移動していた時に出口側のクイックシャッター前で一旦停止し、左右確認後再発進した際、加工してきたシャッターが頭に接触し、負傷した。	49	419	4	50～ 99
2017	2	8~9	入社後制服に着替え、エアシャワー室に入りドアを閉めようとしたところ急いでいたため、勢い余って自分の右手中指で挟んでしまい、打撲し負傷したものである。	31	418	7	100～ 299
2017	2	16~17	被災労働者は、レジ打ち業務中に、缶ビール（500ml）の6缶パック（重さ約3kg）の上部にある把手を左手でつまむようにして持ちながら、買い物カゴの空いているスペースに置こうとした際に、そのスペースに合わせようと左手首を捻りながら置いたところ、左手首を痛めてしまった。その時は痛みを我慢できたが、その後痛みが増してきたので、しばらくして整骨院で施術を受けて休業することになった。	23	611	19	50～ 99
			フレコンバック（セメント1t袋）作成作業中、フォークリフトに				

2017	2	16~17	フレコン作成アタッチメントを装着して、セメント落とし口に固定セメント飛散防止用ゴムバンドを装着したが、ゴムバンドが外れてセメントが飛散して、左目にセメントの粉が入り負傷した。フォークリフト積載荷重3t。	33	529	4	10～29
2017	3	15~16	洗浄室にてカート洗浄中に、洗浄水ストッパーを閉止しようと横に移動したとき、カート洗浄台スロープに左足を乗せたところ、洗浄中のカートに左肩を強打し受傷した。	64	362	3	50～99
2017	3	8~9	ベルトコンベアで玉ねぎを流す際、ローラーに手袋と手が巻き込まれた。（作業は40～50cmの台に乗って行っていた。）	54	224	7	1～9
2017	3	2~3	派遣先事業場でチーズの入ったトレーを10段積み、台車で運搬する際にケースのバランスが前方向に崩れそうになったため、ケースを支えようとして右手を打ちつけてしまい、小指の上部に被災した。	42	362	3	30～49
2017	3	0~1	第一工場内の選別ラインにて、休憩前清掃時にコンベアに異物が巻き付いていないか確認中、コンベアの下方にあるコンベアリターンローラーに粉物が付いていたので、スクレーパーで除去していたとき、コンベアを停止しないで作業をしていたため、回転していたローラーに右腕が巻き込まれ手首を骨折した。	27	224	7	10～29
2017	3	20~21	業務内容は自動車のフロントドア組付、及び周辺部品の組付を行っており、左手での作業が多い。左肩付近に軽い痛みがあり、そのあと痛み増して左肩が上がりなくなり、左鎖骨骨折と判明した。	29	231	19	300～499
2017	3	16~17	被災者は品目切替作業のため、基済サイロから3Fタンクに基済を輸送するバケットコンベアの掃除を行っていた。掃除箇所はバケットコンベア下部の2箇所の点検口で行うため、片側が終わり反対側の点検口に移動しようとした際、スクリーンフィーダー微粒排出口付近に後頭部を強打し、頭部及び首を負傷した。	67	391	3	30～49

2017	3	13~14	放課後、児童クラブで就業中、施設内廊下において子どもが会員に抱きつこうと走ってきたが、子どもを受けとめた際にバランスを崩し転倒、床に頭部を強打し出血。圧迫により止血を行い10分程度で出血は止まり、意識もはっきりしていた。	69	911	2	50～ 99
2017	3	8~9	水の入ったタンクを加温器本体にセットしようとして中腰になった際、腰に痛みがはしり痛めた。	32	391	19	100～ 299
2017	3	17~18	作業終了後、現場事務所から別事務所にタイムカードを押しに向かう際、現場事務所近くの側溝のグレーチングが100mm～150mm開いている所で左足をとられ転倒した。	60	417	2	100～ 299
2017	3	16~17	本社工場にてオイル缶の入ったダンボールをパレットに積む作業中、次のパレットを用意するために壁に立てかけてあるパレットを動かそうとした。両手で作業するところを片手（右手）でパレットの左端を持って動かそうとしたため、右手首に負担がかかり捻った。帰宅後に痛みと腫れが生じた。	36	379	19	50～ 99
2017	3	11~12	工場内、油圧部品（センタージョイント、旋回モータ他）を通箱からピッキング作業中に旋回モータ（重量32kg）を手持ちし、別の通箱に移そうとしたとき、手持ちしていたモータと通箱の縁で左手小指を挟み切創および骨折を負った。	50	611	7	100～ 299
2017	3	16~17	工場内にて自動車部品の洗浄作業をしていたところ、誤って洗浄液が目に入り、慌てて地下水で目を洗い負傷した。	57	514	12	10～ 29
2017	3	7~8	製造工場1階ロボット溶接作業場において、金属小物部品の溶接工程を終え、作業台から小箱に移すため振り向きざまに、左手甲部分を作業スイッチボックス角にぶつけ怪我をした。	60	391	3	1～9
2017	3	0~1	バット（容器）を冷凍庫に運んでいるときに足を滑らせて転倒し被災した。	55	417	2	10～ 29
2017	3	18~19	更衣室階段を下りる際、下で上がってこようとしている人が待機していたため、避けようとして右側に寄って降りようとしたところ	48	413	1	300～

			ろ、階段の最終段差のスロープ部分に右足を捻って着地してしまい、そのまま転倒した。				499
2017	3	10~11	派遣先において、踏み台に登ってコンピュータースケールの切替清掃をしているとき、左足を踏み台の天板から踏み外し転落し、左足甲を捻り負傷した。	57	371	1	100~ 299
2017	3	3~4	工場内のチルド室でパックのご飯ならし作業中に手に、汗をかいたので手袋を取り替えに行く途中、床が油っぽく滑ってしまい、手をついたときに右手首を怪我した。	53	417	2	30~ 49
2017	3	15~16	週に2回程度、シリンダーヘッドの全数検査業務があり、当日の検査作業を開始して間もなくシリンダーヘッド（約13kg）を持ち上げた瞬間、背中に痛みを感じたのでその日は早退をし安静にしていたが、翌日になっても痛みがとれず、胸椎・腰椎捻挫と診断された。	19	611	19	50~ 99
2017	3	13~14	店裏（厨房の奥）に保管している生ビールサーバーの樽の交換中、二段に積まれた樽の上部の樽を持ち上げた際に下の樽が横転し、右足の左上箇所に乗った。	41	611	5	50~ 99
2017	3	14~15	梱包作業所で梱包済みの小さめのダンボールを机からパレットに移動する際、肩幅より小さい幅のダンボールを持ち運ぼうとしたところ、大きさから予想できない重さ（15kg以上）があり、抱えきれず反動でパレットに置くときに腰を捻り、強い痛みが腰にはしった。そのあと痛みで早退したが、強い痛みが引かず、コルセットでの腰固定やリハビリが必要となった。	54	611	19	100~ 299
2017	3	14~15	リーチ式フォークリフトにて空パレットを工場内に運ぼうとし、通路をバックで走行中、運転を誤り置いてあった空コンテナに接触しそうになり、とっさに身を翻したときにフォークリフトとコンテナの間に左手が挟まれ小指を骨折し、無理に引き抜いたことで裂傷ができた。	34	222	7	100~ 299
			該当スタッフが自動テープディスペンサー（梱包用テープを自動				

2017	3	13~14	で供給する機械）を使用中、排出口に詰まったテープを素手で除去しようとしたところ、誤って排出口に右手中指が巻き込まれ、右手中指先端部皮膚欠損の傷を負った。テープの詰まりや機械のトラブルの際は、現場派遣先社員を呼び、派遣先社員が対応するルールとなっていたが、事故当時は社員がフォークリフト運転のため不在となっており、早く直さなければならないという焦りから電源がオンになったまま対応してしまった。	56	391	7	100～ 299
2017	3	15~16	被災者は、当社で機密書類破砕減容処理作業補助業務に従事していた。減容機の停止に伴い（休憩のため）出口に残っている解かれた紙が乾いて詰まってしまうのを防ぐため、ボールで取り除こうとしたところ、ボールと出口の金具の間に右手中指を挟み負傷した。	32	364	7	100～ 299
2017	3	9~10	台車に左足を引っかけて転倒し、左足を骨折した。	53	379	2	30～ 49
2017	3	12~13	食事介助中、利用者の隣の椅子に座り介助をしながら、自身も食事を取っていた。椅子から立ち上がって介助し、座ろうとした際、隣に来たヘルプの職員が椅子を移動させていたため後ろを確認せずに座ったところ、座り損ねて転倒した。転倒時、テーブルの角に後頭部、床に腰部・臀部を強打し受傷した。	48	921	2	100～ 299
2017	3	11~12	事業場内で、作業の準備として荷物（冊子150部、高さ20～30cm位）を机へ運んでいた際にバランスを崩し、左ひざを床に強打した。	46	611	2	30～ 49
2017	3	15~16	搬入作業先駐車場にて、コピー機の搬入作業中、上下2つに分かれていた機械（重さ100kg）を連結するため、同僚社員と二人で持ち上げた際、重さのためもう一方の相手が後にのけぞってしまったため、被災者もそのはずみでバランスを崩して右前方に引っ張られ、右の腰・わき腹付近を強く捻り負傷した。	40	391	19	50～ 99
			個人宅前にて、ダンボールで梱包された商品（長さ2m、30cm				

2017	3	15~16	角、重さ10～15kg位）をトラックから降ろして一人で運搬していたところ、搬入先の玄関前で持ち手が滑りそうになってバランスを崩し、商品を右足親指付け根付近に落とし負傷した。	31	611	4	50～ 99
2017	3	11~12	倉庫内にてオリコン（折りたたみコンテナ）を整理中、台車にオリコンを乗せ運ぼうとした際、オリコンが収まっていないことに気付いた。オリコンを台車にきちんと収めようとして、右手指を台車とオリコンの間に挟まれてしまい、第1関節と第2関節の間を骨折し、全治6週間となった。	35	362	7	10～ 29
2017	3	8~9	2階の更衣室で作業着に着替えて1階の作業場に向かう階段（1階の下から3段目高さ約60cm）でつまずき、1階の床に自分の体の左肩付近から転倒した。	62	413	1	10～ 29
2017	3	8~9	中2階の階段から下りる際に、階段のステップに貼ってある滑り止めラバーに靴のヒールが引っかかり、そのまま6～7段転落し、右膝下部を強打し、右腕を下にして落下した。その際に右膝下部に15cm程裂傷、右肘に粉碎骨折を負った。	48	413	1	50～ 99
2017	3	18~19	入居者の室内用お手洗い場にて、入居者の便座から車椅子に移動後、フットレストへの移動介助を行っていたところ、入居者が車椅子の車輪ロックを自分で外し車椅子が移動し、右足の薬指と小指を踏んで通過した。帰宅後に痛みと腫れが生じ、その後、LP関節挫傷と診断された。	40	362	7	1000 ～ 9999
2017	3	21~22	倉庫内にて、高さ2mの棚の上にある商品をピッキングするため、備え付けの脚立使って商品を取ろうとしたところ脚立が破損し、バランスを崩して落下し、転倒した際に脚立と床に背中を強打した。	48	371	1	30～ 49
2017	3	12~13	派遣先工場内において、プレス設備で容器に入っている材料を持ち上げ、別の専用容器に材料を入れる作業を繰り返し行い、腰部を負傷した。	55	521	19	500～ 999

2017	3	11~12	園児を連れて遊びに行った際、園児が投げた石が右足のふくらはぎに当たり、歩くことができないほどの激痛が続いた。	43	911	4	1000 ～ 9999
2017	3	11~12	金属製のベンチの上でポスター貼りの作業中、ベンチから降りる際に足を滑らせて転倒し、右手をつき、右手親指を負傷した（骨に異常なし）。	65	419	1	500～ 999
2017	3	13~14	1.5tトラックにて商品の自動車タイヤを納品先へ納入の際、トラックの後方のあおりを下さずに自動車タイヤを取るために右手を伸ばした時、強風でトラック後方の幌が自身に勢いよく被さってきて、その勢いでトラック後方のあおりの縁にわき腹を接触し、接触部分の肋骨1本を骨折した。	57	719	6	100～ 299
2017	3	11~12	中学校改築に伴う移転作業において、更衣用ロッカーを作業員4名で運搬した際に、2tトラックの荷台に更衣用ロッカーを乗せようと受傷者が後退したところ、2tトラック荷台扉のエッジ部分と受傷者の左第1指が接触し受傷した。	27	221	3	50～ 99
2017	3	16~17	タイムカードのサインを貰うため階段を下りていた時、最後の一段を踏み外し転倒し、右足首と左膝を捻り受傷した。	53	413	2	500～ 999
2017	3	5~6	派遣先工場構内の清掃中、バケツを取りに行き台車に乗せて戻る途中、パネルを操作していた別の社員が不意に振り返り、ぶつかりそうになったため、慌てて立ち止まった際に後ろに転倒し、手をついてしまい、手首を痛めた。	51	911	2	500～ 999
2017	3	14~15	弊社2階において、弊社製品クーラー（30kg程度）を1Fに移動させるため、ハンドリフトに製品を下ろす際に腰に痛みを感じた。当日は引き続き作業を続けたが、翌朝に痛みで動けなくなった。通常は2人作業で行っているが、当日は作業員1人が休んでいたため、1人で作業をしてしまった。	49	611	19	300～ 499
			被災者（以下甲という）は就業先において物品の搬入出作業に従事していた。甲は、トラックの荷台から降りる際（荷台に右をつ				10～

2017	3	14~15	いた状態)に、物品を養生していた毛布に左足が引っ掛かり、捻りながら着地し負傷した。	36	221	1	29
2017	3	11~12	派遣先事業所工場内の作業場にて、豚肉塊を切断する機会に肉塊を投入し、そのあと機械の中に残っていた骨片を除去している際に、その骨片が左手薬指に刺さり被災した。その後も作業を継続したが、痛みと患部の腫れが増したため早退した。	20	529	8	300~ 499
2017	3	10~11	高速道路にて渋滞待ちをしていたところ、後方から4tトラックが衝突し、シートに頭を強打した。	55	221	17	100~ 299
2017	3	8~9	業務開始のためロッカー室にて着替えが終了後、2階から1階へ下りる階段にて、1階から上がって来た人とすれ違う際に足を滑らせて体勢を崩し、左足を負傷した。(相手との接触はない)	28	413	1	30~ 49
2017	3	17~18	派遣先事業所にて、機械加工するため製品FWPをセッティングする際、右手親指を間に挟み負傷した。	25	159	7	10~ 29
2017	3	18~19	野菜処理室で、野菜を倉庫から野菜洗浄室に運んでいた際、清掃のため排水溝の蓋が取り除かれていたのに気付かず、右足が排水溝に落ち、体のバランスを崩し右膝を捻挫した。	51	417	19	100~ 299
2017	3	17~18	構内でロールボックスを引っ張っていたところ、左足首を車輪にはさまれ打撲を負う。	26	611	7	500~ 999
2017	3	16~17	派遣先工場内にて、不良品等のプラスチック製品を粉碎し、再利用するための前工程として、帯縄を使用して切断していた。回転する鋸の刃に製品が接触した際に反発が生まれ、その反発で製品を押さえていた手元がずれ、左手中指を巻き込まれて負傷した。	55	169	7	30~ 49
2017	3	11~12	作業場で午前中の作業を終えて、作業用の手袋をしたまま右手にほうきを持ち、作業場の真ん中から左右両方にスライドさせて開け閉めする扉の右側レールを掃除し、左手で扉を右にスライドさせた時、勢いよくスライドさせてしまい、扉が跳ね返ってきて、扉と扉の間に左手の中指を挟み、負傷した。(扉：鉄製、高さ約	43	418	7	100~ 299

			35cm、横約1m程度)				
2017	3	14~15	製造ラインの清掃をしていたところ、ベルトコンベアの間に足を滑らせ、左足をベルトに打ちつけ負傷した。	31	224	3	10~ 29
2017	3	12~13	作業場の廊下を歩いていた際、床のゴムマットに摩擦で足が引っかかり転倒しそうになった。とっさに転倒しないように壁に手について身体を支えようとしたが、勢いが強かったためそのまま左肩を脱臼した。	43	417	2	30~ 49
2017	3	10~11	引越作業の為、台車からトラックの荷台にダンボール箱（50×50×70、30kg）を積み込もうと持ち上げた際、無理な体勢で持ち上げてしまい、腰を捻挫した。	33	921	19	100~ 299
2017	3	7~8	派遣先冷凍倉庫にて、出荷のためのピッキング作業中高さ170cmの棚から冷凍うどんの入った箱（重さ7~8kg位）を降ろそうとした際、一旦胸で受け止めようとしたが手が滑り、箱の角で胸を強打した。	27	611	4	10~ 29
2017	3	4~5	派遣先にてプラスチック製品をナイフでカットする作業中、左手に持ったナイフを滑らせ、右手薬を切り3針縫うケガをした。	31	364	8	100~ 299
2017	3	10~11	トラックから降ろした荷物をパレットに積んでいる際、ツメがパレットに刺さったままの状態でもフォークリフトがハンドルを切りながらバックした。指がパレットに触れていたためパレットとフォークリフトのツメに右人指が巻き込まれ脱臼した。その後、パレットの上の棚ラックを運ぶ作業中、パレットの棚ラックが倒れ左肩を強打した。	23	222	7	30~ 49
2017	3	10~11	空になったダンボールを解体する作業中に、ダンボールのビニールテープで封印してある面を開けるために、ビニールテープを外さず、手の甲で強くたたきつけたとき、打ちどころが悪く、右手の甲の痛みを伴う腫れが生じた。	52	529	3	100~ 299
			木製パネルに電動ドリルで穴を空ける作業中、パネル側面から穴				

2017	3	9~10	を開けようとしたが、節に当たったので、慌てて停止レバーを戻してドリルをパネルから抜こうとした。その際、ドリルの回転が止まっていない状態で抜いたため、ドリル本体が揺れたので落とさないようグリップをつかみ、右手薬指をドリルにぶつけて負傷した。	57	131	7	10～ 29
2017	3	9~10	組立ラインでカシメ機を用いて組立作業をしていた時、無意識に右手をカシメ機の下にもって行き、カシメ機インサートが人差し指に当たり、指を損傷した。	42	169	7	300～ 499
2017	3	14~15	工場内の原料冷蔵庫入口前にて、サンテナを2山同時に片づけている時に、人を避けようとしてサンテナに躓き、胸を強打した。	53	418	3	50～ 99
2017	3	14~15	木材加工場にて電動木材切断機を操作中、作動に気づかず誤って右手を挟み、人差し指・中指・薬指を切断した。	46	131	8	30～ 49
2017	3	17~18	集配補助として荷物を取り扱っていた際、左足に過度に負担をかけて作業を行い被災した。	37	611	19	50～ 99
2017	3	13~14	当社派遣就業先の訪問介護にて業務中、高齢者向け住宅施設内で利用者の入浴介助終わりの対応時、立位のとれない女性利用者をシャワーチェアから簡易ベッドへ移乗する際、全体重を抱えた際に足を踏ん張り、右足に違和感を覚えた。	57	921	19	50～ 99
2017	3	12~13	スタッフとランチ面談のため目的地に向かう途中、左足を外側に捻った。	45	417	2	100～ 299
2017	3	19~20	トラックとホームの隙間を埋める鉄板を移動する際、手から鉄板が滑り、安全靴と指先の合間に落ち負傷した。	27	611	4	30～ 49
2017	3	19~20	トラックと構内ホームの隙間を埋める鉄板を移動していた際、手に持っていた鉄板が安全靴と指先の合間に滑り落ちた。	27	611	19	30～ 49
2017	3	13~14	作業中、機械の起動ボタンを押したのと同時に背後から声をかけられ、左に振り向いた時に右手人差し指が機械に挟まれた。なお、ボタンを押してからプレスが下りるまでは3秒である。	42	154	7	300～ 499

2017	3	2~3	機械上部に生地投入機、投入口で生地が詰まりその生地を取るため、可動式三段ステップの階段を生地の詰まった部分横に設置し、最上部まで上りしゃがんだ姿勢で生地と取り除く作業をしていたところ、生地を引っ張った勢いで足が階段から滑り、右側の脇腹を強打し床へ落下した。	61	413	1	100～ 299
2017	3	21~22	トラックバースに積まれていた荷物を数えることに集中し、足元を確認しておらず、荷物の方向を向いたまま後退した時に、トラックベースから足を踏み外し約1.5メートル下に転落し、トラックバースの角に左脇腹があたり骨折した。	57	221	1	10～ 29
2017	3	19~20	メッキ加工を終了し、分離機に付着した亜鉛をハンマー（80cmほどの長さ）で叩いて除去作業中、ハンマーで分離機を叩こうとした際に誤って分離機で右手を打ってしまい、右手を負傷した。	39	364	7	50～ 99
2017	3	8~9	派遣先に出社後、朝のラジオ体操に参加しようと場所を移動していたところ、通り道であるフォークリフト置き場（コンクリート）の穴に気がつかず、左足が穴にはまってしまい、左足のくるぶしを負傷した。	53	417	19	300～ 499
2017	3	14~15	被災者が路上でユンボの誘導をしていたとき、通行人がユンボの近くに入ってきてしまったため、注意を促そうとした際にユンボがバックしてきてしまい、キャタピラーが被災者の右足を挟み負傷した。	63	142	7	30～ 49
2017	3	15~16	10号機の型替えを行っている際、型取付ゲージの調整を相方が指導に来たので場所を譲ろうと一歩下がったところ、足場がなくピット内（高さ約2.7メートル）に落下した。	27	414	1	300～ 499
2017	3	5~6	作業現場でカートを入れ替えている時に引いていた空カートが柱にぶつかりそうになったため、避けようと空カートを引いた際、背後に半分ほど荷物が積まれていた別のカートがあり、その下に踵が挟まったため負傷した。同時に引いていた空カートも両膝に当たり負傷した。	24	362	6	50～ 99

2017	3	11~12	薬品会社にて、薬品の含んだ溶液をポリ容器にて施設の2階へ運ぶ途中に足を段差に躓き、入っていた溶液の水滴が目・唇にかかり、角膜細胞の損傷、唇の湿疹を負った。	56	413	19	300～ 499
2017	3	10~11	朝、研修資料の入ったダンボールの積み上げる作業を開始した。本人は、肉体労働が難しいことを伝えていたが、当初35箱の予定であったため、協力しながら重量のあるものを自分の身長より高い位置にも積み上げていった。途中で急遽追加があり、合計で122箱を全員の流れ作業により完遂させる指示が出たため、痛みを感じながらも作業を継続したところ、左腕に痛みと痺れを発症し、左腕が動かなくなった。	51	611	19	1000 ～ 9999
2017	3	21~22	冷蔵倉庫の出荷バースにて、座って右足を伸ばした状態でシール貼り作業を行っている際、走行中のフォークリフトに右足を接触した。	20	222	7	50～ 99
2017	3	10~11	製造課EラインからJラインへ業務状況を確認する為、ベルトコンベア下の通路を通ろうとした所、コンベアに頭部をぶつけそのままよろけベルトコンベアの柱に背部を打ち付けた。頭部はヘルメット着用していたため怪我は無かったが、背部に腫れと痛みが生じた。	54	224	3	100～ 299
2017	3	17~18	第1工場第3製造課塗装職場のラック置場で、ラックを移動させていた。後向きでラックを引っ張って移動させていた為、狭い通路の後方確認が不十分となり通路左側に置いてあるラックと移動中のラックに左小指を挟み骨折した。	53	362	7	50～ 99
2017	3	11~12	派遣先である工場にて、ごみ捨てるために生ゴミ処理室に向かう途中の前室廊下で台車を跨ごうとしたところ、バランスを崩し前のめりに転倒した。その際、積み重なった番重（高さ60cm程）にみぞおちを打ち付け動けなくなった。	48	416	2	100～ 299
			スチール家具（保管庫）を搬出中、階段で下側を担当し降りている最中、一旦立ち止まった時に、ガムテープを固定していたスラ				10～

2017	3	9~10	イド扉がテープが外れ、右手薬指をスライド扉で挟まれ骨折した。	30	391	7	29
2017	3	15~16	荷卸先の会社でトラックを駐車して降りようとしたところ、横に柱があり20cmくらいしかドアが開かず、そこから出ようとしたら頭を挟んで怪我をした。	36	221	7	50~ 99
2017	3	17~18	技術管理者が業務中に派遣先で打ち合わせの為、車で移動中、ゆるやかなカーブで対向車がセンターラインをはみ出し、正面衝突となった。	40	231	17	100~ 299
2017	3	9~10	液体窒素補充場所にて、補充タンク2本を両手に持ち補充場所に運んでいた。タンク2本を補充場所に降ろす際に腰に激しい痛みがはしり、背骨がグキとなった。	37	611	19	100~ 299
2017	3	14~15	構内を移動中、12号館入り口を歩行したところドアストッパーの金具に躓き転倒し、左膝を打った。	43	417	2	1~9
2017	3	12~13	ベッドメイク、シートを取り換える際、シーツに絡まり足元がふらつきバランスを崩し、左手首を壁に強打し受傷した。	26	419	3	300~ 499
2017	3	15~16	小型タンクローリー車（3t）にて重油の配送中、車両が半横転し、被災者は助手席にいて掴まるものがなかったため、頭部や全身を強打した。	53	221	17	100~ 299
2017	3	21~22	宴会場入口にて会場内に入ろうとした際、入口前の床が少し濡れており、滑って転倒し、床で左手を強打したため、左手小指を負傷した。	36	417	2	50~ 99
2017	3	13~14	豚の内蔵生冷室にて、内蔵入りの荷物を運び入れた際に滑って転倒し、後頭部を打った。	51	417	2	300~ 499
2017	3	9~10	重石を2つ持ちあげた際に腰に違和感があった。その翌日、約20kgの塩袋を持ち上げて小樽に移そうとした際、再度痛みが出た。	37	611	19	100~ 299
2017	4	17~	1F到着ロビー付近にてお客様と一緒に帰着する便への搭乗手続き後、搭乗口へ向かう際に滑って足を取られ、前のめりに肘から転	54	416	2	1~9

		18	倒し、左ひじを骨折した。				
2017	4	17～ 18	派遣先コンクリート工場にて、型枠にスコップを用いて生コンを補充していた際、左ひじを痛めて左上腕外側上顆炎と診断された。	60	364	19	50～ 99
2017	4	16～ 17	清掃作業中、側溝の鉄格子（40kg）を取り外している際、本人の足の上に落としてしまい、左足親指を骨折した。	50	521	4	50～ 99
2017	4	18～ 19	排水口の中を清掃後、外していたグレーチングを元に戻そうとして右手から離れた時に誤って左手中指をグレーチングと床の間に挟んでしまった。	23	521	7	10～ 29
2017	4	21～ 22	プラスチック手選別工程にて、コンベアに乗って流れてくるプラスチックを手選別する作業中に、コンベアの架台とコンベア上のクリート（仕切り板）との間に隙間があり、その隙間に右手を挟んだ。	51	224	7	100～ 299
2017	4	17～ 18	派遣先の製造部組立課前工程にて、配線切断機から切断済みの配線を取り、手で巻き取る作業をしていた際、作業指示通りに作業していたが生産量が多かった為、巻き取る速度を速めていた。そのため勢い余って配線が跳ね上がり、左目眼球を損傷した。	48	521	4	100～ 299
2017	4	16～ 17	T/Fライン芯材挿入機の内部で芯材が樹脂サッシに正しく入るか監視業務を行う為、右手で柱につかまり奥の稼働部を覗き込んでいたところ、芯材段取りユニットが動きだし、柱と段取りユニットに腕が挟まれ被災した。	22	169	7	100～ 299
2017	4	12～ 13	コンテナを台車に積載中、右側から移動してきた台車に右足を踏まれた。	72	362	7	100～ 299
2017	4	8～9	プレス機の送り台が機械から出てきたとき、送り台のゴミを取ろうとして、トラテープの内側に送り台が動いていたが右足を踏み入れてしまい、右足に送り台が当たり負傷した。	28	169	6	100～ 299
			品質管理室で樹脂を入れたガラスのカラムの側面を叩く作業を、1				

2017	4	0～1	日に長時間継続して行っていた。そのため肩や肩甲骨の筋肉が炎症をおこし、背中・首・腕等に痛みが生じ、動かすことができなくなった。	40	364	19	50～ 99
2017	4	10～ 11	派遣先において、入社時より車の排気ガスをきれいにする為の液体金属の調合に携わっていた。汗疹のような症状が腕に現われ、市販薬にて治療し症状が治まったが、再発した。原因不明の汗疹と診断され経過観察していたが、塩化コバルト、イリジウムに対するアレルギー反応だと判明した。	23	514	12	300～ 499
2017	4	7～8	利用者をベッドから車椅子へ移乗する際、車椅子へ乗せる寸前で利用者が動いたため、無事着地させようとして自身の上半身を少し捻ったところ、背中を痛めた。	40	719	19	500～ 999
2017	4	11～ 12	東棟3階前処理室のオムニリフトで、スライスされたキャベツが入っている水槽を3階から2階に降ろしている最中、水槽が挟まってリフトエラーが起きた。エラー解除するためリフトに登り、解除させたあと降りる際にフラップに足が引っかかり落下し、右ひじ骨折および左手首打撲を負った。立入禁止にしていた場所に立ち入ってしまったため発生した。	53	229	1	30～ 49
2017	4	21～ 22	派遣先の工場内T3ライン盛付室内のトレー洗浄機付近において、使用済みの調理加工具材入れ用番重の洗浄作業中に移動時に足を滑らせて転倒し、尻もちと同時に左手を着き負傷した。ホースで番重を水洗いする作業のため床が濡れていて、力を入れた際に転倒した。（防水滑り止め長ぐつ使用、すり減りなし）	68	417	2	30～ 49
2017	4	18～ 19	回転するローラーに手に持っていたウエスが巻き込まれそうになり、それを引っ張ろうとしたところウエスと共に腕を機械に挟まれた。	19	163	7	300～ 499
2017	4	11～ 12	ガスボンベを洗浄して出荷する業務中、操作盤から落下した部品が下部ドレーン付近に落下したため拾おうとし、ドレーンのレバーに当たって押し上げてしまったため蒸気が噴出して右手甲に	50	713	11	300～ 499

			かかり、熱傷を負った。				
2017	4	11～ 12	被災者（以下「甲」という）は、派遣先において、商品の仕分業務に従事していた。甲は、パレット置場からパレットを取り出す際、12段（約180cm）に重ねてあったパレットを、背伸びをして一番上から引っ張り出したところ、地面に落ちた衝撃で手が離れてしまい、パレットが甲の方に倒れてしまった。甲は逃げきれず、倒れたパレットを左足に受けて負傷した。原因は、甲がパレットを降ろす際、無理に引っ張り出したことによる。	25	379	6	30～ 49
2017	4	20～ 21	派遣先営業所の野菜更生生庫内で品出し作業中に他就業者の操作するハンドフォークと床置きパレット間に左足を挟まれ、歩行困難となった。	51	379	7	50～ 99
2017	4	11～ 12	当社において、商品の仕分業務に従事していた。被災者がパレット置場からパレットを取り出す際、12段（約180cm）重ねてあるパレットを一番上から引っ張り出した時、地面に落ちた衝撃で手が離れてしまいパレットが被災者の方に倒れた。被災者は逃げきれず、倒れたパレットを左足に受け負傷した。原因はパレットを降ろす際に無理に引っ張り出した事による。	25	611	4	30～ 49
2017	4	7～8	ベルトコンベアーの物を移す作業をしていたところ、振り返った時にフォークリフトの先端と右頬骨が激しく衝突した。あまりの衝撃で、一瞬気を失いそうになるほどの痛みを感じた。痛みは残ったが、少し休憩を取り作業に戻った。しかし徐々に痛みが増していき、右頬が腫れ上がってきた。	41	222	6	10～ 29
2017	4	14～ 15	2階発送作業フロアにて、化粧品等商品のピッキング作業中、商品を積むパレットが密集しており、足を取られて転倒し、左脇下・右膝を打ちつける。転倒時、左脇下に商品の一部が突き刺さるような形になり、腫れ・痛みがひかない状況が続いている。	56	379	2	50～ 99
2017	4	7～8	調理場で冷凍食品を切る際、食材が固いため、包丁の峰に左手を添えて切断していた。包丁に付着した油脂分で左手が滑り、刃先	47	364	8	10～

			で手のひら（手首近く）を切ってしまった。				29
2017	4	10～ 11	執務室の打ち合せデスクで書類のファイリングをする為、穴あけパンチで作業をしているとき、紙を押さえて穴をあける際に誤って指を機械に挟んでしまい、爪と皮膚の一部を切断した。	46	379	7	1000 ～ 9999
2017	4	7～8	被災者（甲）は自宅を出て、自転車で就業場所へ向かっていた。商店街を走行中、左側から急に走って飛び出してきた子供を避ける為にハンドルを右に切った際、バランスを崩し転倒し、頭部、顔面等を負傷した。なお、甲は通常、事務作業や顧客開拓の業務に従事しているが、事故日当日は人員配置の都合上、派遣先での就業となっていた。	26	362	17	1～9
2017	4	14～ 15	施設3階、左肢欠損している利用者の個室でトランス介助をしようとした際、不安定なバランスとなり、自身で足をひねった感覚があった。徐々に右膝が痛み始めて、ひねる、曲げる等の動きができない状態となり、後日に右膝関節の捻挫、右膝外側半月板損傷の疑いありと診断された。	30	911	19	10～ 29
2017	4	9～ 10	患者様をお風呂に入れる際に、車イスから洗い台に補助しながら横にした時、患者様と台の間に手が挟まって左手の薬指を負傷した。	43	911	7	50～ 99
2017	4	11～ 12	荷物を配達している際に徒歩にて移動中、足元をよく見ていなかったために段差に躓き転倒し、右手を強打し、右手首剥離骨折を負った。	60	391	2	500～ 999
2017	4	8～9	2階利用者居室にて、女性利用者を2名介助でベッドからリクライニング車イスへ移乗の際、利用者の上半身を支えていたときに体勢を捻って、右肋骨を骨折した。	55	921	19	100～ 299
2017	4	10～ 11	入職以降、連日3時間程度、5～20kgの商品の積み込みを中腰状態で繰り返し行っていた為、徐々に腰に負担がかかり、腰痛を発症した。痛みをこらえ就業するが痛みが悪化し、腰部捻挫および背	55	611	19	30～ 49

			部挫傷と診断された。				
2017	4	10～ 11	車体プレス作業場にて、スキット（動力車）の牽引バーを置場に 戻すため、左手で牽引バー2本を持ち、右手で牽引バー1本を持っ て移動する際、左手の牽引バー1本（約4.3kg）が手から滑り落 ち、右足に当たり受傷した。	47	379	3	10000 ～
2017	4	19～ 20	構内にて大型トラックへの小物を積み込み終えた後、足を滑らせ 転倒した。当初は右足が少々痛い程度で歩行に問題もなかった が、後日に骨折が判明した。	65	416	2	300～ 499
2017	4	17～ 18	終日、床にマスキングテープを貼る作業をしていた。起居（立っ たり座ったり）による屈伸の繰り返しにより両膝を痛めた。筋肉 痛と思い様子をみたが、翌朝に膝の痛みが強くなった。	58	921	19	100～ 299
2017	4	11～ 12	第一製造課第一製造係HD311組にて、スキット上のユニットの外 壁取り付け後に、定型シールの取り付けと妻面の定型シールを ローラーで挿入する作業中、ユニット下部を馴らし終わり立ち上 がろうとしたところ、スキットが動いた為バランスを崩し、ス キットから30cm下の床へ右足から着地した際、床面配管に右足が 乗り足を捻り負傷した。	34	224	2	100～ 299
2017	4	11～ 12	外壁組立工程にて外壁取り付け後、定型シールの取り付け作業を 行っていた。進行方向後ろ側の妻面の定型シールをローラーで挿 入し、下部を馴らし終わり立ち上がろうとした際に、スキットが 早送りになったため、スキット後方へバランスを崩しスキットか ら床面に右足から着地し、床面配管に右足が乗り足を捻って転倒 した。	34	379	2	100～ 299
2017	4	3～4	納品先店舗へ商品が入ったカゴ台車を運搬する際に、トラックの ゲートを降ろし、カゴ台車を押し始めた時に台車のタイヤ部分が 地面の窪みに引っ掛かりバランスを崩した。慌てて手で支えたが 重さがあるのでそのまま台車は倒れ、左手首の筋を痛める。	48	417	19	10～ 29
			フードコート内の冷蔵庫にて、高い所に積んである商品（チャー				

2017	4	11～ 12	シューのコンテナ）10kg程度を取る為上に積んである他の商品を降ろしていた。何個めかの荷物を取る為、手を伸ばして荷を持った時に腰に激痛がはしり、腰椎椎間板ヘルニアの疑いがあると診断された。	41	611	19	1～9
2017	4	11～ 12	食品加工製造を行っている工場で、おにぎりにラベルを貼る機械が作動中にラベルを取ろうとし手を入れてしまい、ラベルを貼り付ける機械に指を挟まれた。	26	169	7	100～ 299
2017	4	0～1	加工場内で冷凍鮭の皮むきの作業中、左腕の肘から指先にかけて感覚が麻痺し、動かす事ができなくなった。	62	921	99	50～ 99
2017	4	23～ 24	野菜室で長ネギのダイス工程（みじん切）時に、スライサーの電源を切らずに、上コンベアー持ち上げ用のレバーを右手で引き上げ、左手で下コンベアーのダイスされたネギをかき集めていて、手が奥まで入ってしまい稼働中のカッターの刃に左手中指が接触して負傷した。	40	169	8	100～ 299
2017	4	19～ 20	2800トンプレスラインにて新規受注部品品質制度確認トライ実施中、不良品をラインサイドの作業台の上に山積みになっていた。荷崩れしそうになったためもう1名の作業者と二人で不良品を片付けようとした。しかし二人の呼吸が合わず不良品がバランスを崩し自分の足の上に崩れ落ちた。	41	521	4	100～ 299
2017	4	13～ 14	食料品製造工場において、作業現場へ向かう途中、エアーシャワーの入口の自動ドアが閉まりそうになったため慌てて中に入ろうとしたところ、左足小指をドアに強くぶつけてしまった。その後も仕事を続けたが、帰宅するときに足が痛み歩けなくなった。	58	418	3	50～ 99
2017	4	11～ 12	取引先よりパレット積みされた組立部品（約12～18kg）が工場建屋外の納入場所に納入された。その組立部品を手押し台車に積み替えて工場内の棚に移動するように指示された為、パレットから台車に移動するため中腰の状態で抱えた際に、腰部にかけて痛みが生じた。	46	921	19	100～ 299

2017	4	6～7	成形工程にて自動運転するはずの成形機が停止したため、監督者を呼び出して処理してもらい、自動運転するかどうかを確認作業中、金型が途中で止まり、閉まり切らなかったため不具合箇所を指で指し示していた時残圧で金型が閉まってしまい、左手人差し指を負傷した。	28	169	7	10～ 29
2017	4	15～ 16	工場内のプレス機（200t）で作業中に金型から製品を押し上げるシリンダーが下りるのを確認せず、左手を入れてしまい誤って左手示指を挟んでしまった。	35	154	7	10～ 29
2017	4	10～ 11	本社工場内で型枠から降りる際に足を下ろした所、別の型枠がありその型枠の上に足を下ろしてしまい、足を捻りながら転んで足首を骨折した。	46	165	7	300～ 499
2017	4	10～ 11	第5工場溶接ラインにてスポット溶接機オペレータの作業中、部品の入った約10kgのコンテナを定位置にセットするため腕を伸ばしたところ、腰を痛めた。1時間ほど痛みを我慢し作業を続け、休憩中に動けなくなった。	30	611	19	50～ 99
2017	4	17～ 18	管理室へ両替に行った帰りに管理室前の階段を下りていたところ、階段を踏み外して前に倒れるように三段程落ちて左足先を捻り、自力歩行ができなくなった。	26	413	1	500～ 999
2017	4	13～ 14	倉庫内（A棟）にて次の箱にかんばんを挿しに移動する際、足元にあったPPバンドを跨ごうとした。その際、他の作業者がそのPPバンドを製品に固縛するため引っ張ったところ、跨ごうとした本人の右足に引っ掛かり右前方に転倒し、右膝から落ちて右膝蓋骨を骨折した。	55	417	2	1～9
2017	4	9～ 10	鑄造工場12トンクレーンの走行モーター交換を4名で行う為、2名は高所作業車で機上へ昇降、2名は地上での指示、打ち合わせを行い、機上の2名がモーター取外に入った時に、地上の1名が機上へ作業を見にはしごでランウェイへ上がり、クレーンサドル上を移	71	211	1	100～ 299

			動中、頭上の突起物に頭を当てバランスを崩し、鑄造保持炉上へ転落した。（3.9m）				
2017	4	9～10	工場内1F外のピットにて高さ70cm幅120cm奥行70cmのタイヤ付きのタンクの水を捨てる為、持ち上げようとしたところタンクが前方に動き、つかもうと手を伸ばして前屈姿勢になったところ、腰の左側部分に痛みを感じ、そのまま動けなくなってしまった。	31	921	19	100～299
2017	4	21～22	鑄物工場において、ベルトコンベアに乗っている鑄物製品を拾い上げる作業中、隣の鑄造製品がベルトコンベアの振動により転がり、左手人差し指に当たった。	52	224	6	30～49
2017	4	20～21	厨房にて、食材であるレンコンをキッチンスライサーでスライス加工中、誤って右示指をスライサーの刃で切りつけ受傷した。	36	364	8	100～299
2017	4	17～18	工場にて、定置スポット溶接作業時に左手で製品を持ち、右手でボルトを所定の位置にセットし、右手で設備スイッチを押した際に、無意識に左手親指をセットしたボルト上部に置いてしまい、製品と設備に左手親指を挟まれた。	22	339	7	50～99
2017	4	13～14	第三工場成形工程内で、成形後のクロスウェーブ（樹脂製で約7kg）をバリ取り→検査→積み重ねる（縦25コ×2段）作業中、高い位置の積み重ねがずれた。ずれを修正をするため、裏（通常作業と反対側）へ回り、高い位置だったため、ジャンプして修正を実施した。着地した際に右膝からバキッという音がして痛みが増していった。高い位置での作業及び身長が低い者のために作業台（高さ約30cm）を工程内に常備してあるが、被災者は使用していなかった。	51	416	3	50～99
2017	4	10～11	屈んだ状態で入浴介助をしている際、右半身に痺れが走り、腰部も痛めた。様子をみたが痛みが引かず、頸肩腕症候群と診断される。	50	921	19	500～999
			超大脱型場にて、セグメントΦ1500×300Lの鋼殻（約300kg）に部材を取り付ける作業を単独で行っていた。取り付け部分が上側				

2017	4	15～ 16	の位置にあった為、下側に向けるために2本のレール上にあった鋼殻をフォークリフトで持ち上げ、後方に移動させて一旦地面へ置いた。被災者が取り付け位置を下側にするため鋼殻を回転させたが、地面が凹凸で傾斜になっていた為、鋼殻が倒れそうになり、倒れる側に回り込み支えようとしたが支えきれず、倒れてきた鋼殻で右大腿骨顆上を強打した。	43	416	5	30～ 49
2017	4	10～ 11	冷蔵庫の外枠を寝かせた状態で天面部分に庫内とドアをつなぐ線を取り付ける作業工程でラインスピードに追われることが多く、その工程先に内箱挿入機（設備）のスイッチボックスの角にスタッフの背中が何度か衝突していた。当初は作業姿勢による筋肉痛だと思ったが、痛みが治まらなかった。	40	359	3	300～ 499
2017	4	0～1	作業場で待機後、作業を再開する為に動いた瞬間に躓き、顔をキャリアにセットしていた治具にぶつけ眉毛と目の間を切創した。	52	391	3	100～ 299
2017	4	17～ 18	持ち場への入退室の際、食品を取り扱う為にアルコール消毒を行う。日々消毒を行い傷口へは指定の絆創膏を使用するが、はがれやすい為皮膚が捲れてきており、荷物を持った際に傷口が開いた。この状況を繰り返しており傷口の回復がない為受診をした。又、業務中アルコールで機械の掃除を布を使用して実施した。	44	719	8	300～ 499
2017	4	13～ 14	被災者が出庫のため商品を取る際、少し高いところにあったためにその下の高さ1.5mほどの商品の上に乗って取ろうとした。そのとき乗った商品のダンボールが崩れ、被災者が落下し、右側から尻もちをつき強打した。床はコンクリートのため激痛が走り、一旦痛みが引いたが、パレットを引く作業時に痛みが出た。	35	611	1	50～ 99
2017	4	18～ 19	航空コンテナからの貨物の搬出作業中、コンテナ内でマグロが梱包されたカートンに巻かれているPPバンドを持ってカートンを移動させようとしたところ、PPバンドが切れ、反動で後方に仰け反り誤って転倒し、手を地面につき捻った。	41	611	2	10～ 29

2017	4	14～ 15	スタッフ事務所にあるソファで利用者様のナースコールが鳴るのを待っていた時、疲れていたので仰向けになり待機していた。ナースコールが鳴ったため、転倒リスクの高い利用者様からのコールもあり慌てて訪室しようとしたところ、狭いガードもないソファから側臥位になろうとして転落し仙骨を強打した。そのあと血圧が下がり、痛みと、意識もクリアでなく椅子まで這ってたどりつき、異常な口渴感のため、水分補給しても動くことができなかった。	48	416	3	100～ 299
2017	4	15～ 16	事業場内において、リサイクルするために運ばれてきたパチンコ台をトラック荷台後部で1台ずつ検品作業中、同パチンコ台がバランスを崩し転倒し、咄嗟に身体を避けようとした際に誤って左手甲及び左側頭部に当たった。	33	612	6	50～ 99
2017	4	15～ 16	ストックルームで高所にある商品を脚立に乗り整理していたとき、バランスを崩して転倒し、肩から落ちて床で強打し、右腕を骨折する。	31	371	1	500～ 999
2017	4	15～ 16	駅周辺の公道で電動自転車の自走試験を行っている最中、赤信号停止後、重いギアで再出発した際に十分なスピードが出ず、バランスを崩し立ちこぎした際に転倒し、右肩を骨折した。	56	362	17	100～ 299
2017	4	9～ 10	荷降ろし作業の際に、トラック荷台後部のあおり開き止めを自身で外しあおりを倒さずに荷台上にあがり作業を開始し、荷台から下りる際に足をかけたところ転落し、右手をついて骨折した。	26	221	1	30～ 49
2017	4	14～ 15	中間膜保管庫内でパレットを引いて移動しようとした際に、パレットの端に中間膜が片寄っていた為バランスが悪く、作業者に向かって中間膜が倒れ、右足首にあたり打撲した。	34	362	4	30～ 49
2017	4	17～ 18	勤務が終了し、帰路につく為2Fプラット横の階段（5段）最後の一段を下りる際、予想以上に高低が有り、バランスを崩した時に体重が右足首にかかって無理な姿勢で足首を捻り捻挫した。	26	413	19	500～ 999

2017	4	9～ 10	デイサービス送迎中に車から降りた際、一人で足を捻り骨折した。	29	231	19	50～ 99
2017	4	16～ 17	ジェットミル粉碎室から製品をエレトラックに積んで運搬していた途中で、工務課のエレトラックが停車していた。通れないと判断し別の通路を通ろうと後進した際に右側の後輪が溝にはまり、その反動でエレトラックの向きが変わって配管に接触した。慌てて前進をした時にアクセルリングを強く握ったため勢いよく前進し、溝蓋の段差でバランスを崩した時に足が滑り、右足が車外へ出て支柱とエレトラックの間に足が挟まれた。	36	229	7	50～ 99
2017	4	9～ 10	パイプ（1.5m）の内径寸法の検査工程で、ゲージをパイプ内に通し、ゲージが通れば良品と識別する作業中に、ゲージが通りにくかったためパイプを叩き付けてゲージを取り出そうとした際、叩き付けたパイプの先端部分と地面に右手中指が挟まり、更にゲージが反動で損傷部位に落下した。	50	521	7	100～ 299
2017	4	10～ 11	派遣先工場内で、ごはんの梱包作業中、機械の一部にごはんがつき、それを取り除こうとしたところ、次に流れてきた製品と機械の間に右手薬指を挟んでしまった。	51	165	7	100～ 299
2017	4	9～ 10	介護施設で入居者さんの介護中、別室の入居者さんよりナースコールが何度か鳴り、作業を中断してナースコールを鳴らした方の所へ行き、待つて頂くようお伝えしたところ、自分を優先しろと暴れ、足が左胸部に当たり左肋骨軟骨不全骨折した。	41	911	90	500～ 999
2017	4	5～6	厨房内にて、沸かしてすぐのやかんを運搬しエレベーターに乗せる際に、足を滑らせ後方に転倒してしりもちをついた。やかんが右手から離れた際にふたが取れ、中身が左腕にかかり負傷した。なお、床が濡れている等の滑りやすい状態ではなかった。	44	529	11	1～9
2017	4	14～ 15	工場内で、約25kgの鉄缶の荷物を両手でトラックへ積もうとしてバランスをくずして、左手首に過重がかかり、左手首を捻挫した。なかなか痛みが取れず、その後、神経（筋）の損傷が判明し	56	611	19	50～ 99

			た。				
2017	4	12～ 13	A棟にてパレット上に空箱を集め、荷崩れ防止の為のラップを巻いている最中に本人が置いた空箱につまずき転倒し、膝から落ちた。	47	417	2	30～ 49
2017	4	10～ 11	アイスクリームの製造工場において、積み重なっているダンボールを取り出してフタを開け、凍った生クリームをとりだそうとしたところ、左足を滑らせ倒れ込み、ダンボールの角に左脇腹を強く打ちつけ、第九胸椎圧迫骨折した。	65	417	2	50～ 99
2017	4	9～ 10	センター内で空車になったトラックの荷台に入り残荷確認を行ったあと、トラックから降りようとした際、トラック荷台の角に足が引っ掛かって落下し、地面にて左足膝を強打した。	44	231	1	100～ 299
2017	4	12～ 13	勤務中に2階から1階へマットを運ぶ際、足元が見えづらく階段を踏み外し転倒する。	43	413	1	30～ 49
2017	4	17～ 18	施設内ダムウェーターにて、ゴミを降ろす際手動の扉で手を挟み、右手中指を骨折した。	31	214	7	100～ 299
2017	4	9～ 10	構内にて作業中に、折りたたんだロールボックス5本を引っ張って移動している際、左足がボックスタイヤに轢かれ、左足中指を骨折する。	61	362	6	500～ 999
2017	4	16～ 17	工場内で、裁断された硝子をもって、所定の場所に置こうとした際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	529	19	100～ 299
2017	4	14～ 15	配送先1にて、2tトラックより荷下ろし作業中、荷台より荷物を引き出す際に、荷物が段差に掛かり腰を捻る。配送先2にて（1、2は同日）、配送先1での腰の痛みは大した事ではなかったので、従業員と共にアルミ鋳物製品が入った木箱（約20kg、9個）の積み込み中に、距離約7mを手持ちで移動・積み込み、腰を痛めた。	54	611	19	500～ 999
2017	4	9～ 10	朝礼中に気分が悪くなり、御手洗に向かっている時に意識が遠くなり、そのまま失神し転倒し、顔面を強打した。	27	999	2	300～ 499

2017	4	7～8	徒歩で工場敷地内の横断歩道を走って渡った後に、通常歩行したら躓いて右ひざを地面にぶつけ負傷した。	22	417	2	100～ 299
2017	4	3～4	当支店構内において仕分け作業をしている際に、トラックの荷台とホームを繋いでいる鉄板の高さを調整する為に、鉄板の下に敷いた木材につまずいて転倒し、左膝蓋骨を骨折する。	60	522	2	30～ 49
2017	5	2～3	休憩室に入った直後、立ちくらみによりバランスを崩し、休憩室にあるパイプ椅子に右足人差し指と中指を強打した。	26	391	3	50～ 99
2017	5	17～ 18	作業場にて生スライサーの刃を左手で拭いている際、左手が滑って左手の薬指を切ってしまった。	62	165	8	300～ 499
2017	5	15～ 16	会社の敷地内にて社用車に道具を積み込んでいる最中、躓きバランスを崩し転倒し、左手が右に当たり左手の甲を捻挫および打撲した。	43	417	2	100～ 299
2017	5	13～ 14	木工場でライブローダーのオペレーターをしていた時、木材がライブローダーに詰まったのでそれを取ろうとした時、ライブローダーの手前にライブローダーを動かすチェーンがあり、チェーンを止めてから詰まった物を取らないと危険であるが、止めないで詰まった木材を取っていたところTシャツがチェーンにからみ、チェーンに体が巻き込まれた。	23	224	7	1～9
2017	5	3～4	和菓子の粉付け機の粉の詰りを除去しようとした際に、カバーのメッシュ板（ステンレス製）を外して作業をしたとき回転部が低速だった為、手で粉を取ろうとしたときにタイミングが悪く、指を挟んでしまった。	42	165	7	100～ 299
2017	5	11～ 12	大豆蒸煮室で、煮豆を運搬用トロッコに掻き出す作業をしている時、作業に夢中になり後方のトロッコに気付かず、腰（尾てい骨）の辺りをぶつけ、打撲を負った。	42	362	3	100～ 299
2017	5	16～ 17	運転中、赤信号で停止している際に後ろの車に追突された。後方車の携帯電話を操作していたことによるよそ見運転が原因であ	24	231	17	100～ 299

			る。				
2017	5	8～9	出勤時、当院敷地内の駐輪場にて路面の段差に躓き転倒し、左前腕部と右膝を路面に強打した。	26	417	2	1000 ～ 9999
2017	5	14～ 15	配達先にて商品を届け終り、手ぶらで階段を上がって戻ろうとしている時に左足に痛みを感じた。	56	413	19	50～ 99
2017	5	13～ 14	飲食店の高所に取付けてある換気扇を取り外し、脚立を降りようとしたところバランスを崩し、後ろ向きに約3m下に落下し、右足大腿骨頸部を骨折した。	44	371	1	10～ 29
2017	5	14～ 15	工場内を台車にて製品移動中、別棟に行く為一旦下りスロープ前で停止し、台車の向きを変え下ろうとしたが台車が重く、また靴の履き替えの為に片手操作になってしまい、バランスを崩し台車が転倒し、製品を支えようとしたが間に合わず台車が足の甲に落下し骨折した。	27	362	4	1～9
2017	5	11～ 12	派遣先において、機械に原料の投入作業中、原料の入った袋（重さ約12kg）を持ち上げたところ、床面が油で滑りやすかった為、バランスを崩して転倒した際、左側に捻った格好となり、左手首と左大腿骨を骨折した。	69	417	2	50～ 99
2017	5	8～9	派遣先において、加工用カッターの交換作業中、本来は、最初に加工用スライドテーブルを右側にスライドさせ主軸を持たずに交換作業に入らなければならないところ、左側にテーブルを置いたままの状態の主軸を左手で持ち、右手で操作盤の操作を行いながらテーブルを右側にスライドさせた際、テーブルと主軸の間に左手中指が挟まれ負傷した。	41	152	7	500～ 999
2017	5	14～ 15	被災者は、4P納豆をラインから取りケースに入れる作業を行っていて、他の従業員の方々は、その作業とパレット運搬作業を交互に行っている。しかし、そのパレット運搬作業が被災者自身が小柄で、運搬作業を行うのが困難なため連続して4P納豆をラインか	50	611	19	100～ 299

			ら取り、ケースに入れる作業を2時間程度行ったため、右肩肩甲骨を損傷した。				
2017	5	13～ 14	派遣先の梱包室で段ボール箱作成・ラベル貼り作業中に、従業員から段ボール箱の補充を頼まれ、1メートル前後に積み上げられた箱を両手で持ち、床に置いてあるパレットの上に運んでいる最中、パレットとパレットの間の隙間に足をとられ転倒し、右手首を打撲した。	42	379	2	100～ 299
2017	5	16～ 17	旋盤作業時（雇製作中）に10kg程度の材料を雇に取り付けようとしたが内径が小さく入らなかった。作業中、材料を落しそうになりとっさに右手を伸ばしたが、重みで体勢を崩し腰を痛めた。	37	521	19	100～ 299
2017	5	16～ 17	第2棟の自動検査室内で自動検査機が判別して保留となったワークが下に落ち保留品箱に入る。この保留品箱がいっぱいになったので再投入する為、機械の下の方にある保留品箱を持ち上げようとして腰痛になった。ワークの重さは約65g/1本、保留品箱には約200本入るので1箱の重さは約13kgである。	34	611	19	300～ 499
2017	5	11～ 12	トイレ介助中、利用者の前方を介助する役割であった。利用者がトイレが終わり、車椅子に移る際、利用者の膝が崩れ前方に倒れたため支えたところ、利用者の体重がかかったため背中が反り痛めてしまった。	29	169	7	500～ 999
2017	5	11～ 12	トナーの機械に部品をはめようと機械下部にあるレバーを左手で引きながら右手で上部を押さえこんだところ、右手人差し指を機械に挟み受傷した。	25	911	19	500～ 999
2017	5	20～ 21	派遣先物流センター内にて、荷物の積み降ろし中にカゴ台車を動かした際、カゴ台車が傾いてきたのを支え切れず、右太ももへぶつかった。	52	362	5	100～ 299
2017	5	15～ 16	休憩時間になり休憩室へ向かう途中の通路にて、濡れた床に足を滑らせて転倒した。後ろに倒れ込むような形になり、頭をかばう	55	417	2	300～ 499

			ため手をついた際に右手首を骨折した。				
2017	5	14～ 15	建築現場にガラス入りのサッシを運搬している作業中に約40cm段差のある玄関で置いてある資材類を避けながら後ろ向きで進んでいる時に躓いて右足首をねじりながら転倒し、右足首を打撲・捻挫する。	51	418	2	100～ 299
2017	5	10～ 11	昼食を食べに食堂へ移動する時に雨が降っていて通路の水たまりで滑って右足の膝を捻ってしまった。	46	417	19	100～ 299
2017	5	18～ 19	事業所内において、メイン通路よりメガフォーク（小型リフト）が前進走行で左折しようとしていた際、柱の陰より出合頭にメガフォークに当たり転倒し、右足を巻き込まれた。	63	222	7	1～9
2017	5	16～ 17	加工課にて住宅のベランダ用のL字型手すりを組み立てる際に、ハンマーを使用して手すり材へアタッチメントをはめ込む作業をしている時、右手でハンマーを持ち、左手で製品を押さえて叩かなければならない作業で、両手をクロスして作業を行った為、ハンマーと左手が接近した状態だった。その際、誤って左手の小指をハンマーで叩いてしまった。	27	364	7	100～ 299
2017	5	16～ 17	工場内洗車場にて、洗車をするため、バックで洗車場に駐車し、エンジンを止めて運転席から後ろ向きで降りる際、ステップから足を滑らせ、約2m下のコンクリート床に転落し、腰、背中を打撲、骨折した。	44	221	1	10～ 29
2017	5	9～ 10	2階から階段で1階へ降りる途中、2階の踊り場で階段の滑り止めのゴムに足を取られ踏み外し、右肩と右側頭部を壁に打ちつけて止まった。その際、右肩、右側頭部、左足首を受傷した。	43	413	1	500～ 999
2017	5	20～ 21	派遣先の工場内で成形3号機にて、検品及び梱包作業をしている時、出来上がった製品を、取り手作業台から取る際に、作業台の仕切りに左腕をぶつける。その時に左前腕部を損傷したと思われる。	44	169	8	500～ 999

2017	5	19～ 20	施設利用者の居室にて、終身介助の為、利用者を車椅子から床に移乗する際、腰を痛めてしまい、施設移動中に痛みが悪化した。	44	911	14	300～ 499
2017	5	10～ 11	被災者（以下「甲」という）は、派遣先において、商品の入出庫業務に従事中、バス上でパレットに積まれた入荷商品のラップを剥がす作業中に、引っ掛かったラップを強く引っ張ったところ、バランスを崩して転倒しそうになり、バスを踏み外して転落し（1m）、左半身を強打して負傷した。原因は、甲の不注意によるものである。	35	414	1	50～ 99
2017	5	19～ 20	チェックインカウンターでベルトコンベアーにスーツケース（約30kg）を載せて流す作業をしている時、誤って左足の上にスーツケースがのり負傷した。	52	611	7	1000 ～ 9999
2017	5	10～ 11	一般家庭の引越業務で、マンションの玄関前でマンションの廊下に台車を並べて作業をしていた。室内からテーブルを運搬し台車に積み込む途中で、手伝おうとした被災者と現場担当者の連携が取れず、テーブルに顔面、右肩、右胸部を打ちつけ打撲した。	47	911	6	100～ 299
2017	5	10～ 11	職場の洗車場にて普通車の洗車作業を行っている際、肩の痛みが発生した。洗車作業の肩を使った反復作業が原因と思われる。	62	921	19	—
2017	5	16～ 17	スーパーマーケットにて、水産業務に付随する片付け中、バックヤード搬入口にある、高さ約1.5メートルの昇降機で、カギ手を使って荷物を運搬中に、荷物に取り付けたカギ手が外れバランスを崩した。昇降機の上段から下段へ頭部及び背部より落下しそうになったため、自ら飛び降りた。着地の際に踵から落ち、しばらくその場で安静にしていたが、重心のかかった左足かかところが腫れ出して立ち上がれなくなった。	67	214	1	50～ 99
2017	5	13～ 14	座って研修を受けていて、立ち上がった際、よろけて左足を挫いて捻挫した。	25	921	2	1000 ～ 9999
			ラベル貼りの作業を1日従事しており右手甲の部分が腫れた。4日				

2017	5	5～6	ぶりの作業で腕が腫れて、最初は筋肉痛だと思ったが腫れと痛みが引かない為、本人より連絡があった。	42	911	19	500～ 999
2017	5	3～4	トラックから店舗へ氷のダンボールを運び込む際の階段の昇り降りで腰を痛めてしまった。	39	921	19	500～ 999
2017	5	18～ 19	地下2階の電気室にて見積書作成のための電気配線調査中に、当社派遣社員が倒れ救急搬送された。	50	921	90	50～ 99
2017	5	11～ 12	利用者居室内にて起床時、ベッドから車椅子に移乗した際にいつもより重いような違和感を左背部に感じ、その後入浴介助中に激痛が走った。	46	911	19	300～ 499
2017	5	11～ 12	配達に伺った際、入口の階段を踏み外し段差の角に左足の膝下部を打ちつけた。足元不確認により発生したものである。	64	413	2	500～ 999
2017	5	17～ 18	2階乳児室テラスにて、園児とボール遊び中、両膝の間にボールを挟みジャンプして着地した際に右膝をひねる。	63	379	19	1～9
2017	5	18～ 19	ドライ製造長物班において、台車に載せてあるサブフレームを作業台へ移動させて落下防止パイプをセットした。そのあとサブフレームを作業台へ均等に並べようとワークを動かした時、落下防止パイプとワークの間で右手中指を挟んだ。	39	362	3	100～ 299
2017	5	14～ 15	介護施設内の入居者の部屋にて介助中、寝ている状態から体を起こし、ベッドから車椅子へ移動する動作（右側→左側へ）の時、入居者の方の全体重を支えきれず、圧力が腰部にかかり、捻って腰椎を骨折した。	53	911	19	100～ 299
2017	5	8～9	当社開催のキャリアアップ研修へと向かう為に同僚が運転する乗用車の助手席に乗って移動していた。向かう途中の信号のある交差点で、当方が右折しようと信号が青から黄色へと変わり、対向車が止まるだろうと進入した際に、対向車と交差点内で衝突した。この時の衝撃で助手席に乗っていた被災者は車から出られない状況となった。	57	231	17	300～ 499

2017	5	19～20	ベルトコンベアに資材を投入作業中、異音がしたためコンベアを停止して、詰まったゴミを取り除こうとしたが取れなかった。諦めて、スイッチを入れて作業を再開したところゴミが自然に出て来たのでそのゴミを手で取ろうとしたとき、一瞬のうちに身体が持って行かれた。その際、非常停止ボタンを押せず、無理やり身体を引き抜いて損傷した。	54	224	6	500～999
2017	5	10～11	フォークリフト運転者がフォークリフトで吊り治具を移動している最中、吊り治具をおろす為に下に引く木を準備していたところに、吊り治具がフォークリフトの爪から滑り落ちてきて、前頭部を強打し、頭部と首を損傷した。	56	222	4	30～49
2017	5	2～3	被災作業者は、熱処理職場にて油圧機による本締め作業を行っていた。食事休憩の為、作業を中断した際、インパクトレンチの回転方向を失念し、閉め方向とは反対の緩み方向にセットしてしまった。それによりセットした材料が崩れた為、材料の上部を左手で押さえ、右手にて油圧装置の方向制御弁レバーを持ったが、誤って下降側に入れてしまった為、降下した油圧装置のシリンダーと加工材料との間に左手人差し指が挟まり負傷した。「経皮的鋼線固定術」処置を行うが患部が腫れ、感染症と分かった。	59	159	7	50～99
2017	5	14～15	培養土の袋詰め作業終了後ベルトコンベア付近をほうきを使って清掃中（ベルトコンベアの下部及び上部）にそのほうきと一緒にベルトコンベアに右腕を挟まれた。	74	224	7	100～299
2017	5	13～14	当社構内作業場において、派遣社員の作業員が荷をトラック（コンテナ）に積み込んだ後、その荷台（1m位の高さ）から飛び下りた際にバランスを崩してアスファルトの地面に落下した。その際に右足を地面に打ちつけて靭帯を損傷し、左手を捻挫（軽傷）した。	34	221	1	30～49
2017	5	13～	プレス作業現場で、プレスした金属製品をAの場所からBのプレス済み製品置き場に両手で持って移動する際、製品と製品の間に右	39	521	7	100～

		14	手の薬指を挟んでしまい打撲した。				299
2017	5	15～ 16	工場内においてタイルの加工作業中、タイル板にタイルを入れ込む時にコンベアーに巻き込まれて左前腕部を負傷した。	37	224	7	100～ 299
2017	5	15～ 16	工場内にて冷凍魚の加工作業中に先丸の機械で誤って怪我をした。	29	165	8	30～ 49
2017	5	7～8	出張健診先に到着して、健診車を駐車後降車しようとした。運転席にシートやシフトペダル、ハンドル等があり狭く、動きづらい状態であった。その中で降車しようとしたが左足首が引っ掛かり抜けなかった。抜いて降りようとしたところ、体勢を崩してしまい運転席から転落した。転落した際、左足から着地したことにより足首を捻り、骨折した。	61	231	1	50～ 99
2017	5	7～8	当社工場内で、機械へ原料を投入する為にパイプの取り付け作業を行っていたところ、通常利用する長い脚立（110cm）が他で利用されていた為、短い脚立（78cm）を使用し脚立に登ったところ、通常の長い脚立を使用していると思い込んでしまい足を踏み外し落下した。落下時に左腕と左足を天板や脚立横に配置されていた掃除機にぶつけ負傷した。	54	371	1	100～ 299
2017	5	8～9	派遣先工場内にて、太巻きカット器のメンテナンス中に電源を切断せず行ったため、手を入れた時に機器が動いてしまい、右手人差し指第一関節を切傷した。	31	165	8	50～ 99
2017	5	20～ 21	トイレに行くため、加工現場の踏み台を降りた時、左足を捻り受傷した。	35	921	19	100～ 299
2017	5	16～ 17	工場内にて、グラインダーで4ツ割りのマグロを、右手で頭を持ち、左手で尾を持ち、皮を削る作業をしていた。マグロを前後させて削っていたとき、頭の骨がグラインダーの刃に引っ張られ、右手甲を裂創した。	48	165	8	1～9
			第1工場作業エリアにおいて、テクセル（プラスチックの板）に接				

2017	5	14～ 15	着剤を塗布し広げる作業が終わる毎にローラーに付着する接着剤の汚れをウェスで拭き取る。ローラーの表面に接着剤の残りカスが無いことを、目視で確認するためにスイッチを押した状態でローラーを回転させてしまった。その際、被災者はローラーの汚れに気付き、とっさに回転しているローラーにウェスで汚れを拭き取ろうとしてローラーに巻き込まれた。通常は作業者が汚れに気が付いた時、スイッチ作業をする者に声を掛けてローラーを止めてもらい清掃をするようにしていた。挟まれた直後は総務経理事務所近くまで自力で歩いて来られたが、事務所前でうずくまってしまった。後で分かったが、元々貧血傾向にあり、挟まれたことで貧血を起こしたものである。	50	159	7	30～ 49
2017	5	13～ 14	口糊部門にて、パレットに積んであった作業予定の封筒が入った段ボールを糊付けする機械前まで運ぶ作業中に、縦に積んであった2箱で約10kgの段ボールを素手で両手で持ち、隣の高さ120cmの荷物越しに段ボールの移動を行った。通常通りの作業であったが、4箱を運んだあたりから右肩に違和感が出て10箱を運び終わった際にまだそれが残っていた為、肩をほぐそうとしたらパキッという音がし、痛みが強くなった。	44	921	19	30～ 49
2017	5	10～ 11	運送会社で商品仕分け及び格納作業をしている時に、商品載せるカゴ車の組み立てをする際に、2台まとめて手前を引いて移動させようとしたところ、手前のタイヤが回らず、そのまま労働者のつま先に転倒し、左足親指と人差し指を挫傷した。	28	362	6	500～ 999
2017	5	14～ 15	製段された段ボールをローラー上で運搬中に左足を滑らせ、運搬用ローラーの隙間に左足が挟まり怪我をした。	22	391	7	50～ 99
2017	5	13～ 14	被災者が左手で鋼管を持ち、右手でボタンを押してツバ出し加工中に、鋼管の根元を持ち過ぎていたため安全センサーがしばしば反応して機械が停止していたが、持ち手を変えたり起動ボタンを連打した際、親指がチャックの可動域に入ってしまう、挟まれて	53	159	7	100～ 299

			停止した。				
2017	5	20～ 21	蒸麺室を歩行中、蒸麺機の清掃に使用していた熱湯を排水口に排出した際に、熱湯が左足にかかった。	19	529	11	1～9
2017	5	15～ 16	フォークリフトでポリ箱に入った材料を運搬後、空のポリ箱を運ぶためPPバンドで固定し、余った部分を切ろうとハサミを持ちに行った時、空箱より垂れた床の油で滑り、左膝を捻って転倒した。	32	417	2	100～ 299
2017	5	20～ 21	被災者が構内階段で、他の作業者とぶつかりバランスを崩し、右足で体を支えようとして右足が2～3段滑り落ち、ひねって怪我をした。	26	413	1	500～ 999
2017	5	8～9	出勤時、就業先敷地内を歩行中、低い鉄板のスロープを通った際に雨で鉄板が濡れていたため足を滑らせ転倒し、左足首を捻った。	44	521	2	1000 ～ 9999
2017	5	2～3	リーチ駐車場所にて定位置にリーチを停止させ降車する際、不用意に着地したため左足外側から着地する形となりバランスを崩し、壁際に設置された留め具とリーチ運転台下の間に足が入り、左足に荷重がかかり足の骨にひびが入った。	39	417	2	30～ 49
2017	5	16～ 17	工場内で印刷された紙をサイズに合わせて裁断する作業中に、右手親指を裁断機のクランプに挟んだ。本来使用すべき紙押さえを使用せずに手で行ってしまった。	51	169	7	30～ 49
2017	5	16～ 17	重量物（ガラス枠）の部品チェック作業中、付属部品に目をとられてバランスを崩し、腰部及び背部（上部）を負傷した。	28	921	19	100～ 299
2017	5	13～ 14	3階の階段から2階に行く途中に階段を踏み外し、数段転落し左足首の靱帯を損傷した。	49	413	1	—
2017	5	19～ 20	以前から重量20kg程度の製品の入った箱を扱っていた為、腰の痛みがだんだん酷くなってきた。当日は1つのラインから左右に製品が出てくる作業で、加工する台が左右に分かれていたため左右	27	921	19	10～ 29

			交互に作業を続け、腰が固まった様になってしまった。				
2017	5	8～9	工場内で鉄筋の棒をローラー部分に入れ曲げる作業中、工場内通路を車が走行した際、それに気を取られて鉄筋の棒から手を離すのが遅れ、そのまま両手をローラー部分で挟んでしまい、両手打撲・左手小指骨折をした。	60	159	7	50～ 99
2017	5	9～10	小型シール工場内にて、鉛の製品の製造工程に漏れ出す鉛を受けるトレーを交換清掃を行う際、60×40のトレーいっぱい鉛を班長と二人で運び出す作業の際、重さに耐え切れずトレーを下ろした時に、機械の枠とトレーの取っ手部品を持ってはいたがスライドさせ、機械の外へ搬出する際に取っ手と機械外装鉄枠の間に手を挟んでしまった。	27	379	7	100～ 299
2017	5	16～17	作業中、本人の横で他の従業員が商品に対し機械で絞りをしていた時、機械の中の材料が少なくなったため補充をしようと思い、材料が入った番重を持ち上げようとした時に手が滑り、右手首に痛みが走った。	41	611	19	30～ 49
2017	5	14～15	商品である酒類及び飲料の出荷倉庫で台車（1m×1.2m位）に商品を積み終わり、台車上の商品の移動をリフト担当者に依頼しようと振り返った時、迫ってきたリフト（リーチタイプ）の前輪に右足の甲の部分を踏まれた。当時、仕事は普通に流れており、自身の周囲に不安定な要素は見受けられなかった。	16	229	18	50～ 99
2017	5	9～10	就業先の3階から、入館証の写真を撮る為に1階に移動中、3階から2階に降りる階段において説明を受けながら降りていた為、説明に気をとられて足元に注意が行かず、階段を踏み外して両足首を捻挫した。	45	413	19	1000 ～ 9999
2017	5	16～17	資料を文書保存用段ボールに詰める作業を継続して行ったため、腰を痛めた。	41	921	19	300～ 499
		13～	工場内でプレス加工の材料、鉄板を移動する為ワイヤーとシャックルで鉄板の穴があいている所にセットしている時、反対側で同				100～

2017	5	14	じ作業をしていた作業員がワイヤーを引っ張った為シャックルと鉄板の間に右母指を挟んだ。	45	379	7	299
2017	5	5～6	冷生地包装番重ストッカーにて作業の際、足元を滑らせ転倒し、右手を床につき負傷した。	46	911	2	100～ 299
2017	5	1～2	当社派遣労働者が派遣先のトラック発着プラットフォームで、荷物の移動や荷降ろし作業を行っている途中、当該トラックの荷台前部に残ったパレット荷物を降ろそうとトラック荷台に入り、トラックとプラットフォームの間に鉄板を引き渡す為のクッションゴムを設置しようと荷台後部へ近付いたところ、派遣先運行社員が荷台の状況やトラック周りの安全確認をせず、当該トラックを発進させ、トラック荷台とプラットフォームの隙間から転落し、左肩をコンクリート地面で打撲負傷する。	67	221	1	300～ 499
2017	5	11～ 12	派遣先の本社工場2階作業場にて、農業機器の部品作成時、ロボット溶接での加工のため、両手で溶接治具へ部材をセット後、本来はセット後、両手を放すところ、左手を部材に置いたまま、右手でクランプ作動レバーを可動させたため、部材に置いたままの左手拇指をクランプと部材の間に挟み同指を骨折する。	39	169	7	50～ 99
2017	5	10～ 11	プレス作業中に機械が異常停止し、手動で再起動をさせるため操作ボタンを押したが、誤ったボタンを押してしまい、機械が動き出した。機械内に製品材料があり、取り出すために手を入れた際に手が挟まれた。	42	154	7	50～ 99
2017	5	13～ 14	2tトラックにて粗大ゴミの回収作業をしている時、積み終えて扉を閉めた際に親指を挟み骨折する。両開き扉の右側を閉じる時に、左側が半開きになっている状態で左手を添えたまままで閉めた為に起きた。	54	221	7	50～ 99
2017	5	8～9	板硝子加工工場内にて、硝子パレット（800kg積）を専用台車にセットした上で運搬している際に台車の車輪が何かに突っ掛か	30	379	4	100～

			り、硝子パレットのみが転倒した。その際に台車を移動していた被災者の右足がパレットのアングル部の下敷きになり負傷した。				299
2017	5	20～21	店内エアコンコーナーにて、お客様にエアコンを説明中に、突然、空気清浄器案内ディスプレイモニター什器の側面木枠が弾ける様に外れ、重量約8～10kg位の側面木枠が背後より倒れてきた。倒れてきた木枠が背中に当たり、重みと衝撃で身体が倒れそうになった。	52	522	6	100～299
2017	5	15～16	作業現場（倉庫）でパレットに乗っているエアコンの室外機を作業台へ運ぶ際、パレットに足を引っ掛けた。転倒しないように踏ん張った際に左ふくらはぎを負傷した。	46	921	19	10～29
2017	5	6～7	店舗にて納品中、トラックの荷台より荷卸しをしている時に手が滑り、体のバランスを崩し転倒した際に荷台より落下した。	61	221	1	50～99
2017	5	15～16	高速道路用金属製フェンスを作業台にのせ組み外し作業を行っていたところ、製品が滑り落下を阻止しようと手で受け止めたところ、鋭利な部分が接触し、右手母指付根付近に切創を負った。	36	911	8	100～299
2017	5	10～11	入浴介助時、風呂場で利用者を2人介助中（車椅子からストレッチャーに移動）施設してい sandals を着用していたが、床が濡れていたため、バランスを崩した時に肋骨を骨折した。	38	416	2	100～299
2017	5	15～16	製品を金型を使用して成型する作業中に、金型から製品を取り出す作業において、製品を指で掴んだ際、金型が高温になっており熱さを感じていたが、作業初日であったため異常と捉えず作業を継続した。何度も熱さを感じるので疑問を持ち、先輩作業者に確認してもらったところ、指に火傷をしていた。	24		11	10～29
2017	5	13～14	労働者派遣先である倉庫1階出荷バス通路付近にて、商品を載せた6輪カート（約70kg）を移動させようと引いた際、誤ってキャスターが右足上に乗り上げ、第4指末節骨に骨折を負った。（安全靴を履いていたが保護されていない部分だった。）	28	362	7	100～299

2017	5	8～9	就業場所において、作業場へ向かうため、他の従業員と通路を歩いていたところ、前方から別の従業員がハンドリフトでパレットを運んできた。通路を譲るために通路の外（作業エリア）に避けようと目視確認を行わずに、右斜め後方に後退したところ所定の場所に置いてあった他のパレット（横110cm×縦110cm×高さ15cm）に気付かず、右足を引っ掛け転倒した。その際、身体を支えようと咄嗟に右手を出したが、パレット上に強く打ちつけて負傷した。本人の判断でしばらく様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	45	417	2	1000 ～ 9999
2017	5	14～ 15	工場内における荷物の引取り作業中、引取りの鉄板（300×500）をバックン（引取り等）に移すために、フォークリフトを使用し、移し替えの作業を行っていた。その際にバックンが車輪付きの為、バックンが動かない様に右手でバックンを掴んでいたところ、鉄板が滑ってきてバックンと鉄板の間に右手の薬指・小指・中指が挟まれ骨折した。	27	521	7	10～ 29
2017	5	10～ 11	円筒形のポンプ（約30kg）の底に部品を取り付ける作業中、立ててあったポンプを向こう側に90度倒した際に作業台の右端で倒しこんだ為、作業台から転げ落ちてきた。両腕で抱えたが重さに耐え切れず、しゃがんだ状態になり、太もも前部にポンプが当たり打撲した。	40	391	4	300～ 499
2017	5	5～6	箱詰エリア丸生地ラインの作業が終了し、縦ピロースイングコンベア下部の清掃を行っていたところ、他の作業車が縦ピロー包装機を起動した為、各コンベアが動き出した。スイングコンベアも下降する構造になっていて、加工する際にブザーが鳴るが、右手を抜くことが遅れたこともあり、スイングコンベアと生地搬送コンベアとの間に右手が挟まれ負傷した。	45	169	7	300～ 499
		11～	作業終了後、材料が残った為、その材料を二次加工の冷蔵庫に戻そうとして二次加工に行き、そのあと自分の部署に戻る時、足元				100～

2017	5	12	に台車があるのに気付かず台車に躓き、顔面から転倒してしまい、歯2本（前歯）を折り、床に手をついた際に左手首も打ってしまった。	66	417	2	299
2017	5	2～3	機械（3号機）へ原料シートを設置する際、本来であれば原料シートの芯に芯棒を通し、その芯棒を使って原料シートを横に倒すところ、芯棒を通さず、直接原料シートを横に倒そうとして、原料シートを横に倒した際に原料シートと床の間に右手が挟まり、怪我をしてしまった。	52	529	5	100～ 299
2017	5	2～3	1Fフライヤー開梱室で平台車を右手で1台持ち部屋を出ようとしたところ、部屋出入口の手前で滑り右横向きに転倒し、咄嗟に右手で受け身をとったところ負傷した。	65	417	2	30～ 49
2017	5	10～ 11	ホイストクレーンを使用し鋼材置き場にある丸棒（長さ6m、重量約1.7t）を移動させるため、ワイヤーをフックに掛けた。丸棒を吊り上げる際には、本来はストッパーの外に出て吊り上げる作業を行うべきところを、惰性で作業を続行したために右足が残ったままとなり、吊り上げた丸棒の下側にあった別の丸棒が安全靴を履いた右足に乗ってきたため、足を置いていた鋼材（丸棒）との間に右足を挟まれた。	43	521	7	100～ 299
2017	5	8～9	朝会終了後、一人急いで担当職場に戻り、金型の周囲に設置されている昇温機ガス栓を開け、ガスライターで点火後圧縮空気を送る栓を開けたところ、自分に向けて火が迫ってきたため避けようとしたが、顔及び右手部を負傷した。被災者は生産を早く始めようと作業責任者の指示が無いにもかかわらず、見よう見まねで作業を行った。（アルミホイール鑄造工程）	53	341	11	100～ 299
2017	5	18～ 19	工場内で製造用機械の洗浄後の組立時にステンレス製のカバーを装着する際に手を滑らせて、カバーの端で左手の親指と人差し指の間を5針縫う切傷を負った。	34	165	8	50～ 99
			お昼休憩に行く際、階段を下りる時に足を滑らせてしまい、階段				

2017	5	11～ 12	を踏み外してしまった。左手をついてかばったが、お尻もついてしまい、左手中指と薬指を打撲し、尾てい骨を骨折した。	39	413	19	30～ 49
2017	5	14～ 15	作業中に階段を降りていた時に足を捻り、左足首を受傷した。捻挫と思いそのまま仕事を続けたが、終業後も痛みと腫れが引かなかった。	58	413	19	300～ 499
2017	5	16～ 17	倉庫内で、脚立を使用し10kg程の商品を3段の棚から降ろす際に右足から地面に足を着けようとし、脚立が右側に滑った。その際にバランスを崩し、左側に左足から転倒して被災した。	25	371	1	—
2017	5	13～ 14	商品管理倉庫内で、商品のピッキング作業中に通路で台車を持って立ち止まっていたところ、後ろから来た男性の押していた台車が、本人の足首に強く接触した。	38	362	6	10～ 29
2017	5	13～ 14	中学校において給食配送後の食器回収をしていた際、約50cm段差のあるターミナルに上がる時に足を踏み外し、バランスを崩して転倒し、左腕を強打した。	72	418	1	1000 ～ 9999
2017	5	11～ 12	学校給食の配送補助作業中に、配送先の小学校で食缶の配送を終了し、運搬車の後部ドアを閉める際に約80cmの段差を飛び降りた際、着地に失敗して左足首を捻挫した。	68	418	3	100～ 299
2017	5	21～ 22	ロス材を投入する作業をしていて、ロス材のパレットが1/3程度減った時点で大きく曲げた上体を起こし、体勢を戻した際に腰を痛めた。2日前からレザーロス材の手持ち移動の際に腰の違和感を感じていたが、作業を続けていたため今回の災害発生となった。	36	921	19	30～ 49
2017	5	5～6	派遣先である会社の目視検査室にてコンベアの清掃作業を行っていたところ、ブラシがローラーに巻き込まれ、左手母指と示指がブラシの柄とコンベアの間挟まれた。	47	224	6	300～ 499
2017	5	8～9	添乗業務の宿泊先にて、当日の添乗を行うために部屋を出発するため靴を履きに移動した際、下方不注意により客室内段差に躓	40	418	3	1～9

			き、左足先を強打した。				
2017	6	17～ 18	野菜加工場で、冷凍わさびの解凍中に、約50度のお湯に防熱用のゴム手袋をつけて手を入れてもみほぐす作業をしていた。瞬間的にはゴム手袋もつけており、熱さは感じないが、継続的に作業することで、水疱・水疱の破れ、爪先の変色が見られた。	67	379	11	50～ 99
2017	6	21～ 22	調理器具の殺菌作業中、85℃（お湯）の煮沸殺菌槽から消毒後の調理器具が入った籠を取り出す際、籠を殺菌槽にぶつけ調理器具が槽内に落下した。落ちた調理器具を取り出そうと咄嗟にニトリル手袋をした左手を湯の中に入れ手首を火傷した。	33	341	11	30～ 49
2017	6	16～ 17	帰宅するために加工場から出て、外側部分にある階段を下りる時に、バランスを崩して左足を挫いてまった。	46	413	19	100～ 299
2017	6	12～ 13	冷凍庫で商品のピッキング作業をしていた際に、近くにいた別の職員が物音を聞き、その方向へ行くと当該職員が倒れているのを発見した。発見者は現場リーダーへの報告を行い、声掛けを行ったところ、意識を取り戻した。倒れた原因を確認したが明瞭な返答がなく、業務を中断して休憩へ入る様促した。その後の責任者判断により業務継続を中止し、医療機関受診、及び自宅での休息を本人へ促し帰宅した。翌日意識が無い状態で発見され、救急搬送となった。	57	921	90	100～ 299
2017	6	14～ 15	派遣先工場内で木材をカットする加工作業を行っている際、機械に木材をセットして、固定する為に固定用のボタンを押した時、自らの手を引くのが遅れてしまい、機械の固定部分と木材の間に、左手の中指を挟んでしまった。	34	139	7	10～ 29
2017	6	12～ 13	アンモニア水（濃度15%）を運搬中、階段で躓き、反動でアンモニア水が飛び跳ね、右顔面と右目にかかった。	50	514	12	1～9
		9～	塗料を剥離する業務において、デスコートの薬剤が入った液体釜で、手袋をして治具に付着した塗料を剥離する際に、薬剤が手袋の中に入った状態のまま継続的に作業をした為に皮膚に薬剤が浸				100～

2017	6	10	透し、皮膚が黒色化した。また、治具を投入する際に、濡れたエプロンを通じて薬剤が腹部に接触し、腹部に炎症が見られた。発症理由としては、本人の不注意によるものと思われる。	21	514	12	299
2017	6	11～12	派遣先工場内において、機械の階段から下りようとしたところ、足を滑らせ転倒し、左耳、左肩を階段に打ちつけ、転倒した際に左足首を捻り負傷した。	35	413	1	10～29
2017	6	11～12	事務所玄関で下履きに履き替えようとした時、安全靴内側の先芯部に凸があり、左足第1指爪甲部（くつ下着用）が引っ掛かった状態で履こうとした為、爪が剥がれ出血した。	55	379	3	100～299
2017	6	19～20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	522	2	10～29
2017	6	11～12	梱包材をピッキングする為、移動式脚立を使用中、2段目ステップを踏み外して床に転倒した。その際、左肘を強打した。	39	371	1	30～49
2017	6	11～12	派遣先工場内で、自動車用エアコンパイプの曲げ加工作業中、ベンダー機を使用して加工していたが型に加工品がうまくセットできなかったため、製品がぐらついたのをそれを押さえようと左手を添えたまま、誤って起動スイッチを押してしまい、左手親指を型と加工品の間に挟んでしまい負傷した。	28	154	7	30～49
2017	6	23～24	4Fフォト外観工程で、カセット（約10kg）を台車からレーンに移す際、周りに人手がいなかったので、1人でレーンに移送しようとした時、右側のバランスが崩れてカセットが落下しそうになった為、右胸上部で受け負傷した。（2人作業のところを1人で作業した。）	44	611	6	100～299
2017	6	4～5	派遣先にて、印刷ロールを移動する際、隣のロールとの間に右手指先を挟んだ。	34	611	7	100～299
			タルトの製造ラインで、流れてくるタルトをケースに入れ、台車				

2017	6	6～7	にのせる作業をしている時に、タルトが溜まってしまい、焦って普段よりも多く持ってしまった状態で、左腕を痛めた。	46	611	19	30～ 49
2017	6	20～ 21	工場にて、リアデフ製品組立作業中、ハンドル（専用工具）を使用し締付作業をしていた。流れてくる製品の中にはネジ山が合わず、ネジ山を一度緩め合わせた後、締付作業をすることがある。締める作業は、右手でハンドルを持ち、左手をハンドル下部に添えて手前方向に一気に力を加えるが、ネジ山が緩んだ瞬間、その勢いで左手首を捻り関節を負傷した。	21	364	19	500～ 999
2017	6	16～ 17	トラック陸送業務中、納車先に大型車を停め、運転席から降りる際にステップに足を引っ掛けてしまい、頭から地面に落ちた。反動で左足も地面に強く打ちつけ、かかとの骨が折れた。救急車で病院に搬送されたが、意識はあり、脳に異常などは見られなかった。翌日病院でCT等の検査を行い、右足の骨折が判明した。	46	221	1	30～ 49
2017	6	9～ 10	手動の配膳車で進行方向を背に引っ張るような形で移動中、前方のエレベーター付近から急に人が出て来たので、衝突しないように咄嗟に避けたところ、配膳車の勢いが止まらず、壁と配膳車の間に腕を挟んでしまった。	62	362	7	50～ 99
2017	6	10～ 11	二人一組で作業中、相手がしゃがんで作業をしている後方を通り抜けようとしたところ、相手の足に躓き転倒し、近くに設置されてるプラスチック製の容器に頭部を強打した。しばらく自宅で安静にしていたが、体調が悪化し、頸椎6番骨折との診断を受ける。	58	416	2	100～ 299
2017	6	1～2	具材加工室において、1つの具材製造を終了し、別メニューの調理に切り替えるため、洗浄用の熱湯をポリバケツに入れて台車に載せていた。その際、台車の溶接部分が折れ曲がり、バケツが傾いたため熱湯がこぼれ、被災者の左足の長靴の中に入り火傷した。	22	713	11	100～ 299
2017	6	5～6	被災者が勤務終了後に当社の送迎車両にて帰宅する際、車道に右折して出た時、左方から直進してきた相手方車両の右前部フェン	30	231	17	30～

			ダーと当方左後部フェンダーが衝突した。被災者は後部座席に乗車しており、衝突の際に衝撃で首を負傷した。				49
2017	6	23～ 24	派遣元にて、原材料に使用した複数の空き缶をプレス後、廃棄処分にするためコンテナに入れようとした際に、缶に当たって指を切ってしまった。	58	521	8	100～ 299
2017	6	19～ 20	機内用品補給施設にて、荷物が載った台車をトラックに積み込むため、リフトに台車を押し込む作業をした際に、台車がバランスを崩して当事者寄りに転倒し、転倒した台車に足を挟まれ、右足踵を骨折した。	30	362	5	100～ 299
2017	6	11～ 12	工場内で、商品の箱詰め作業前のラベルチェックをしている際、先方社員に管理表との突き合い作業をお願いしようと呼びに行ったところ、作業場内に置いてある商品が積まれたパレットに躓き、転倒を防ごうと出した右手で商品の入っている箱を突いてしまった。	54	416	2	500～ 999
2017	6	8～9	派遣就業先の工場作業場1Fにて、荷下ろしの為にコンテナ車の荷台に上がった際、足を滑らせて右側に転倒し、そのまま下の床に転落した。その際、左膝、右手、右頬を負傷した。	49	221	1	100～ 299
2017	6	16～ 17	ヤード作業場で、仮組みしてある桁上に脚立を使用して登ろうとしていた時、脚立の天板部分を掴み損ねて、高さ1,300mm（下から3段目）から落下した。その際、身体の右側を打ちつけた。	56	371	1	30～ 49
2017	6	13～ 14	倉庫内作業中、目の高さにある商品の詳細を確認しながら移動していた際に、右足をパレットの角に引っ掛け、そのまま倒れこみ、右膝をパレットの側面の角に打ちつけてしまった。	32	379	2	10～ 29
2017	6	11～ 12	作業場入口で洗車時、車の屋根部分の拭き取り作業を終え、脚立から降りる際、足を踏み外し、体を捻りながら着地した為、腰を痛めた。	67	371	19	100～ 299
			ナースステーション内で、食事を終えた患者を車椅子で病室へ1人				

2017	6	10～11	で連れて行き、車椅子からベッドへ移乗する際、立ち上がって足を踏み込んだところ、重心が左膝に乗り、さらに患者の体重もかった為、激痛がはしった。半月板損傷と診断された。	56	911	19	50～99
2017	6	0～1	当社6階（作業棟4階）にて仕分作業を行うために、ロールボックスパレットをセッティングする為、畳んだロールボックス6連結を運搬回送していたところ、右足をボックスパレットの車輪で轢き、負傷したものである。	62	362	7	100～299
2017	6	14～15	エアコンウエスト工場内の組立ラインとパレット置場の間にて、組立用の本体が入った箱をローラー式の台車へ移すため、箱を手前に引っ張った時に腰を痛めてしまった。	53	611	19	500～999
2017	6	3～4	当社派遣スタッフの当該労働者は、派遣先の工場内で、専用機械を操作し、氷を袋詰めする作業にあたっていた。袋詰用ビニールを交換する為、当該労働者の対面で作業中の労働者が、補填用フィルムをその機械に押し込みながらセットしていた時、本人は、フィルム差し込み口の部品が取れかかっていたため、手でそのフィルムを押さえてストップと声をかけた。しかし、対面の労働者に伝わらず、そのままフィルムを押し込まれ、右手人差し指先辺りを機械にはさまれ負傷した。	35	169	8	500～999
2017	6	16～17	屋外でコンテナの外部塗装の為、脚立にのり塗装作業を行っていた。脚立を降りようとしたところ、劣化により変形していた箇所に足を引っ掛けて落下し、負傷した。	40	371	1	50～99
2017	6	14～15	車両荷台からクールボックスを押し出す際、右脹脛に痛みを感じ受診したところ、肉離れと診断された。	52	911	19	500～999
2017	6	14～15	倉庫内で、畳んであるコンビテナー（折り畳み式のカゴ車）を引しながら移動している時に、本人の不注意により、バランスを崩したコンビテナーが左足にぶつかり、捻挫した。	67	362	3	50～99
2017	6	11～	加熱の作業中、ルール通りにビニール手袋3枚、軍手1枚を着けて作業したが、タオルを使わずにずっと我慢した。誰にも報告しな	26	529	11	500～

		12	かったので火傷をした。				999
2017	6	9～10	派遣先施設内フロアーにて、当日、外出許可が下りていた利用者を利用者の息子が連れ出す際、許可が下りていない他の利用者と一緒に連れていこうとした為、引き止めたところ口論となり、左胸を3、4回叩かれ、左肩を掴み前後に揺さぶられ、左手首を握られた。その後、痛みを感じながらも、その日の業務は定時まで行い帰宅した。翌朝も痛みがあり、左胸左肩打撲、左手首捻挫と診断された。	63	999	99	100～299
2017	6	12～13	仕込室にて、他スタッフが人参のイチヨウ切りの切れ目を入れていたが、当該スタッフが形状の間違いに気付いた。当該スタッフが短冊切りの形状に直そうと、不格好な形状の人参を切ろうとした時、不安定な状態で押さえていた左手から人参が滑ってしまい、勢いで左手中指、薬指の先を1～2mm切ってしまった。	62	364	8	300～499
2017	6	10～11	故障中のシャッターを業者が修理し始めたところ、絡まったチェーンが解けて急に下がってしまった。シャッターは、発送用のクールボックスの端に当たった後、更に下がり、通りかかった派遣社員の頭部に当たってしまった。その後、救急搬送され、頭部右側打撲により、全治1ヶ月の診断を受けたものである。	74	169	6	500～999
2017	6	9～10	就業先パントリー内にて準備作業中、清掃者がいたが、モップ掛けをしているのを知らず、その濡れた床で足を滑らせ転倒した。制服がビチャビチャになる程であり、左腰、左首、左足を負傷した。	49	417	2	1000～9999
2017	6	19～20	派遣先事業所のキッチンにて食器を洗浄中、お皿が割れてしまい、破片が右手親指の側部に刺さってしまい負傷したものである。	25	529	8	50～99
		18～	派遣先事業所にて、軽ワンボックスの後輪タイヤを取り外し、ハブベアリングを引き抜く作業をスライディングハンマー（重さ5				300～

2017	6	19	kg、鉄製）を使用して行っていた。その際、ハンマーを握っていた右手の小指を、ハンマーとグリップのつばの部分の間に挟み負傷した。	47	364	7	499
2017	6	14～15	構内の仕分け作業場にて、ドライアイスの入った包みを仕分けする作業中、手袋をして作業を行っていたが、何度か触れているうちに両手指の先端を負傷した。軽傷と自己判断して報告も通院もせずにいたが、症状が悪化したため病院で診察を受けたところ、Ⅱ度の熱傷と診断され、後日、派遣元に報告があったものである。	54	715	11	10～29
2017	6	19～20	ウイング製造において、羽根のロアレールにセンターロックプレートを取り付ける際、5ミリのドリルで下穴を3ヶ所あけ終り、8.5ミリのドリルで真ん中の穴をあけ、2番目に左側の穴をあけようとしたところ、ガasketを押さえている左手親指部分の手袋が回転部に触れ、巻き込んでしまい、左手親指を捻った。	36	159	7	100～299
2017	6	18～19	段取り作業時に、溶接治具を棚に収容するためハンドリフターで治具を運び、45度旋回した。その際、はみ出していた治具のクランプに足を引っ掛け転倒した。転倒時、右腕で身体を支えたため右腕全体に痺れと痛みが生じ、救急搬送され受診した。	38	521	2	100～299
2017	6	9～10	プラットフォーム内で不燃ゴミ・大型ゴミ受入ホッパに自転車を投入する際、受入ホッパ車輪止めの上に乗し、手袋の手首開口部を開放状態にしたまま作業を行った為、自転車のハンドルが手袋の手首開口部に引っ掛かり、バランスを崩して受入ホッパに転落した。	65	418	1	30～49
2017	6	8～9	作業前、現場に向かおうと階段を下りていた際、足がもつれて階段から転落した。その際、階段の角に額を打ち、後頭部も階段に強打し受傷した。	58	413	1	300～499
2017	6	10～	就業場所（派遣先）で、作業設備の片付け清掃時に（自動運転中）、ヘラが落下した際、咄嗟にヘラを取ろうと手を伸ばし、機	66	165	7	—

		11	械に巻き込まれた。				
2017	6	16～ 17	施設内において清掃作業中に、掃除機をかけていて段差の上に掃除機を置いたところ、左足の甲に落下し、左足の小指を骨折した。	22	169	4	300～ 499
2017	6	11～ 12	派遣元に入社して受入教育を受けた後、当該実務に従事して3.5日目の午前中に、銀シートが入ったダンボール箱（400mm×400mm×100mm、約20kg）を開封するためにパレット（高さ150cm）に載った所から床面に降ろそうと、両手でダンボール箱を持ち上げた時に、左手首に違和感があった。以降の作業においては、左手首から前腕内側にかけて痛みが伴っていたが、作業を続けた。家に帰ってからは痛みのためにシップを貼り就寝したが、翌朝には腫れも生じていた。	43	611	19	300～ 499
2017	6	16～ 17	場内において、プラスチック製のパネル台に、バッテリーパレット（重さ7～8kg）の製品を移動のため積み上げ作業中、13枚目当たりをパレット上に持ち上げて、右足で支えたところ、パレットの上面が壊れて怪我をすることとなった。	32	416	19	100～ 299
2017	6	9～ 10	派遣先において、冷凍資材庫へ具材を取りに行った際に、資材が多く、通路が狭くなっていたため、床面に置いてあった物を避けようとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に、持ってきた台車のタイヤに背中を打ちつけてしまい、左肋骨を骨折した。	28	417	2	50～ 99
2017	6	12～ 13	製造作業中にコロコンを跨ごうとしたが失敗し、コロコンのローラーの間に左足を挟み、ローラーの圧迫により挫傷した。	30	391	3	100～ 299
2017	6	10～ 11	作業中に2つの箱を運ぶ動作があるが、それを行う際に、2つ目の箱の下にもう1つ箱がくっ付いていたことに気づかず、机の上ののせようとした時に、その箱を机に当ててしまっ、その際に胸を上箱にぶつけて怪我をした。	54	611	3	30～ 49

2017	6	15～ 16	カット済みの木製材料を5枚（7kg程）重ねて持ち、5m～10m程移動し、仕掛品置場のパレットに種類別に並べる作業中、材料を持とうとして腰に痛みがはしった。痛みがひかず歩くのもままならない状態であったので、その日は早退した。翌日に病院を受診し、痛み止めの注射を打った。その後も通院を続けたが改善が見られず、動くのもつらい状態となり、後日に救急車で病院へ搬送され、腰椎圧迫骨折で全治1ヵ月の診断を受けた。	50	921	19	100～ 299
2017	6	18～ 19	派遣先にて、パイプの成型・加工作業に従事中、パイプ（直径約30cm、長さ約240cm、プラスチック製）を研磨機にセットし、表面の塗装面に出来た突起物をペーパーで削ってから研磨機を作動するところを、誤って研磨機の作動中にペーパーをかけ、手元が狂って回転中の砥石とパイプに右母指が挟まれ受傷したものである。	29	159	7	100～ 299
2017	6	19～ 20	当社派遣先である本社工場内、組立部第1組立課シートカバー製造の現場で、部品を載せて運ぶ台車の取っ手（脱着式ハンドル）を台車の下方から取って上方に取り付けようとした際に、左側は差し込んだが右側もきちんとはまったかを確認せず手を離れたところ、右側ははまっておらず、ハンドルが落下して右足に直撃し打撲した。	23	391	4	100～ 299
2017	6	16～ 17	加工場にてグライNDER作業中、誤って手が滑り、左手の薬指と小指を切傷した。（血合い取り作業中、トンボマグロだったため油が多くて滑った。）	40	165	8	50～ 99
2017	6	11～ 12	工場内プロジェクション溶接作業において、左手で部品を持ち、その部品の孔にボルトを右手で差し込み加工を行うが、セットしたボルトから手を離す前に起動（フットスイッチ）してしまい、右手親指を挟んだ。	34	339	7	30～ 49
2017	6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れて	41	231	17	50～

			いたためスリップし、追突してしまった。				99
2017	6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	42	231	17	50～ 99
2017	6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	47	231	17	50～ 99
2017	6	18～ 19	製造現場内にて、ボディの下回りに入り両手でマーキング作業を行っていたの作業者と、同時に、上部から電動ドリルで穴あけをしていた作業者がいた。双方の状況確認不足により、上部作業者が電動ドリルで穴あけをした際に、下回りにいた被災者の左手があり、中指が電動ドリル先端に触れ、負傷した。	21	159	8	100～ 299
2017	6	3～4	洗浄室で、本来担当する従業員がライン製造の応援を頼まれたので、その代わりにバース（絞り機）洗浄を行っていたところ、熱湯を入れてある容器にバースが当たり、右足脛に熱湯がかかって火傷を負った。	33	519	11	100～ 299
2017	6	14～ 15	派遣先工場内で給湯器の部品を製造中、被災者がケース組立を二次熱交換溶接ロボットに装着する際、持ち替えた時に左手からワークが滑り、テーピングを巻いていなかった環指を、加工されていない端面で、軍手を貫通して切創した。5針縫合した。	31	521	8	100～ 299
2017	6	14～ 15	構内にて商品の積み込み作業中、トラックの後部のパワーゲートの鉄板（3m×0.2m）の調子が悪くなり、確認すると溶接部分が壊れていたため、自分で調節していたところ、誤って鉄板を落としてしまい、左足の上に落下してしまったものである。	52	521	4	10～ 29
2017	6	11～ 12	工場にて、完成品が載った台車をトラック出荷エレベーターへ運ぶ際に、2人で運ばなければならない運搬を1人で運搬している作業を見つけ、その台車がエレベーターにぶつかりそうになった	41	921	19	—

			ので止めに走り、力を込めて踏み込み、台車を止める際に「ぶちっ」という音と共に肉離れになった。				
2017	6	9～10	派遣先にて、鑄造作業に従事中、ダイカストマシンの下部ピットに落ちているスクラップを回収（ピット内清掃作業）している時、ピット内の足元に転がっていたスクラップ（20cm×20cm程度のもの）を踏んで右足首を挫き、バランスを崩して転倒しそうになった為、咄嗟に左手で受け身をとった時、ピットの壁に左小指を打ちつけ受傷した。	30	418	2	100～299
2017	6	9～10	古着をBOXに詰め込んでいる時に、右手で作業中、右手から目を離し、左に注意が行っていて、プレスがゆっくり下がっているのに、手を入れたままで気付くのが遅れ、BOXとプレスバーの間に右手を挟んでしまい、右手皮肉がめくれ、骨折した。	36	169	7	50～99
2017	6	8～9	工場内において溶接作業中、鉄パレット（鉄製フレーム）をテルハクレーンにて吊り上げ、90度回転させようとした際、フックが正しく引っ掛かっていなかったため、パレットが滑り落ち、足の甲の上に落ちて負傷した。	33	372	4	10～29
2017	6	17～18	ボルトに塗布する接着剤により、接触性皮膚炎を発症した。	18	519	12	100～299
2017	6	3～4	1階エントランス風除室にて、6尺の脚立に乗って仮設天井養生復旧の確認後、脚立から降りた時に右足脛に違和感を感じ、痛み出し、右腓腹筋肉離れとの診断を受ける。	65	921	19	10000～
2017	6	3～4	就業場所にて、機械で仕分けられた荷物をかご台車へ仕分ける作業をしている時に、荷物をかご台車下段の奥に荷物を置こうとする途中で、かご台車中段の棚に頭をぶつけてしまい、ヘルメットをしていたが首を挫傷した。	55	362	3	30～49
2017	6	13～14	宴会場で片付け中、台車に載っているテーブルのバランスが崩れた状態で台車を動かしたため、載せてあった3つのテーブルが自身に倒れ、右足くるぶし上部内側を切り、左腰を打撲した。	51	611	4	10～29

2017	6	13～ 14	踏み台の上での作業が終わり、降りる時に左足首を内側に捻り、左側へ倒れた。足首が腫れ、靱帯を損傷した。	35	417	2	50～ 99
2017	6	10～ 11	仕事場で鋳物製品の研磨作業に従事中、自動研磨機から取り出した製品（約4kg位）を機械横に設置した仮置台（高さ130cm）に3段ほど積んで置いていた時、被災者の腕が接触してバランスを崩し、落下した。その製品が右小趾に当たり、受傷した。	32	391	4	100～ 299
2017	6	9～ 10	工場36号棟2階クリーンルームにて、トルクレンチで製品のネジ締めを行っていたところ、ビット先端が折れて、勢い余って、添えていた左手の親指の付け根部に突き刺さった。	38	364	4	100～ 299
2017	6	8～9	工場内において、金属製自動車部品（直径2.7cmの円形）を穴明専用機（以下「専用機」という）にて穴明作業中、専用機の上下に動く工程箇所に戻って、右手環指を挟み負傷した。	23	169	7	30～ 49
2017	6	13～ 14	構内で、階段のステップとステップの間に足が引っ掛かり、尻もちをついた際に階段のステップで右臀部を打撲した。	53	413	2	10～ 29
2017	6	9～ 10	新築工事現場において、動線上に天板が放置されていたため、災害・事故防止のため即時に社員と2名で天板を移動しようと運んでいる際、腰を捻りヘルニアを発症した。	63	522	19	1000 ～ 9999
2017	6	14～ 15	Aラインのスライサー後ろのコンベアーのコードに腕が絡まった状態で反転した為、腕を痛めてしまった。	40	224	19	100～ 299
2017	6	9～ 10	開店前作業中、売場で足が滑り転倒し、手をついた時に手首を捻ってしまった。床濡れ等ではなく、急いでいて、靴底がすり減っていた為、曲がり角で転倒してしまった。	65	417	2	300～ 499
2017	6	11～ 12	溝を掃除しようとグレーチングを持ち上げて手前に引いた際、右手中指がグレーチングと床の間に挟まり受傷した。	33	391	7	100～ 299
2017	6	13～ 14	事業所内で作業中、材料の入っているダンボールを持ち上げた際に、腰がギクッとなり電気がはしたが、作業中でもあり、気も張っていた。帰宅後、寝て、朝痛くて起きられなかった。ギクッ	38	611	19	100～ 299

			り腰を発症した。				
2017	6	9～10	店舗外で、商品の搬入を終えた空容器を店舗外所定位置に台車を使い運搬していた際、台車から空容器が滑り落ち、左足の指に空容器が落下した。	32	362	4	100～299
2017	6	8～9	朝食後入居者様を居室へ誘導した後、ナースコールに対応するため部屋を出ようと、咄嗟に左方向へ体の向きを変えた時、右足の膝折れが起き激痛を覚えたが、1～2分じっとして、その後歩く事が出来たので、痛みはあったが右膝をかばいながら、なんとか1日過ごした。翌々日朝から、立つこともしゃがむことも激痛で困難になった。	56	417	19	50～99
2017	6	9～10	肉下処理室冷蔵庫にスライスされた肉が入ったバットを運び入れ、振り返った際に転倒し、臀部を床に打ち付けた。（床は濡れていて滑りやすい状態だった）	56	417	2	300～499
2017	6	7～8	退社時に工場から駐車場へ向かう際、階段を踏み外し、前のめりに転倒した。その際に左手を階段に打ちつけ、左手甲部分の腫れと痛みがあり、左手首を骨折した。	55	413	2	300～499
2017	6	17～18	工場内2階包装室にて、第4包装室から第1包装室へ入る階段で歩行中、足を踏み外して前方に倒れそうになったため、階段に手をついたところ、右手首を骨折した。	55	413	19	500～999
2017	6	11～12	当社倉庫において、鉄製パレットに入っている鉄板（T12mm×D150mm×W600mm）を高さ70cmの台に載せようと持ち上げた時、手元が滑り、鉄製パレットの角と持っていた鉄板の間に左手小指先端を挟んだ。	37	521	7	1～9
2017	6	8～9	施設内2階のご利用者フロアにおいて、認知症ご利用者の左横に座って食事介助をしていた。ご利用者が右足を上げた時、被労働者の左膝に当たり蹴られ、翌日から患部が腫れた。	57	921	90	100～299
		16～	化粧品が入っている箱（重さ25kg）を床に下ろす際、ゆっくりと				500～

2017	6	17	床に置くために腰に力が入り、腰部を痛めた。数日間、痛みが引かなかった。	44	921	19	999
2017	6	14～15	雑貨集配先で、作業を急ぐあまり、トラック運転席から不注意にも飛び降りてしまった。勢いがついたまま着地してしまったため、地面に左足を打ちつける感じとなり、左足親指付近を骨折した。	46	221	3	30～49
2017	6	13～14	施設の脱衣室で入浴準備中、リフト浴用椅子を所定の位置に動かそうと通常より上部を持ったところ倒れて来た。慌てて支えようとしたが、背もたれから後方へ倒れた際、右手を挟み、中指関節周辺が痛みを伴い、赤くなっていた。出血はなく手も動かせたので、すぐ入浴介助にあたった。その後、痛みはあったものの、仕事も遅れており、手も動かせたので、遅出出勤の仕事を続けた。終了時に腫れが酷くなった。	60	391	7	100～299
2017	6	0～1	ブレーキが掛かっていることを知らずに無理に動かして、バランスを崩し、カゴ台車を倒してしまい、床と台車で右足を挟んだ。	22	362	5	300～499
2017	6	0～1	構内作業場にて、ゴミ置場から戻る途中のスロープで、別のスタッフが押していた台車が後ろからぶつかり、左足のかかと付近を負傷した。	47	362	6	50～99
2017	6	22～23	仕分け商品の積込準備作業中、搬出口付近の床面が寒暖差による湿気で濡れており、足を滑らせて転倒した際、左手首をつき骨折してしまった。	49	417	2	50～99
2017	6	19～20	倉庫内で商品の棚戻し作業中、商品ラックを2人1組で移動を行っており、本人は後ろ向きに左後方を確認しながら移動させていたが、右側にあった柱に気付かず、右手小指の付け根を商品ラックと柱で挟んでしまった。	33	362	7	50～99
		9～	派遣先工場内で、液体が充填されたゼリーカップをライン機械から取り外す作業をしていた時、取り外せずに流れてしまったゼリーカップを追いかけて取ろうとし、機械に左手人差し指を				10～

2017	6	10	巻き込まれてしまった。なお、派遣先からの注意・指揮・指導はなされていた上で、危険ラインを超え手を伸ばし負傷したものである。	48	165	7	29
2017	6	9～ 10	フィルムシートをカット機で切断する際に、フィルムシートの端が丸まっていたので、カット機を止めずに手を出して修正しようと手を出してしまった為、右手人差し指の先端を被災した。	46	169	7	300～ 499
2017	6	21～ 22	荷物を保冷車（カゴ）に入れる作業をしている時に、1.5m幅の通路で、別の人間が運んできた別の保冷車（カゴ）に接触し、右の肩辺りを痛めた。	43	611	6	100～ 299
2017	6	14～ 15	屋内フットサル場にて、社内研修の一環として実施した社内運動会にて、競技スタート後すぐに競技用の網に引かれて左手首を逆に反らしたため、左手首を負傷した。当日は痛みもなく、事業者等への報告をしなかった。翌日に腫れが見られたが、2～3日後に腫れは引いたため、捻挫を想定した。その後、医療機関を受診したところ左舟状骨骨折と判明した。同日、派遣先、派遣元事業所に本人から報告があり、事故発生を確認したものである。	46	379	19	1000 ～ 9999
2017	6	9～ 10	日勤開始後、床置きされた3台のコンデンサ（W150×D570×H400mm、重さ24kg）を手で持って、約5m先の台車に一人で運ぶ作業をしていたところ、2台目を持ち上げた瞬間に腰に痛みを感じ、一旦は下ろしたが持ち直して再度台車まで運び、痛みはあったが3台目も一人で運んだ。その後も痛みはあったが、デスクワークのため作業を継続し、昼休憩時に痛みが酷くて動けなくなったため、病院へ搬送された。本来の手順は装置の表示重量を確認し、20kgを超えている場合は必ず二人作業とするところ、重量を確認せず一人で運んだことが原因と思われる。	31	611	19	100～ 299
2017	6	19～	構内で通箱を運搬中、足元のローリーに気付かず、足が引っ掛かり転倒した。転倒の際、腰を強打したが、すぐに立ち上がり仕事	69	362	2	10～

		20	を続けた。帰宅後、腰に痛みが起こった。診察の結果、骨等に異常は見られず、薬投与で安静を要すことになった。				29
2017	6	9～10	給食調理場で作業中、大量のピーマンを包丁でカット処理後、ピーマンを移動させようと両手でまな板ごと持ち上げたところ、思ったより重く片手が離れてしまい、まな板の上に置いていた包丁が滑り落ちて来て、右手薬指腹部分に直撃切創し、出血が止まらなかった。	65	364	4	100～299
2017	6	18～19	ペッカー作業場でコンベアから製品をパレットに移していた際、手に持っていた製品が落ち、それを避けようと右足を後ろに避けた時、後ろにあったパレットの蓋に足をぶつけて、踵を打撲した。	27	379	19	30～49
2017	6	17～18	工場荷受け出荷場付近にて、空箱を積んだパレットをリーチフォークリフトで積み下ろし作業を行っていた。フォーク（爪）でパレットを持ち上げ、バック走行を行おうとした時に突然、右足首に痛みを感じた。直立姿勢で体の捻りや打撲、何らかの接触等もなく、突然の痛みであった。	44	921	19	50～99
2017	6	17～18	出荷する荷物を台車で運んでいたところ、床に凹凸があり、台車のバランスが崩れ、荷物が落ちそうになった。それを防ぐために足に力を入れた際に痛めた。	46	416	19	100～299
2017	6	12～13	コンテナ台車を運搬中に、窪みにタイヤがはまり倒れかかり、逃げた際に後ろにあった台車に身体をぶつけた。	55	362	6	10～29
2017	6	6～7	食品配送先荷受場所に停車中のトラック庫内から降りようとした時、庫内にできた結露により靴底が濡れたため、足を滑らせてアスファルトの敷地にうつぶせ状に落下し、左胸と膝を強打した。また、落下の際に手をついたので左手骨を骨折し、転倒した反動で頭を打ち、左目の上を切る怪我を負った。	63	221	1	30～49
2017	6	19～	就業先の3階で勤務中、利用者を抱えて移乗する際に腰を痛めてしまった。激痛だったため、勤務終了後に整骨院に行った。翌日も	45	921	19	100～

		20	痛みが強く、骨に異常は無いがぎっくり腰と診断された。				299
2017	6	20～ 21	ベルトコンベアー試運転時、裏ベルトに異物があるのを発見したため、安全柵を外して異物を取り除こうとした際に、ベルトに接触して右手を挟まれた。不具合発生のため運転を停止して処置を行った後、試運転を実施した時のものである。	22	224	7	50～ 99
2017	6	8～9	派遣先である工場内で豆腐の製造中、豆乳の入った型箱をプレス機のレーンに乗せるため持ち上げようとした時、型箱を載せた台車を足で押してしまい台車が動いた。台車から少し離れた状態で持ち上げようとしたため、通常作業時より異常な負荷が腰に掛かり、腰を痛めてしまった。	26	611	19	10～ 29
2017	6	14～ 15	営業先のモール内で、従業員用通路の階段を下りていたところ、足を踏み外して右足を捻挫した。	29	413	19	10000 ～
2017	6	9～ 10	和菓子製造室で、使用した桜の葉を入れていた容器を片づけようとシンクに向かっていた際に、部屋の出口付近に置いてあった台車に気付かず、躓き転倒した時に左肘を床に強打し、負傷した。	54	362	2	100～ 299
2017	6	13～ 14	食品製造工場において、食肉の解凍作業場から加工場へ台車を使用し食肉を運搬する際、台車の車輪が滑ってしまい、積載していた食肉が入ったケースが左足外側へ落ち、左足小指を不全骨折した。	28	611	4	1000 ～ 9999
2017	6	1～2	4輪式のカゴ車を片付けている際、引いていたカゴ車が他のカゴ車にぶつかり、バランスを崩し、カゴ車を掴んだまま転倒した。転倒時に右足首を捻り受傷した。患部が酷く腫れた。	22	362	2	300～ 499
2017	6	9～ 10	枠パレット2段目に積んでいる商品と商品の隙間から引き抜く際に、勢い余って1段目の枠パレット上から下のコンクリート床に背中から落ちた。本来、枠パレットの2段目、3段目にある商品をピッキングする際には、必ずフォークリフトを使用して、パレットごと下に降ろしてから安全に商品を取らないといけないとこ	48	379	1	100～ 299

			ろ、勝手な判断で1段目枠パレット上部によじ登り、強引に商品を隙間から引き抜いた為に被災した。				
2017	6	9～10	養殖したシイタケをハサミで刈り取る作業をしていたところ、3ヶ月程前から右手首に痛みが出た。大事ではないと思い就業を続けたが、痛みが酷くなった。	34	364	19	100～299
2017	6	13～14	高さ50cm踏み台を使用して商品を陳列している際に、バランスを崩し転倒した。受け身を取る際に、左膝を床に強打した。動く事が出来ず、救急車を呼び病院へ搬送された。診断の結果、左脛骨高原骨折であった。昇り降りをくり返して、バランスを崩したとのことである。	52	371	2	300～499
2017	6	11～12	各学校の食器・食缶を入れたコンテナを2tトラックの荷台に2人1組で前後になり積み込む際、トラック荷台の開閉扉の半分が閉じた状態になっていたことに気付かず後ろ向きに下がりながらコンテナを引っ張った為、開閉扉とコンテナに身体ごと挟まれた。その際、開閉扉の取っ手部分の出張りで強く左肩を打撲したため、左手があがらなくなった。	66	611	7	30～49
2017	6	14～15	台車を移動させる作業中、後ろ向きで台車を引いていたため、後方の視界が確保できず、左手側に壁があることに気づかず台車をぶつけてしまい、台車と壁で左手を挟み負傷したものである。負傷時は痛みが治まると思っていたが、終業後痛みが増した。（台車：高さ約2m×幅約1m×長さ約1.5m）	24	362	7	100～299
2017	7	10～11	就業先の選課場内にてトマトのサイズごとの選別、箱詰め作業を行っているとき、人がすれ違える程度の幅での作業場にて、働いている人員や機械が多く常にまわりに注意を払いながら作業をする状態となる。自分の持ち場の業務が一段落し他の場所を手伝いに向かおうと振り向き出そうとしたと同時に、作業していた先方も方向転換したところ、その足に躓き前のめりに倒れる。右ひざから地面に付き、その後左手が地面に付いた模様。	67	417	2	50～99

2017	7	11~12	フライドポテトを加工する作業場内で、液体塩素を入れたバケツを右手で持ち歩いて移動中、床にボルト（止め具）が出てることに気が付かず、躓いて転倒。左膝から倒れこみ右側肋骨と右顔面頬を強打し、検査の結果、左膝蓋骨骨折と診断された。	58	417	2	300～ 499
2017	7	13~14	派遣先である工場内で、お弁当の盛り付け製造ラインのコンベアの清掃作業中に機械を停止せず、コンベアをブラシで洗おうとしたところ、機械にブラシと左手首を巻き込まれ、左手首を開放骨折および裂傷した。	49	224	7	100～ 299
2017	7	4~5	屋内で、郵便物の積み込み作業中、重量100kg程度の、荷物の入ったBOXを、台車から、2名体制でおろそうとしたところ、右腕に重量負荷がかかり右腕筋肉損傷。おろそうとした際、右腕に荷物をのせたことによるものである。	49	611	19	100～ 299
2017	7	4~5	右腕を怪我する前日に左肩に痛みを感じており（診断名は左肩腱板損傷）、それをかばいながら、派遣先の倉庫内で郵便局の仕分けする荷物（重量は100kg程度）を台車から2名体制でおろそうとし、右腕に荷物を載せたところ、重量負荷がかかり、右腕筋肉も傷めてしまった。	49	611	19	100～ 299
2017	7	22~23	倉庫内でバットを取りに派遣先の方と一緒に歩いて移動中、その方が出口のシャッターを持ち上げて開けたところ、そのはずみでシャッターが戻り被災者の頭に当たり気を失い救急車で搬送された。脳神経外科では脳への異常は見られなかったが、翌日になっても首と左手に痺れが治らなかったため他の病院で中心性脊髄損傷と言われる。被災者は、勤務中、帽子をかぶっていたがこの様な災害が発生してしまった。	57	391	6	100～ 299
2017	7	14~15	C棟で、トラックより2枚硝子付サッシ（窓枠）を2名体制でホーム上にある台車まで運んで乗せる作業を何度か行っている際に、腰に違和感を抱いた。	28	611	19	10～ 29
			容器等をシンクで洗浄していたところ、シンク上の棚に積まれて				

2017	7	16~17	あったステンレス製容器（400mm×360mm位）が頭上（前頭葉側）に落下。当日は痛みが有ったため早退し、自宅でアイシング等を行い療養していたが痛みが治まらなかった。	60	379	4	300～ 499
2017	7	16~17	工場化学材料チームの作業場内において、上寸ボールミル架台を使用してのコハク酸二ナトリウムの粉碎作業中、本来、機械を止めてから清掃作業をするところ、機械を止めていなかった。そのため、右手に持っていたウエスが機械に巻き込まれ、右手母指の指先骨折および、右手甲に裂傷を負ったもの。	30	162	7	100～ 299
2017	7	14~15	工場内でパイプの溶接・切断作業中に工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したため、パイプがずれて両足ふくらはぎに当たり負傷したものである。	44	521	6	30～ 49
2017	7	17~18	第三工場給包装機3号機、カルトン2合わせ装置のカッターの刃を交換するため、カッターの刃を固定しているネジを六角レンチにて緩めようとした際、カッターの刃に右手甲人差指部分が接触し負傷した。	34	169	8	300～ 499
2017	7	22~23	派遣先内において、ポジショナー（高さ約1m）メインフレーム裏面仕上げ溶接作業中に床面に降りる際、左足をブラケットに掛けたが、掛かりが浅く滑って後方に倒れ、左手でパイプをつかんだが支えきれずに、後方のブラケットにヘルメット後部を打ちつけた後、ヘルメットバンドとスクリューが接触、床面に臀部を打ちつけた。	32	142	2	30～ 49
2017	7	1~2	ロール成型機のコマ掃除中に設備を停止させなかったため、拭き取りに使用していたウエスがロールに巻き込まれた。作業者は巻き込まれたウエスを引き抜こうとしたが、自身の右手も引っ張られ、右手親指をロールに挟み被災した。	57	163	7	300～ 499
2017	7	18~19	第三包装室で製品を金属探知機へ流している作業中に、金属探知機のベルトと台座の隙間に右手をベルトに巻き込まれ挟まれてしまった。	56	521	2	50～ 99

2017	7	13~14	ビジネスホテルの客室整備中にてユニットバス清掃後、床面にあったタオル類に足が乗ってしまい足元が滑った。その時に転倒し、右足外側のくるぶしを打った。その後、作業して帰宅したが、翌日、痛みが引かなかった。	44	417	19	100～ 299
2017	7	17~18	派遣先の工場内において、金属加工プレス作業終了後、気分が悪く動けなくなり、病院で受診したところ、脱水症状があり、熱中症とのことで、点滴治療を受ける。	37	719	11	50～ 99
2017	7	11~12	派遣先事業所内に於いて、塗装部品検査の前の準備作業中、台車（高さ15cm）に7段積みで載っている自動車用プラスチック部品が入っている段ボール箱（45cm×30×25、約5kg）を上から順番に一箱ずつ床に降ろしているとき、最後の7箱目を降ろすため、しゃがみながら段ボール箱を両手で持った時、腰に急に負荷がかかり、その際負傷したもの。	41	611	19	100～ 299
2017	7	10~11	ビニールで梱包されたダンブラシートを加工するために、開封の際にカッターの刃をダンブラシートの溝にしっかりと入れていなかったため、刃がずれてしまい、右手中指を切ってしまった。	32	364	8	10～ 29
2017	7	11~12	側溝の作業中に別の側溝に移動する際、段差につまずいて転倒し、左手を突き負傷した。清掃担当のため、屋外にある側溝を清掃作業していた時に発生したもの。	64	417	2	30～ 49
2017	7	10~11	当社工場第8工場で300l金属性ろ過器台座を斜めに立てかけた状態で部品表面のウェスふき取りによる洗浄作業を行っていたところ、部品が後ろにずれて倒れてしまい、支えようとした左手が台座の下敷になり受傷した。	52	521	4	1～9
2017	7	11~12	冷蔵庫内で冷凍鶏肉1箱（12kg）をパレットからカゴに移し替える作業をしていたところ、鶏肉を持ち上げた際に腰を痛めた。	31	921	19	100～ 299
2017	7	22~23	派遣先事業所内の冷凍庫内にて野菜などを冷やす蓄冷材のパックを台車に載せて移動中に、地面が凍結していたため誤って左足を	27	391	2	1000 ～

			滑らせ、左の肩から胸にかけて転倒した際に左側の鎖骨を骨折してしまった。				9999
2017	7	11~12	側溝の作業中に別の側溝に移動する際、段差につまずいて転倒し左手を突き負傷した。	64	418	2	300~ 499
2017	7	10~11	被災者（以下甲という）は派遣先において棚の接続及び棚入れ作業に従事していた。甲は、同僚と共に棚の上部へ接続部品（フレーム（重さ約3kg））を取り付ける際に、手を滑らせ、右後頭部に部品の先端を打ち付けて負傷した。	24	521	4	50~ 99
2017	7	13~14	床に設置されているレールの上からカーペット布地（横3m×たて3m×厚さ約2cm）を電動カッターを使い裁断する作業をしていたところ、レールの上に右足を乗せた状態でカッターを動かしてしまい、誤って右足の安全靴の上から親指のつけ根あたりを横に1cm程切ってしまった。	43	169	8	50~ 99
2017	7	11~12	作業中、脚立の上に乗り機械の横に有る、円筒形のタンクの周りのカバーを外している時に脚立ごと倒れて、右手をついたため、右手首あたりから曲がり激痛がはしった。	53	371	2	10~ 29
2017	7	11~12	布処理工場にて布処理工程を監視中に、乾燥機から出てくる処理布冷却用鉄ロールを冷やすための冷却水の通っているホースが突然外れ、高温（70℃～80℃）の湯が噴出し、左顔面及び左眼に浴び負傷。直後にアイシング等応急処置をし、当日は終日作業をしたが、翌日左瞼が腫れたため、念のため、受診を班長が指示した。	44	391	11	50~ 99
2017	7	16~17	荷物を載せてあるカゴ車の向きを変えようと、安全バーを外しカゴ車右側を引っ張った際、底板のフック部分が折れていて右側が開いた状態になってしまい、載せてあった商品10ケースが倒れてきたのを体全体でケースが倒れないように支えた。その際、右腕に痛みが走った。	39	611	6	30~ 49
			ホイストクレーンで積み荷をあげようとした際、チェーンに緩み				

2017	7	15~16	があったため、指で押さえた時にクレーンのフックと積み荷の帯の間に左手親指を挟み受傷。	45	211	7	100～ 299
2017	7	11~12	電磁鋼板コイル梱包用の包装紙をテーブルに広げてカッターでカットしていた際、右手側の鉄の2段棚の柱に右手をぶつけ、棚の中の包装紙の筒の穴に誤って右手小指が入り受傷。大事でないと思い様子をみたが、翌日指が腫れていた。	42	391	3	500～ 999
2017	7	11~12	外出のため、事務所を出た時、雨のため濡れていた玄関ポーチで足を滑らせて転倒した。その際左足首を骨折した。原因雨のため滑りやすくなっていた事に気付かず、小走りに不用意に歩いたため。	50	417	2	30～ 49
2017	7	15~16	作業開始前の準備中、洗浄機後ろに敷いてあるステンレスのスノコに足を取られ転倒、その際に準備していたラック及び台車に左脇腹を強打し肋骨を折ってしまった。	57	417	2	10～ 29
2017	7	16~17	通常の就業場所の冷蔵室にて、スープの入った寸胴鍋（重さ20～30kg）を移動させようと二人で持ち上げたところ、被災労働者の腰から背中にかけて激痛が走り、その場で崩れるように倒れてしまった。	50	417	19	1000 ～ 9999
2017	7	7~8	1回目終了後に次回ショーの準備を行うため、機材置場に向かい歩いている途中、女性ゲスト（2人組）とすれ違った際、突然左肩を殴られた。女性ゲストとの距離はお互いが難なく通行できる程度の幅は空いていた。	64	221	1	100～ 299
2017	7	17~18	工事内3階の浴衣フォルダーで製品がつまり機械が停止したので詰まった浴衣を取っている時に他の従業員が確認をせずスイッチを押してしまい機械が動き出し左腕を挟まれ負傷した。	23	514	12	500～ 999
2017	7	9~10	作業が終わり工具を保管するために、ビニール袋に入れ、固定のために少し太い輪ゴム（市販品）をかけた時、輪ゴムが切れて作業者の右目に飛んで来て当たった。	47	911	19	100～ 299

2017	7	23~24	飼料製造工程中で、原料の入った2段積み重ねたメッシュコンテナをフォークリフトで運ぶときに、積み重ね状態が少しずれたので、手でずれを直そうとして、押したり引いたりして、誤って上下のメッシュコンテナの間に左手中指を挟んでしまった。タイ、永住者	49	379	2	300～ 499
2017	7	11~12	指導のため支店臨店。支店の行員通用口から入った時、階段の段差に気がつかず転倒し、足首をひねった。	61	362	3	10～ 29
2017	7	9~10	ゴミ用のコンテナが数台並んでいるところで左手でコンテナを支え右手でゴミをコンテナの中に捨てていた時に、地面に穴があいていたため、コンテナの車輪が落ちて、コンテナが傾き、慌てて左手を引いた時に、コンテナの溝に小指をひっかけて脱臼骨折した。	43	911	90	1000 ～ 9999
2017	7	15~16	作業場において、修繕工事に使用する木材をカンナ機で加工途中でカンナ機の刃を脱着していたが、誤って手を滑らせ左手の第2指、4指、5指を切傷してしまった。	17	121	7	50～ 99
2017	7	23~24	県道側の傾斜地にて草刈を肩掛け機を使い作業中足を滑らし、下の県道に転落してしまい、その際肩掛け機の刃が右足首に当たり、2ヶ所裂傷してしまい傷口を縫合した。	56	418	2	500～ 999
2017	7	15~16	商品（冷蔵食品）を棚補充するために、カゴ車に積載された商品が入ったコンテナをおろす際、胸より高い位置の2段を1度に取り、腰に痛みが走ったが、歩く事もできたため自力で帰宅した。	30	413	2	1000 ～ 9999
2017	7	1~2	スーパーマーケットで勤務中、逃走万引き犯人を走って追いかけていた時、駐車場入り口の車止めに足が引っかかってしまい、転倒してしまい右腕上腕を骨折した。	59	417	2	100～ 299
2017	7	14~15	満席のレストランのダイニングにて、お客様のテーブルへセッティングサービスのため、右手に15cm×20cmの皿に、ナイフ2本、フィッシュフォーク2本、フィッシュスプーン2本を持って、高さ15cm程の階段を3段上ったところで、階段下の別のお客様か	33	921	19	—

			ら呼びかけられ、振り返ったところで、右下腿部を挫傷した。				
2017	7	11~12	当社派遣先冷凍倉庫内に於いてスタッフより労災申請があった。 各スタッフには冷凍倉庫作業用の防寒服防寒ズボン防寒靴防寒用 軍手（2枚重ね）を支給していた。就労3日目の派遣スタッフだった。 作業内容は高さ15cm幅30cm長さ50cm位のプラスチック製の トレイを台車にのせ搬送する作業である。	59	715	11	300～ 499
2017	7	13~14	ご入居様を車椅子からベッドへと移乗介助している時に、前方 からかかえ上げ介助をした時に、ご入居様の身体が背後にのけ ぞりつっぱった状態となり腰に強い負荷がかかった。	34	911	19	500～ 999
2017	7	11~12	古紙のダンボールを大型のシュレッダーで裁断する作業を行って いた。パレットに積まれているダンボールを手作業でシュレッ ダーに投入する際PPバンドを切り崩れてきたダンボールを避けた 時にシュレッダーのテーブルに左大腿があたり打撲した。翌日にな っても痛みが引かなかった。左大腿筋挫傷と診断される。	43	391	3	500～ 999
2017	7	10~11	派遣先事業場にて、入荷業務として商品の棚入れ業務を行ってい るときに空になった鉄製の台車（180cm×50cm×180cm）を入 れ替える際に強く引っ張り誤って台車の最下部分が右足くるぶし 外側付近に当たり、打撲した。	45	362	6	100～ 299
2017	7	17~18	被害者は現場監督補佐でマンション敷地内で行っている作業員の 草刈りを監視していた。後ろで監視していたが、環境美化の観点 から草を集めており、作業員が後ろにいることに気付かず、作業 員が持つ回転刃が完全に止まっていなまま肩から外し振り回し たため被害者の右手に接触し小指を骨折した。	30	169	8	1000 ～ 9999
2017	7	15~16	営業所内にて、派遣社員である被災者（以下「甲」）がピッキン グ作業のためカゴ車を押して移動していたところ、商品収納棚の 間から出てきた社員の運転するモービス（カゴ車運搬用機器）が 押していたカゴ車と衝突し、カゴ車が甲の右膝に接触して負傷し た。（原因は双方の前方不注意によるもの）	22	229	6	100～ 299

2017	7	6~7	施設内3階リビングのソファーにて入居者様の便失禁介助の際、被災者の左膝からバッキンと大きな音と強い痛みが走る。しばらくは市販の鎮痛湿布薬で手当をしていたが、痛みが引かなかった。半月板損失との診断。	50	911	19	30～ 49
2017	7	6~7	施設内3階リビングのソファーにて入居者様の便失禁介助の際、被災者の左膝からバッキンと大きな音と強い痛みが走る。しばらくは市販の鎮痛湿布薬で手当をしていたが、痛みが引かなかった。半月板損失との診断。	50	911	19	30～ 49
2017	7	11~12	屋外で野積みしてある工業塩エリアにて老朽化した側壁の交換作業が予定されているため、ホースを使用し側壁にへばりついている塩の塊（2m×2m）が崩れ落ち右足に当たり被災した。	44	391	4	30～ 49
2017	7	8~9	フィルターを交換するため、三脚脚立で上部にあるフィルターをとろうとした時足を滑らせ転落。右脇腹を強打した。	62	371	1	30～ 49
2017	7	14~15	派遣先場内で3.5m×2.5mのフレーム枠の上部を吊りクレーンで10cm程持ち上げたところ補強として仮溶接してあった長さ3.7m重さ35kg程のL字アングルに負荷がかかり外れ2m程の高さから両足に補強アングルが落下し両足の甲を負傷骨折した。	42	372	4	100～ 299
2017	7	13~14	被災者（以下「甲」）は、派遣先において商品の入出荷業務に従事していた。甲の後方で、同僚が作業スペースを確保しようとして、駐車中のフォークリフト（以下「乙」）を運転して移動（前進）しようとしたところ運転を誤り、後退してしまった。甲は逃げきれず、乙とカゴ車台車の間に左手を挟み負傷した。原因は、フォークリフトの運転者が、フォークを離れていた時間が長かったため、共同作業者の同僚が、動かしてしまったことによる。	32	222	6	100～ 299
2017	7	15~16	派遣先において、サンダーを使用して半導体（円形の銅板、重さ約20kg）の研磨作業終了後、後ろの台に置こうとしたところ、作業台の下から伸びているサンダーのコードに足を引っ掛け転倒し	25	417	2	10～ 29

			た際、銅板を両手で持っていたため、床面と銅板の間に左手中指が挟まれ負傷、また転倒の際右腕も負傷した。				
2017	7	19~20	組み立てのラインに部品の供給作業を行っていたら自動運搬台車が間違えた所を走行していたので止めようとして2段あるステップを降りて歩いたときに左足のふくらはぎに激痛がはしり負傷する。	43	413	19	100~ 299
2017	7	16~17	工場にて高さ2メートルあるキャビネットの拭き掃除をするため高さ70センチある脚立に乗り作業をしていた。作業終了後、脚立の階段から下りずに後向きで踏み台から直接降りようとした時バランスを崩してお尻から落下した。被災当日は安静にして様子を見た。	37	371	1	100~ 299
2017	7	14~15	工場塗装工程にて、620mm×520mm厚み3mm重量3キロほどの製品をパレットから塗装するため治具に引っ掛ける際、作業自体に非定常作業はなかったが製品の大小があり疲労が蓄積され筋を痛めた。	48	521	19	100~ 299
2017	7	13~14	訪問先（集合住宅）から敷地内の営業車に戻る際、敷地と路面との段差に気付かず左足をひねり負傷した。	46	419	19	100~ 299
2017	7	16~17	ビンの蓋を両手で閉める作業に従事。両手首に痛みが生じ、後日激痛が走った。作業量：1日150~200本。	32	921	19	300~ 499
2017	7	10~11	構内にて、アルミホイル減容作業中、ベルトコンベアーでホッパー内にアルミホイルが投下される際、通常は自動投下であるが、ベルトコンベアー先端にアルミホイルが引っ掛かったため、直ちに減容機上に昇ったところ、アルミホイル減容機上の油で足が滑り転落し右足を受傷してしまった。	45	391	1	300~ 499
2017	7	13~14	工場の蒸しラインの出口にて、蒸加工された商品をセイロに並べる作業をしていたところ、立っていらなくなり、座り込んでしまった。（熱中症のような症状）当時は外気温31℃、室内温度35℃、湿度90%の高温多湿な環境で、蒸ライン2本、焼ライン1	57	163	11	100~ 299

			本、蒸庫2台の全ての加熱設備が同時に作動してしまっていた。				
2017	7	11~12	作業所で中子造型機械から中子を取り出すため、左手で持ち上げた際に左肩に痛みが出た。	56	529	19	30～ 49
2017	7	5~6	派遣先である製造現場内で社員の方から指示を受ける際に意見の相違があり口論に発展した。その後、社員の方から帰宅を命じられると共に肩を強く押された。強く押された時にバランスを失い現場内の成形機（5号機）のデクスター付近に左上腕部を強打した。その後痛みがあった。	29	921	90	300～ 499
2017	7	9~10	取引先の工場内で、1個20kg近くあるサーバーを2個同時にパレットから作業台へ移す際に、フックに指を挟んだまま台へ下したところ、右手薬指だけに重量がかかり骨折した。	65	391	7	10～ 29
2017	7	19~20	部品が載った台車を片付けようと、台車を引いて動かしていた時、台車から部品が入った箱が、はみ出しているのに気付いたが、台車を止めずに引いたまま、右手で箱を押し込もうとしたが、押し込めずに、そのまま後方にあった柱と台車に右手首を挟んだ。（被災者による後日説明による。）	22	362	7	50～ 99
2017	7	16~17	アジフライを揚げ終え、ザルからバットに移し替える際、床に敷いてあったダンボールにつまずき、フライヤーに左腕を突っ込んで左肘付近から左手首にかけて温熱熱傷した。	40	416	2	50～ 99
2017	7	17~18	作業場にて、約40cm四方の製品を作業台に載せる際、手元が滑り製品と作業台に右手中指を挟んだ。挟んだ後は、大丈夫と判断したのだが、家に帰り腫れと痛みが増した。	39	611	7	100～ 299
2017	7	11~12	営業所敷地内において、クレーンを使い鉄パイプ（直径63mm×長さ6.7m×重さ約50kg）3本を束ね床に降ろそうとした際、床に置いてあった鉄パイプ9本が平らに置かれていない状態にあり、尚且つその上に木材を置いたが、バランスが悪く、鉄パイプを置いた途端にその内の1本が手前に転がってしまい支えていた左手親指	35	521	4	10～ 29

			を挟んでしまいケガをしてしまった。				
2017	7	11~12	ダイカスト加工工場にてアルミ製品の切削加工中、工程が終了していると勘違いして製品交換のため、回転中の中に手を入れてしまい、右中指を切ってしまった。思い込みで作業をしてしまったことが原因。	19	153	8	50～ 99
2017	7	0~1	ライン作業終了後、設備上（機械）の清掃をするためにステンレス製の作業台（高さ30cm）を設備横にセット、その上に登った。その際、ペンキ仕立ての滑らかな床面に作業台が滑り、作業者は体のバランスを崩し転倒。転倒した際、左側背中を作業台に打った。	56	379	1	300～ 499
2017	7	11~12	特別養護老人ホーム3Fホールで昼食介助の準備中に利用者からまぶしいのでロールカーテンを閉めてほしいと言われ、南窓のロールカーテンを下げるためのひもを引こうとしたが、届かなかったために15cmほどジャンプをしてひもを取り、引いた。着地をした際に腰に重心がかかり違和感を感じたが、痛みがなかったため、残りの作業をして帰宅した。	68	921	19	100～ 299
2017	7	11~12	ラベラーマシンから排出されるボトルがマシン搬出口に詰まったため、咄嗟的にボトルを外そうと左手をカバーの中に入れてしまい、ボトル搬送用の羽根に左薬指の第一関節先をはさまれてしまった。	37	169	7	30～ 49
2017	7	16~17	食料工場において屋外から屋内に冷凍された原料を送り流す作業を行っている際に空になった袋から空気を抜き圧縮しようとした際にバランスをくずし鉄製のカゴの角に左側の脇腹を打ち痛みがある。	62	921	2	30～ 49
2017	7	22~23	本社工場向け作業工程にて、リールの交換のため高い位置にあった材料を、片足を上げてバランスをとりながら取ろうとした。その時に、右側にバランスを崩して、転びそうになったため、体を捻った時に足元のパレットに右膝をぶつけて負傷した。	62	379	3	30～ 49

2017	7	16~17	洗浄室へ応援のため、移動中。足がもつれつまずき、前のめりに転倒し、左膝を床面にぶつけた。特に床面に段差があるわけでもなく、濡れていたり、粉等の落下物もなく、不安全な要素はなく、ただ通路を歩いていた状況だった。	56	417	2	100～ 299
2017	7	8~9	完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し、次の空コンテナを取ろうとし、振り向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークリフトと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕事していた。）その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。	62	222	6	100～ 299
2017	7	6~7	チルド加工室から退出する際に、液こぼれを他の従業員が清掃作業し、終了した場所を通行したところ、足を滑らせ転倒してしまった。その際に手をついて右手首をフロアーに打ち付けてしまった。	47	417	2	50～ 99
2017	7	19~20	粉碎工程の作業中、原材料の入った麻袋を積むため、両端をカギ爪でひっかけ持ち上げたところ麻袋から突き出ていたカギ爪で、右足の内側のももを傷付けた。	27	364	8	300～ 499
2017	7	9~10	工場内にてゲージ（約5kg）を移動させている時に、突然背部に痛みを感じた。普段と違う作業をしたため。	37	921	19	100～ 299
2017	7	14~15	派遣先工場内において、フォークリフトがオーバーヒートを起こしたので、ラジエターキャップを半分開けて様子を見た時キャップを外した所から熱湯が出て手にかかったため熱傷をした。	47	222	11	100～ 299
2017	7	19~20	派遣先工場内の容器洗い場において、プラスチックコンテナの洗浄作業をしているときに、洗浄機内部で湯がコンテナの中に溜まった状態になっていたため、機械からコンテナを引き出す際に湯が波打ち、手前にこぼれてしまった。作業場内が非常に暑く、エプロンを着用していなかったために、あふれた高温の湯が長靴	22	611	11	30～ 49

			の中に入ってしまった、右足に火傷を負った。				
2017	7	11~12	倉庫2階作業中に於いて、1階に確認するために階段を下りる際、足がもつれ踏み外して落下した。その結果、前歯損傷上唇貫通、額の裂傷、脊椎損傷を負った。	55	413	1	10~ 29
2017	7	11~12	掃除用の棒で機械を掃除中、ブラインダーに手を巻き込まれ左手の小指を挟まれた。診断では捻挫と関節脱臼。手のひらがゴム材の手袋をしていたとのこと。	47	153	7	50~ 99
2017	7	11~12	派遣先にて、電子部品の検査作業に従事中、製品シューターに設置されたシャッター（樹脂製、製品を止めるために設置）に製品（約3cm四方、厚さ約1cm程の電子部品）が挟まっていたため、左小指で引っ掛けて取り除いた際、シャッターが降下し、そのままシャッターに挟まれ受傷したもの。	32	169	7	100~ 299
2017	7	10~11	派遣先にて、製品の組立作業に従事中、工業機械部品のボルト（直径2.5cm）を締めつける工程で、万力に部品を固定し、ボルトの右からスパナ（長さ約34cm）を掛けて両手で体重をかけながら手前に引いて締めていた時、ボルトからスパナが外れ、そのまま後方に転倒した。転倒の際、後方の作業台で首、背中などを強く打って受傷したもの。	41	364	3	100~ 299
2017	7	6~7	工場内にて、トラックからフォークリフトでパレット積みポリ箱製品を台車へのせ、5台連結させて後ろ向きで2歩程度引っ張った際に腰を痛めた。	39	921	19	100~ 299
2017	7	18~19	工業に接岸の内航船にてコイルの揚荷作業が終了したか確認後内航船と岸壁高さ約1.5mのところから飛び降りた際に右足ふくらはぎを負傷した。	54	417	3	50~ 99
2017	7	0~1	ホットタイムにスポットクーラーに当たろうと消灯してあった改善場に入り照明を点灯させ休憩し休憩後にスポットクーラーを止め消灯して改善場から出ようとした時に溶接用定盤の角に左足ひ	61	391	3	10~

			ざ下を当て受傷した。その時は、ばんそうこうで処置をし仕事にもどった。後日出社時に足を引きずっていたので確認した所上記の事がわかり、現在通院治療中。				29
2017	7	10~11	成形2号機にてバリ取り作業中、カッターの刃が製品に引っかかってしまいその刃を外そうとした際に、刃が指に当たり負傷した。	42	364	8	10~ 29
2017	7	21~22	煮豆ホッパー洗浄作業中、ホッパー底部を洗浄するために、ホッパー本体を下部台車より外そうとした際に右手首を捻って痛みが走った。痛みは酷くなかったので、作業継続可との自己判断（社員へ報告無し）にて、勤務を継続し、退勤した（実働5時間15分）。翌日午後、右手首に痛みが残っていた。	55	165	19	300~ 499
2017	7	13~14	水系廃棄消火器処理場にて、パッケージ型消火設備の消火薬剤を回収タンクに放射する準備中、メッシュパレット（金属製、内寸法：幅1,200m/m×奥行：1,000m/m、高さ：750m/m）に入ったパッケージ型消火設備（幅：700m/m、奥行250m/m、高さ：1,600m/m）×3台（総重量560kg）、メッシュパレット内幅（約1,000m/m）とパッケージ型消火設備の奥行（250m/m×3台＝750m/m）ですき間が250m/mが有り、箱の扉を開けてホースを取り出して放射準備をしたが、高さで重量が重かったためバランスが悪い状態であった。パッケージ型消火設備が傾きカゴとの間に左手第二指挟まり受傷。	58	521	7	100~ 299
2017	7	18~19	CVT加工ラインでの作業終了時、スポットクーラーに溜まった排水（ドレン水、ポリタンク18?入）を廃棄した後、作業場に戻ろうとした際に足ふきマットが滑り、ポリタンクを持ったまま後方に転倒した際に右手首を骨折したもの。	53	379	2	100~ 299
2017	7	13~14	被災者は、サンプル採取のために開いた窓に近づき、左足に体重をかけた際、左足が滑り窓枠に左脇腹を強打し被災した。	51	419	3	10~ 29
			厩舎前において馬運車から降ろす際、該馬が物見し飛び降りその際左足第4・5指に着地され、同部を負傷した。負傷当日より痛さ				

2017	7	0~1	があり我慢していたが翌日腫れが広がっているため、救護室にて診てもらい処置してもらい、骨折していると言われ湿布を貼って我慢した。	56	231	17	10~ 29
2017	7	22~23	たこ焼きの食品工場にてタコ投入機の洗浄作業中、本来機械を止めて持ち手のあるタワシを使用して洗浄すべきところを、機械を止めずに持ち手のないタワシで洗浄していたため、機械の回転軸とバーの間に左手中指が挟まれ受傷。	37	165	7	500~ 999
2017	7	16~17	派遣先工場内作業場で、被災者が同僚社員と二人で清掃作業をしているとき、同僚社員がステンレス製の作業台を左手で持ち上げつつ右手で作業台下の清掃箇所の指示を行っていたところ、左手から台を取り落としてしまい、台の下で清掃にあたっていた被災者の頭部にぶつかり負傷した。	47	521	4	50~ 99
2017	7	10~11	プラスチック工学研究所構内（倉庫前付近）でパレットに載せた荷物をフォークリフトで持ち上げ移動中、荷崩れが発生。慌てて下車し、荷物の状態を確認しに前方へ行った際、フォークリフトが少し動き体に接触。	31	222	6	300~ 499
2017	7	9~10	整備専用架台上で、パーツのケレン作業中、（パーツ：直径20cm 厚さ1cm、鉄製）グラインダーブラシが右手、薬指、小指に巻き付いて負傷した。	35	153	7	1~9
2017	7	16~17	油圧ショベル部品ベースフレームライン溶接P4作業場にてフレーム製作中、次の作業に移る際、乗っていた作業リフターから踏み台に降りる時に左足を踏み台に下ろし、右足を下ろしたが踏み台がない中央部のレールがある箇所に下したため、バランスを崩し落下し、右足首を被災した。	46	413	19	10~ 29
2017	7	11~12	派遣先事業所構内で、入荷した荷物を積んだカゴ台車を1階から4階へ搬送する作業をしていた。荷物用エレベーターへカゴ台車4台を搬入した時、左手前のカゴ台車が斜めに向いていたので、位	33	362	7	30~

			置を修正しようとして、右足を前に、左足を後ろにして、カゴ台車を手前に引いたところ、右足甲をカゴ台車の車輪でひいてしまい右足第3趾を負傷した。				49
2017	7	11~12	1時間おきに10分の休憩があり、その休憩時間になり、3階の執務室から2階の休憩室（食堂）へ向かう階段を下りる際、つまずき転倒。その時に両ひざと左のひざから下の部分を打つ。又、左ひじをねじる。	42	413	1	1000 ～ 9999
2017	7	12~13	派遣先で有る仕事場に於いて昼休憩終了後2階の休憩室から1階の現場へ戻る途中の階段で最後の2～3段を踏み外し転倒落下。着地の際左足首を痛め立ち上がれず、早退。骨折の疑いが有ると言われ、他の病院の紹介状を書いてもらい、「左足関節外果骨折」と診断を受ける。	46	413	1	500～ 999
2017	7	10~11	お客様宅での引っ越しの際、衣装ケース（10kg程度）を1人で運んでいた際、階段で足を滑らせ転落した。作業に関しては、標準作業であるが、軍手や安全靴など保護具が未装着であった事、1人で作業していたことが災害につながったと考える。	46	413	1	100～ 299
2017	7	10~11	厨房において、じゃがいもを包丁にてカット中、左手小指と接触し、切傷。	63	364	8	1000 ～ 9999
2017	7	15~16	クラブにてゴルフ場キャディとしてプレー帯同中に気分が悪くなり業務終了後に倒れ込んだ。	39	715	11	30～ 49
2017	7	2~3	派遣先作業場にて、材料を床から機械に補充するため持ち上げた時、腰に激痛を感じた。	24	611	19	300～ 499
2017	7	10~11	2Fトイレ内で用を足した後、トイレ用スリッパを脱ぎ、体を屈めてスリッパを揃えた後、立ち上がる際にバランスを崩し転倒した。その際、手洗いの陶器製のシンクに右目をぶつけ負傷した。	54	379	3	100～ 299
			第3製造計量2ラインにおいて製品を計量・充填中に空袋が機械の				

2017	7	15~16	間に数枚落ちたため、一旦停止した。作業者Aが作業者Bと落下原因について話し合っていた時に、被災者が空袋を取ろうと機械に体を入れた。その時に作業者Aが周囲を確認せず、寸動状態で機械の起動ボタンを押したため、機械が手前に下がりながら回転した。そのため、機械に体を入れていた被災者が機械の下の部分と下がってきたフタに挟まれて負傷した。	41	165	7	50～ 99
2017	7	10~11	不用品のメッキ部品が入っている箱を持ち上げた瞬間、電気が走ったように腰が痛くなり、動けなくなった。シップを貼ったが改善されず。箱の重さは5kg前後、二段重ねになっている上の箱を持ち上げる際に中腰になってしまったことが原因。	42	921	19	500～ 999
2017	7	13~14	リストをとるためにレーンの向かい側に行こうと、注意は受けていたが、レーンの上に乗ってしまい、体の一部がセンサーにあたったため、レーンの上についていた左手が連結部に巻き込まれた。	31	224	7	100～ 299
2017	7	11~12	ベーストレイ、2枚重ねをコンベア上を移動させた時に、上下がずれて小指を枠の間に挟んだ。治療を行った。右手小指の皮がむけた状態で盆まで休養のこと。	65	224	7	50～ 99
2017	7	11~12	納品後4tトラック接車バスからトラックを移動させようとしたが車が動かないので、慌ててサイドブレーキを解除したまま車両から降り、車止めを外したところ、突然車が動き始め、慌てて車の前に回って止めようとしたが、車両の勢いが強かったため、止めきれず、車両とフェンス前の台車の間に左足がはさまり、開放骨折したもの。	35	221	7	1～9
2017	7	14~15	屋外で鉄柱（ビル等の基礎）の計測作業中、暑さでふらついた際、誤って鉄柱に右足首を強打した。当時、熱中症の心配があり早退したが回復。夕方、足が腫れだし、右脛骨内果骨折と診断された。	29	418	3	100～ 299
			アイスクリーム製造、バイターラインB2パートナー業務に従事				

2017	7	11~12	中、充填機とカートナー間のフィルム接続部の警報サイレンが鳴り、確認・復旧のため、急ぎ足で角を右に曲がり接続部に移動しようとした際バランスを崩し、左足に体重がかかり左足を捻った状態で転じ、骨折した。	43	417	2	100～ 299
2017	7	11~12	冷凍倉庫内でピッキング作業を行っているときに、可動式電動ラックを他の作業員が作動させたため、ラックとラックの間に挟まれ臀部を痛めた。	36	391	7	30～ 49
2017	7	10~11	本社工場内の防錆作業スペースにおいて車両のアンダー足回りの防錆作業中。架台の下から車両の足回りに防錆スプレーをかけていたところ、架台上の車両が動き出し、車両のアンダーの金属部分がスプレーを持った右手中指・薬指に接触し負傷した。	44	231	6	10～ 29
2017	7	18~19	鑄造用砂除去設備の点検デッキ上で、設備移設工事後の試運転で、Bダクトの開閉切替動作の確認をしているとき、自動運転中に安全カバーを外し、設備内に腕が入る状態にしてしまい、設備内に左腕を入れ、吸入口に手をかざし、風の流れを確認中、上昇してきた扉とフードのフレーム間で左腕を挟まれた。	61	391	7	100～ 299
2017	7	13~14	工場内で、エアシリンダー式突き機での製品（トコロテン）を突き出す作業中、製品に右手を添えたままスイッチを押したため中指がシリンダーとカバーに挟まり、切断された。	57	165	7	1～9
2017	7	9~10	就業している工場内において、パレットの移動中に、手を滑らせパレットが転倒した。その際、右足甲がパレットへ接触し、打撲した。	34	379	6	100～ 299
2017	7	17~18	仕分け中に荷物を引き込む際に右手で荷物の下側から引き込みを行った事で、ベルトコンベアのベルトとローラーの間に手の甲ガード部分から巻き込まれ、右手人差し指、中指、薬指の3本を裂傷及び中指を打撲した。	20	224	7	500～ 999
			工場内にて、原料の砂10～15kgの入ったプラスチック製の箱を作業場から処分場所までの約15mの距離を運ぶ際に、床に散乱して				

2017	7	16~17	いた砂で足を滑らせ前のめりに転倒した。起き上がろうとした時に腰から左足にかけて痛みを覚えたが、その後、通常通り勤務を継続した。後日、痛みが激しくなり、左坐骨神経痛と診断された。	37	417	2	100～ 299
2017	7	8~9	派遣先事業所（病院）にて作業中、通路で保護シートに足が引っかかり転倒した。	55	417	2	50～ 99
2017	7	0~1	閉店間際に客が入り始め、焦っていた。不足していた食材を取りに、急いで調理場の冷蔵庫へ向かう際に右足が滑り、左足を折り曲げた状態で転倒した。その拍子に左足くるぶしに負荷がかかり負傷した。調理場のタイルが濡れており、滑りやすい状態だった。	52	416	2	10～ 29
2017	7	10～ 11	道路の路肩に止めているパッカー車にて、剪定枝の回収作業中、テールゲートに積んだ剪定枝が、自分が持っている剪定枝の上に落ちてきたため左手薬指をパッカー車の鉄板と剪定枝の間に挟まった。	35	221	7	10～ 29
2017	7	9～ 10	大根を入れる段ボールを組み立て中、15cm程の高さのパレット台から右足を踏み外し、足をついた際に足首をひねってしまった。	70	371	19	100～ 299
2017	7	13～ 14	派遣先の食肉加工場で、ゴミ（廃棄処理物）の入った大型の箱がキャスター付きの台車から落ちてきたため、とっさに抑えようとしたが、箱の重量に耐えきれず尻もちをつき、その際胸椎の骨折および左足首を捻挫した。	59	611	6	100～ 299
2017	7	15～	工場1階下級冷凍庫内で残った原料を枠付きパレットに乗せて（144kg）ラックの2段目に戻そうとしてウォーカー（電動ハンドリフト許容荷重950kg）を前進させた際、枠付きパレットの上部がラックに接触した為バックさせた所、後部のラックに置いてあった原材料のダンボールに臀部が当たったので慌ててしまい操作を間違えてウォーカー後部の下部巻き込み防止カバー（硬質ゴ	35	229	7	50～

		16	ム製）が左足に接触し、カバーが装着していたレガースを圧迫して被災したものと推察される。保護具は正しく着用していた。 （安全長靴レガース、ヘルメット） ラックとラックの間隔3.5m、パレットに差し込んでいる状態のウォーキーの長さ2.5m、ウォーキー前後移動範囲1m（レバー操作時は0.4mしかない）、被災者はフォークリフト免許所持者。				99
2017	7	9～10	当社工場包装室において、パッキングされてコンベアから1つずつ出てきたパックを両手でつかんで伸ばし、パックを整える作業をしていた時に右手の小指が着用していたゴム手袋と一緒にベルトコンベアの端のローラー部分に引っ掛かった際、爪が剥がれ、受傷した。	50	224	7	100～299
2017	7	13～14	資材倉庫2階にて、現場内提示物張り替え終了後、通路に戻る際、足元に高さ20cmのパレットが置いてあり、左手に書類を持ったまま跨ぎ通ろうとしたところ、右足つま先が引っ掛かり右肩より前方へ転倒し負傷した。	50	416	2	100～299
2017	7	18～19	工場内の、フォーミング2号機にて鋼板を送り出す作業中に、作業スピードを上げるため鋼板を奥から引っ張り出して送り出しをしようとし、切断刃のある機器の奥まで手を入れて指を負傷した。勤務初日であり、担当した機械への知識および危険意識が不十分であり、切断刃は手を入れた場所には無い（もう少し先にあり安全）と勘違いしたまま行動した。	42	156	3	50～99
2017	7	10～11	倉庫内において、商品運搬作業をするためにフォークリフトを移動させプラッターから降りる際、無理な体勢で降った為足首、ひざを捻って転倒し負傷。	34	222	19	100～299
2017	7	17～	フレコンバック入りのアルミ灰（約800kg）を灰場の冷却装置に入れる作業を行っておりアルミ灰を出す為に、フレコンバックの吊ベルトをフォークリフトの両爪にかけて、吊上げた状態にして、下部にある排出口を開けようとしていた。その際、フォーク	43	611	7	30～

		18	リフトにかけていた吊ベルトが滑って、爪から外れ、フレコンバックが被災者の右手と右足に覆いかぶさる形となり打撲と火傷を負った。				49
2017	7	10～11	炉の出側で製品から治具を外し、箱に入れた後に前工程に治具を返すため、カゴティナーに箱を積み替える際、6段目の治具入り箱を積んだときに左肘に痛みが発生した。	30	611	19	50～99
2017	7	17～18	被災者は、工場にてブロックハム（円柱：500×120mm、7.0kg）56本を吊るしたステンレス製三段構造台車より、スライス工程へハムを供給し、残りを台車ごとフロアスケールにて計量後、冷蔵庫へ保管する作業をしていた。その際、台車の上・中段に片寄ってハム16本が残っていたため、手前に引き寄せた台車がバランスを崩し、左側へ避けたが重みで転倒し、左肩・背中・腰を強打し負傷した。	32	362	6	100～299
2017	7	8～9	約15kgの鉄の板状の部品に、サンダーで表面を研磨していた際、裏面の研磨作業をしようと裏返しにしようとしたところ、作業土台と板上の部品の間に左手を挟んでしまい、中指第一関節を負傷した。	57	521	7	500～999
2017	7	0～1	フォークリフトの右側から乗ろうとしたとき、左足を踏み外してしまい、左膝を強打し負傷した。	47	222	3	10～29
2017	7	1～2	派遣先において自動車部品の製品を鋳造作業中、製品を金型から取り出した際、半固形だったため、溶けた材料が安全靴の中に入ってしまったため、左足を火傷した。	19	521	11	50～99
2017	7	14～15	派遣先において、中二階の床の清掃作業後、脚立から降りようとしたところ、脚立の劣化によりネジが外れ、2mの高さから転落して負傷した。	41	371	1	500～999
			派遣先において、商品が積まれたパレットへのラップ巻き作業中、最後に製品の上を覆うため隣のパレットとの間を通った際、				

2017	7	16～ 17	パレットの穴（フォークリフトの爪を差す部分）に右足が引っ掛かり転倒した。その際、ラップの芯を握ったまま右手から床に倒れたため、右手中指と環指の第二関節辺りを負傷した。被災当日は、痛みが治まると判断し様子を見たが、痛みが悪化した。	50	379	2	100～ 299
2017	7	10～ 11	敷地内倉庫にて、木製合板をフォークリフトのツメに載せて庫内から引き出す作業補助を手作業で行った際、少し前進したフォークリフトのバックレストと木製合板の間に左手を挟んでしまった。	55	222	7	50～ 99
2017	7	7～8	派遣先にて、入り口背後から番重をのせる台車が積んであるカートを移動させていたところ、入り口の下駄箱付近で長靴に履き替えようとしていた被災者とすれ違った。その際、地面に段差があったためカートが斜めに傾き、台車が崩れ、被災者の臀部に落下した。	76	379	5	300～ 499
2017	7	16～ 17	トラックのさび取り作業中、荷台のあおり（後方の荷台の囲い・上下に開閉する部分）の蝶番が外れ、左足に落下した。	62	221	4	30～ 49
2017	7	19～ 20	就業先の機械チーム内にて、管理板を片付ける際、本来は通行禁止である単発機と単発機の間を通り抜けたときに、足元のエアホースか何かの管に足を引っ掛け転倒し、左腕と右膝を強打し負傷した。	59	417	2	100～ 299
2017	7	12～ 13	患者を案内するためにエレベーター前に集めていた際、患者の車椅子フットレストに躓き転倒し、床面に右膝を打って受傷した。	67	362	2	100～ 299
2017	7	16～ 17	社内倉庫で書類を探していた際、書類が入ったダンボール（A4、500枚束×10束）を足元から持ち上げたとき、腰に痛みがはしった。	42	611	19	500～ 999
2017	7	14～ 15	オフィス内のサーバールームで、保管してあるサーバーに付いている番号を書類と目視で確認した。不安全な環境ではないが、サーバーがたくさん保管しており、高所にもサーバーがあるため、上を向いて目視する場合もある。当日は、作業が長引いたの	37	921	19	500～ 999

			で長時間上を向く作業姿勢をとっていたため、首に負担がかかった。				
2017	7	9～10	被災者は、請負現場である倉庫内で荷卸し作業に従事していた。コンテナからパレットへ段ボール（5～6kg）を降ろした際、腰をひねって痛めてしまった。現場責任者に確認したところ、扱っていた荷物は1～2kgで、無理な体勢を取ったり、業務負荷はなかった模様である。就業から1時間で痛みを訴え、そのまま歩いて早退した。	61	611	19	50～99
2017	7	17～18	被災者は（以下「甲」という）、当日の派遣先において、ワインのラベル貼り及び入荷積替え業務に従事していた。甲は配送準備のため、ホーム上で20ケースのワインが積まれたかご台車をプラットホームの停止線まで移動させ、甲自身がホーム下に降りて地上からホーム上のかご台車をホーム際ぎりぎりまで移動させたところ、かご台車の車輪が脱輪して落下し、負傷した。	49	362	4	30～49
2017	7	15～16	施設内の居室で利用者が大声を出し、車イスに座った状態で義歯を片手に、もう一方の手にコップを持って大声を出しながら振り回し暴れていた。居室に入り扉を閉めて、声かけしていると隣の部屋の入所者が入ってきて、二人で言い合いにならないような大声のやりとりになってしまった。フロアには他のスタッフがいないため、隣の部屋の利用者にその部屋から出てもらおうと後ろを向いた際、両足で右膝裏辺りを蹴られた。	44	911	90	1000～9999
2017	7	15～16	工場内2階作業場にて、ソースの小袋を外袋に入れるプレス機にて、外袋が汚れていたためにそれを直そうとしたところ、動いたプレス機に右手親指を挟み受傷した。	48	169	7	1000～9999
2017	7	10～11	個人宅にて引越しの荷物の搬出作業中、ダンボールを二つ重ねて（重さ合計8～10kg）運んでいたところ、抱えたダンボールで視界が悪かったため、エントランス部分の段差（14～15cm）に気づかず躓いてしまい負傷した。	42	417	2	50～99

2017	7	4～5	高速道路上で車両が故障したため、発煙筒をつけようと車外に出たところ、後続の3tトラックが車両に追突され、追突された車両がドライバーに接触し、怪我を負った。	31	221	17	300～ 499
2017	7	19～ 20	病院で勤務中に、病室でベッドの位置を調整しているときに、ベット頭に掛けてあった酸素ボンベを外し、壁際の床に立てて置いた。位置調整を終了し、ボンベを取るため振り向いたとき、ボンベが左足親指に倒れてきた。	55	379	6	300～ 499
2017	7	15～ 16	当社工場、大型プロペラシャフト組立ライン塗装工程において、流し台に2本セットされたプロペラシャフトを生産位置まで駆動コンベアーで搬送中、左側に傾き落下しそうになり、咄嗟に左手でプロペラシャフトを支えたときに、コンベアーの板とワークの間に左手指を挟んだ。	20	224	7	100～ 299
2017	7	9～ 10	バームクーヘンを裁断後、次の作業として刃を移動しようと押さえていたところ、刃が手に当たり負傷した。	47	391	8	100～ 299
2017	7	8～9	トラック荷台の部材運搬中、後ろ向きに移動していた際、足元に落ちていたロール材を踏んでしまいバランスを崩し、後ろへ転倒した。	28	529	2	500～ 999
2017	7	10～ 11	当社介護付有料老人ホーム1階入浴室にて、派遣従業員が入居者の入浴介助（中介助）についていたとき、次に入浴する方のために浴室用チェアを洗い移動しようとした際、後方部に付いている金具部分に右足第4指を強打し負傷した。	35	379	3	100～ 299
2017	7	8～9	利用者を追いかけていた際、目の前に椅子があったため、中腰で椅子をどかさそうとした際に腰に痛みがはしり、そのまま立てずにしゃがみこんだ。	45	379	19	10～ 29
2017	7	20～ 21	勤務時間の休憩時、1棟2階作業現場から1階の休憩所へ移動中、階段から降りる際、一時的に貧血症状で意識を失い転倒し、階段中段の踊り場まで転落し受傷した。	27	413	1	500～ 999

2017	7	9～ 10	派遣先薬局で、配送されたコピー用紙（A4、500枚×10冊入、約20kg）の段ボールを運んでいた。薬局の廊下に下ろそうとしてしゃがんだ時とき、腰に痛みがはしり受傷した。受傷後、痛みはあったが終業時間まで勤務した。	38	921	19	50～ 99
2017	7	9～ 10	工場内でアルミ製品（自動車用サンルーフレール）を機械にセットし、曲げ作業を行っていた。機械の動作中、製品を取り出すため、製品上部から手をかざしていたところ、製品を固定する万力の本体部と可動部の間に小指の腹を挟んでしまった。そのまま手を引っ込めてしまったために、小指の腹に裂傷ができた。機械動作が終了してから、また、製品の下から手を入れていれば安全な作業であった。	40	159	7	100～ 299
2017	7	17～ 18	工場内で、厚さ1cm・直径1.5mサイズのステンレス製の板をステンレス加工機まで運ぶため、別の工場作業員と2名で持上げたとき、右手を滑らせてしまい、右手の親指の付け根に直撃し、損傷した。	41	521	4	100～ 299
2017	7	11～ 12	工場内道路を自転車で走行中、道路を横断するグレーチングに幅35mmの隙間があり、自転車の前輪が引っ掛かり、バランスを崩して転倒した。そのときに右足首を捻って倒れ、右足首を骨折した。被災者は、ヘルメット・安全靴を着用していた。	28	362	2	100～ 299
2017	7	9～ 10	派遣作業員として、成形機械のオペレーションおよびバリ取り作業などに従事していたとき、床に高低差のある配管カバー上で、誤って滑り、転倒してしまい、左腕を床に打ちつけた。	40	417	2	300～ 499
2017	7	12～ 13	食品製造に関わる作業のため、当初より手袋を着用して業務にあたっていたが、仕事を始めてから2週間程経過した頃より、両手の甲の部分に湿疹が出始めた。最近になり、症状が進行し広範囲になったため、休業に至った。	47	379	90	30～ 49
2017	7	8～9	派遣先工場内にて、ラインで流れてきている商品がプレス機械に溜まってしまい、どこかそうとして機械の可動部分に手を入れたと	52	169	7	100～

			き、誤って手をぶつけ負傷した。				299
2017	7	1～2	台車（縦約160cm、横約80cm、高さ約160cm）に荷物（重さ約70 kg）を載せて運搬作業中、左手で1台を押し、右手で1台を引きながら、2台を同時に移動していたとき、前方にあったパレットに押していた台車が衝突し、引いていた台車が玉突き衝突となり、右手親指を台車の間に挟んで挫創した。	55	362	7	10～ 29
2017	7	2～3	工場内で使い終えた治具を2階倉庫へ戻し、階段を降りて持ち場へ戻ろうとしたとき、下から3段目の階段の滑り止めに躓き、体勢を崩して滑り落ちた。その際、階段に腰を打ちつけ、体勢を崩したままの状態で、咄嗟に床に足を着き、腰と左足首に受傷した。	43	413	1	30～ 49
2017	7	14～ 15	加工場にて冷凍鰹をグラインダーで整形中、メッシュ手袋着用を怠り、誤って左手親指を回転盤に接触させ、裂傷を負った。	30	165	8	300～ 499
2017	7	11～ 12	店舗厨房内にて、ガスコンロを使用して鍋に入ったカレーソースを仕込み、洗い場にて食器の洗い物をしていた。その際、厨房内に換気扇が1つしかなく、炊飯ジャーの蒸気やフライヤーの熱気の影響で、厨房内の温度は大変高い状況であった。さらに、入社したばかりで緊張していたこともあり、水分補給を怠ってしまったため、倦怠感と筋痛の症状が出て救急車で搬送された。	57	715	11	300～ 499
2017	7	15～ 16	工場内塗装ラインの2階エアブロー室から1階へ行くため、階段を降りるときに、手すりに手をかけながら降りていたところ、不注意から中腹辺りで右足かかとを滑らせ、バランスを崩し、右足で一段下に着地した。その際、右足外側から接地したため、右足首と右膝を捻ってしまった。階段の状況：角度約45度、8段手すり有り、滑り止め有り 靴：安全靴	55	413	1	1～9
			鋼材（φ 53、L5700mm、W96kg）を開束する際、使用途中の鋼材が転がり落ちないようにしようと、左手で支えながら右手で開束した。その際に、使用途中の鋼材が左手の上に落ち、搬送台と鋼材				

2017	7	9～ 10	に薬指が挟まれ怪我をした。作業者は、開束の際は手を入れてはいけなと教育されていたが、事故のときは作業を進めようと焦っていて、手を出した。使用途中の鋼材も通常では後端に合わせる決まりになっていたが、使用途中の材料の長さを後端に合せてしまうと、2点吊りクレーンの片側でしか吊れず、2点吊りのクレーンで安全に吊る為に中心近くになっていた。	41	521	7	30～ 49
2017	7	16～ 17	派遣先にて、シャンプーの充填作業に従事中、その日の作業を終えて作業場周辺の清掃で、タンクから充填作業場までシャンプーを送るためのホース（直径約7cm、高さ約50cm）を跨いだとき、床に這わせてあった同様のホースに躓いて転倒した。転倒の際、全身をコンクリート製の床面で強く打って受傷した。	60	417	3	100～ 299
2017	7	10～ 11	穴あけ機械の作業台で、完成品をパレットへ移動させている作業中に、地場への足の置き方が良くなかったため、右足中指を骨折した。	38	416	3	30～ 49
2017	7	15～ 16	病院屋上の洗濯物干し場で、洗濯物を取り込む際、強風にあおられた大判タオルに右足が引っ掛かり転倒し、右足小指を骨折した。	60	379	2	100～ 299
2017	7	4～5	夜勤作業終了時、工場屋内の階段を2階から1階へ手摺を掴み降りている途中、足を踏み外してしまい2～3段滑り落ち、お尻付近を階段ステップに打ちつけて負傷すると同時に、手摺を掴んでいた左手も捻ってしまい負傷した。	56	413	1	50～ 99
2017	7	12～ 13	公団BOX枠組付け溶接工程において、台座に切断材料をセットし、起動ボタンを押した。材料のセット状態を確認したとき、材料が乗り上げていた。以前、その状態で作業を続行し機械の故障をまねいたため、咄嗟に自動運転中にもかかわらず、機械の中に手を入れてしまった。その結果、クランプと材料の間に右手親指が挟まった。	25	159	7	50～ 99
			飼料納入後、タンクから梯子をつたって降りるときに、右足で接				

2017	7	7～8	地面を探りながら着地しようとしたが、ちょうどそこが側溝になっていたため、地面との距離感が計れず、バランスを崩して転倒し、左腓骨を骨折した。	39	371	1	1～9
2017	7	2～3	第1工場内アダプターラインで、通常作業中、1工程にワークをセットするため、素材パレットからワークを取出すとき、工場の開いている窓から侵入した蜂が飛んで来て、作業着の上から右腕脇下を刺した。	48	719	90	300～ 499
2017	7	18～ 19	自動車ガラスの部品組付ラインで、パレット内の完成品ガラスの検収をしているときに、次のパレットを流そうとしたが、パレットが斜めになっており動かなかった。被災者自身で解決しようと監督者を呼ばずにシューター内に入り、パレットを引っ張ったところ、急にパレットが流れてきて、咄嗟に手で押さえようとしたため左足が出てしまい、パレットとシューターに左足を挟まれた。左足踵辺りが腫れ上ってきたので病院を受診した結果、左足関節外果骨折と診断された。	24	391	7	30～ 49
2017	7	14～ 15	ホイスで、ラインから流れて来た製品を台車に積み込む際、安全のためにボタンを押さないかぎり開放しない仕組みになっているが、操作ミスにより、製品を右足の甲の上に落とした。	52	211	4	30～ 49
2017	7	8～9	派遣先にて、和菓子の検品・梱包・箱詰め作業に従事中、製品を入れる段ボール箱（約70cm×40cm）を持って箱詰めの工程へ移動する際、足元が死角になるため、運搬用パレットに気付かず右足を躓いた。転倒しないように左足で踏ん張ったとき、左足を捻って受傷した。	54	417	2	100～ 299
2017	7	9～ 10	本社工場より、工程移管のため、受傷者は仕入先製作所のVラインにて、定置スポット溶接機のトライを行っていた。マグネット付上部電極にパイプをセットしようと、右手親指と人差し指でパイプを保持していたとき、体がよろけて足元にあったフットスイッチ（カバー付）を踏んでしまい、上部電極とパイプと一緒に	45	339	7	50～ 99

			下降し、下部電極の間に右手中指先端を挟み受傷した。				
2017	7	12～13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ1m）し、右足の甲を負傷した。	39	522	4	100～299
2017	7	17～18	業務終了間際に行う点検業務として、ポンプ室の室内点検中、室内にある高さ30cmの踏み台に乗り、ポンプの電源が入っているか配電盤を確認をしていたところ、乗っていた踏み台が不安定だったため、重心を前に移動させたとき、踏み台がぐらつき、前のめりに転倒した。その際、倒れた踏み台が左足の脛に当たり、負傷した。	47	371	1	50～99
2017	7	15～16	品質検査の業務中、漏れ試験機を使用して、検査を通常通り行おうとした際、製品が通常的位置からずれてしまったため、元の位置に戻そうと装置を上げずに製品を取り出した。その際、上下の円柱の間に右手人差し指が挟まれ受傷した。	53	169	7	100～299
2017	7	9～10	工場内において、縦型仮置ラックに完成品を置く作業中、右膝でガラスが倒れるのを防ぎつつ、保護用の紙を挟んでいたところ、ガラスが倒れそうになった。足で支えようとしたが、右足が滑ってラックの隙間入り、右足を捻ってしまった。その際に右アキレス腱が伸びてしまい、約2週間の治療が必要となった。	22	921	19	100～299
2017	7	13～14	高さ80cmの所に置いてある、材料の入ったダンボール箱（1辺40cm前後のほぼ立方体、重量6kg程度）を、使用材料置場へ移動させようとしたときに、左肩と腰を痛めた。	45	611	19	100～299
2017	7	15～16	工程間で台車の交換作業終了後、次工程に行こうとしたが、作業指示パトランプが点灯していなかったため確認しようと歩行したとき、台車の牽引フックを十分に回り込んだと思い込んで、足元の注意が疎かになってしまった。そのため左足を牽引フックにかすめてしまい、バランスを崩し、右足膝部を床に強打し負傷し	40	229	2	100～299

			た。				
2017	7	5～6	作業場にて積込み作業中、薄暗かったためフォークリフトの爪に躓き、作業台に左脇腹を強打した。	45	222	2	300～ 499
2017	7	17～ 18	構内にて、荷物の入ったコンテナを移動中に置き場所に迷い、中腰の上体を続けていたところ、腰に痛みを感じた。	67	611	19	100～ 299
2017	7	15～ 16	就業先ビル内の階段を、咳をしながら3Fから2Fへ下りる際、バランスを崩して転倒し、左手首を骨折した。	51	413	1	1000 ～ 9999
2017	7	14～ 15	デイケアフロア内で利用者の前で、レクリエーションとして、スタッフと腕相撲をしていて、左腕を骨折した。	35	911	19	50～ 99
2017	7	8～9	労働者派遣先にて、糸管に巻かれている余分な糸を専用カマで切断する作業を行っていたとき、糸管にカマが引っ掛かり、力づくでカマを引き抜こうとしたところ、勢い余って添えていた左掌に刃部が接触し負傷した。	19	364	8	100～ 299
2017	7	14～ 15	トイレへ向かうため、階段を降下中、足を滑らせ転倒した。	34	413	2	500～ 999
2017	7	8～9	ホテル出発直後、バス車内にて朝の挨拶終了後、着席する直前のタイミングでの急ブレーキにより、前方に転倒し、右手薬指を負傷した。	52	231	19	50～ 99
2017	7	7～8	下山時8合目を過ぎた岩場を下っていたとき、岩場に靴を挟まれて頭から転倒した。山岳ガイドに応急処置を受けたが、業務を継続することができなかったため、お客様はもう1名の添乗員に任せて（当該ツアーは添乗員2名同行）、5合目まで自力で下山し、そこで待機していた救急車で病院に搬送された。右上腕骨、及び、頭（おでこ）に傷と腫れの怪我を負った。	33	711	1	1000 ～ 9999
			介護施設での介護業務に従事中に発生したものである。施設入居者の排泄介助が終わって、自身の左側にある車椅子に便器から移				

2017	7	15～ 16	乗させようとした際、全く力の入らない入居者の全体重を支えることによって、自身の膝に負担がかかり、支えながら方向を変えるとき、左膝を捻るような体勢となったところ、左膝を負傷した。	41	921	19	500～ 999
2017	7	14～ 15	運転中にエアコン操作をしようとした際、誤ってハンドルを左に切ったため、道路左側の縁石に接触して右にハンドルを弾かれた。慌てて左にハンドルを戻したところ、そのまま歩道に乗り上げ、街路樹・カーブミラーに接触し、その衝撃でエアバッグが破裂した。その際の爆発で右手首に火傷・打撲、また衝突の衝撃で両脚膝部と腰部等に打棒を負った。	70	231	17	1000 ～ 9999
2017	7	14～ 15	工場内において、ダボ打ち機を使い、木材（10cm四方）の加工中、同材に左手を添えて木材を押さえるためワークボタンを押したとき、下降してきたクランプと木材の間に誤って左示指を挟んでしまい負傷した。	34	169	7	50～ 99
2017	7	8～9	段取り替えの治具の交換中、通常はエアーホースを抜き、治具の交換をするが、誤ってエアーホースを差したまま入れ替えを行った。間違って右手がレバーに触れたため、機械の一部が動き出し、左手の小指が挟まれ負傷した。	43	169	7	100～ 299
2017	7	1～2	介護施設で入居者の介護時、車椅子への移乗や衣類、寝具、更衣、体の接触を介し感染した。	64	911	90	100～ 299
2017	7	20～ 21	派遣先の貨物仕分け上屋C棟にて、貨物の入ったCMP（台車）を押して移動させようとして、両足を踏ん張ってCMPを押し始める際に、右足が背後のCMPの下部に当たった状態でさらに力を入れたところ、足首を捻り負傷した。	39	921	19	30～ 49
2017	7	15～ 16	工場内でクレーン（2.8t）で品物を移動する際、H形鋼（1.2t）を吊り上げる前の状況確認を怠り、左手にコントローラーを持ち、右手で吊り材（クランプ）と玉掛けワイヤーの連結部を触っていたときに、利き腕ではない左手で上ボタンを押して右手の指を挟	28	211	7	10～ 29

			んだ。				
2017	7	14～ 15	焼きそばのミキサー作業において、ミキサーの清掃作業を行っていたとき、生地が奥に残っていたため、蓋を閉めて寸動ボタンを押した。そのまま蓋を開けたところ、機械は止まったが惰性で回っているところに手を入れてしまった。	51	165	8	100～ 299
2017	7	23～ 24	派遣先より、駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	37	231	17	500～ 999
2017	7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	231	17	500～ 999
2017	7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	30	231	17	500～ 999
2017	7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	51	231	17	500～ 999
2017	7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	51	231	17	500～ 999
2017	7	7～8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	391	3	100～ 299
2017	7	21～ 22	ドライヤーの挿口において、敷定板をリフターに2枚重ねて載せる際、敷定板がずれてしまい、それを不安定な体勢のまま右足で押したときに、右足のふくらはぎに肉離れを起こした。	51	229	19	100～ 299
2017	7	14～ 15	堰折場でオシレート上の製品を解く作業をしていたとき、オシレート（高さ70cm）上に詰まった製品があふれて、製品（重さ18kg）が甲力バー付き安全靴の上に落下した。	46	521	4	50～ 99
2017	7	15～ 16	病院の病室内にて、患者の排泄介助（おむつ交換）をしていた際に、右手親指に痛みがはしった。その後、痛みを我慢しながら就業していたが、痛みになえられなくなった。	37	911	19	50～ 99
			パイル脱型場で、パイル母型に付属する継手取付板（φ 80cm、重				

2017	7	9～ 10	量50kg位) を転がして移動していた際、床にワイヤーがあったがそのまま転がしたところ、ワイヤーに乗り上げて傾き倒れ、足を挟まれた。	33	521	7	100～ 299
2017	7	11～ 12	110tプレス部署において、鉄パイプのプレス作業中、通常はプレス機から加工が完了した鉄パイプが、内部の払い出しシリンダーにより40cm程度機械の外に押し出されるため、それを取り出す作業を行っていた。受傷当時は数センチのみ鉄パイプが外に押し出されており、内部で鉄パイプが引っ掛かっていたため、非常停止ボタンを押して上長を呼ぼうとしたとき、鉄パイプが急に飛び出し、右の手の平に当たり受傷した。	55	521	6	10～ 29
2017	7	1～2	ライン作業が終了し、設備の掃除をしているとき、掃除対象のローラーの汚れが気になり、下からタオルで拭き取ろうとしたところ、タオルが稼働しているローラーに挟まり、タオルを持っていた右手の親指と人差し指がローラーに巻き込まれた。	56	121	7	100～ 299
2017	7	14～ 15	スチール事業本部第二工場にて、フットボタン式のスポット溶接機で、ナットを製品に溶着する加工作業中、製品を加工機にセットし、ナットを右手でセットしている最中に誤ってフットボタンを足で踏んでしまった。その際、右手を加工機から抜くのが間に合わず、機械に右手親指を挟んで負傷した。	28	339	7	30～ 49
2017	7	10～ 11	派遣先にて商品の仕分け作業中、パレットの奥にダンボールを置き、後ろ向きのままパレットから降りようとしたとき、左足つま先をパレットの隙間に引っ掛けてバランスを崩してしまい、右膝をパレットに打ちつけて痛めた。	37	379	2	100～ 299
2017	7	13～ 14	骨付きもも肉を機械に掛ける作業中、機械の奥に骨が詰まったので、手を入れて取り除こうとした。本来機械の異常が見つかった場合には、社員を呼ぶか、機械を止めることがルールで決められていたが、生産性を重視する雰囲気の中、機械を停止することができず、さらに防刃手袋を着用している左手ではなく、右手を入	62	165	7	500～ 999

			れてしまったので、刃部分が手の甲に触れ、腱を断裂することとなった。				
2017	7	11～ 12	労働者派遣先である工場内にて、クリーニング済みのシーツや衣類を畳んでいたとき、目眩・頭痛・足のしびれ等が発生し、熱中症と診断された。	54	921	90	300～ 499
2017	9	18～ 19	工場にて、キャラメル製造機のちねり機という機械での作業中に、指を挟まれ出血・腫れの症状で夜間病院にかかる。ちねり機とは、キャラメルをねじ切り、それを包装紙で包む機械になっている。包装されたキャラメルをスタッフが指で落とさなければいけないのだが、その指で落とす工程の中で、機械の爪に手袋が挟まり指が巻き込まれる。	25	165	7	100～ 299
2017	9	10～ 11	被災者は、営業所の施設敷地内で、トラック荷扱（トラックの荷台（高さ約70cm）に昇降して検査用の米を採取する作業）中に、トラックの荷台から降りる着地時に左足を骨折した。	44	921	19	50～ 99
2017	9	14～ 15	商品の棚出しのため、入荷した商品のダンボールを運んで下す作業をしている際、腰に痛みを感じた。	41	921	19	100～ 299
2017	9	17～ 18	原料加工ラインの計量場に材料を保存する為のビニールを取りに行った。ビニールは薄暗い所においてあり、置き場所がわかっていない為に電気はつけなかった。その時に濡れていた床に右足をすべらせ転倒した。その際に右ひじを強くつき、右腕があがらなくなった。	52	416	2	100～ 299
2017	9	3～4	派遣先構内1階クリーンルーム3工区で発生。作業者が生産保全業務に従事していた際に、装置の異常発生について連絡を受け派遣先リーダーと共に対象装置WC051F（裏面洗浄装置）に出向き装置内の薬液飛散及び装置外床面に漏れを確認し、リトマス紙での成分確認で強酸（硝酸、フッ化水素酸）であったため、危険と判断し装置を停止させ装置周囲に三角コーンで立入禁止の措置を行っていたところ、周囲で対応していた複数作業者が目や喉に異	34	514	12	100～ 299

			変が生じ救急車要請した。				
2017	9	15～ 16	派遣先にて就業中、パートの人と作業中、パートの人がしゃがんで、タバコをピッキングする作業をしている後ろを通った際に、パートの人の後ろポケットに、作業で使用するヘラが入っており、そのヘラが足にあたり怪我をした。すぐに病院を受診し、5針ほど縫合した。	22	364	3	100～ 299
2017	9	6～7	被災者が工場裏の出入口シートシャッターで工場内から外へ出るとき、シートシャッターが閉まりウエイトバーに頭をぶつけた。洗浄したクレーを積む台車が不足していたので、2名で外側から台車搬入作業を行っていた。その際、通常のシャッター開閉ではシャッターが閉まることはないが、連続作業していた為、シャッターの開きが悪く被災者が非常用スイッチを使用した。しかし、非常用スイッチは時間制の為シャッターが閉まってしまう。その時、被災者が入った為ぶつけてしまった。安全装置が働きすぐシャッターは開いたが、頭部をぶつけた。事故後、安全装置の確認（正常であった）非常用スイッチの使用について指導した。	54	418	6	100～ 299
2017	9	10～ 11	派遣先の工場内のクレープ製造ライン上で、トレーに足を引っ掛けて転倒し受傷した。	48	362	2	30～ 49
2017	9	9～ 10	品物である（1m50cm×1m）の鉄板を左手で持ち上げた際、バランスを崩した、品物が不良品にならない様にバランスを整えた所、鉄板が左脇腹にぶつかった、その際、ゴリッという音がし、一時痛みが治まらず息も出来ない状態で床にしゃがみ込んでしまった。痛みが和らいだので仕事を続け帰宅、帰宅後痛み止めを飲み湿布を貼った、次の日、同じ箇所をぶつけてしまったが、忙しさもあり、我慢をして仕事を続けた。	51	521	6	—
2017	9	14～ 15	派遣先にて、リベットかしめ機で作業中に、手元を見ずに機械を起動させてしまい、その際にプレス部に指を挟み、右手親指を負傷した。	39	159	7	300～ 499

2017	9	9～ 10	派遣先の就業場所1Fにある印刷機の分解・洗浄をしており、専用 手袋をせず刃物をきれいにしようと拭き取った際、人差し指が滑 り左手指を負傷した。	22	166	8	500～ 999
2017	9	5～6	派遣先の指示により出張中、宿泊先から出発時、バスの中で朝食 を食べるために、ホテル近くのコンビニへ行こうとした。徒歩10 分程度かかるためホテルの方より自転車を貸すと言われ、自転車 にてコンビニへ向かい、コンビニの駐車場に止まった際にバラン スを崩し左へ転倒、そのまま病院へ行き骨折と診断された。	55	362	2	300～ 499
2017	9	13～ 14	上記日時、職場構内で休憩時間に、休憩場所へ向かう途中、運搬 中のフォークリフトパレット先に、ふくらはぎ下部をぶつけ、痛 めたものである。	59	222	6	100～ 299
2017	9	14～ 15	派遣先の1階工場内作業現場で、ロボットアームのモーターの螺子 締めと検査を行い、その後当該モーター（5kg程度）を脇の箱に 移す作業を繰り返し行っていたところ、左腕に腱鞘炎を発症した ものである。	31	612	19	30～ 49
2017	9	9～ 10	トラック輸送業務の為、工場内に大型車を停め運転席を正面にし て後ろ向きで降車する際、左足をステップ置き、右足を運転席側 からずらして次のステップへ移動させようとしたものの、足を ひっかけてしまいバランスを崩し1.5m位の高さ腰から地面に落下 する。地面に強く打ちつけ身動きが取れず、救急車にて搬送し治 療を受ける。意識は有り脳に異常などは見られなかったが身動き が全く取れない為、そのまま入院になった。	47	221	1	30～ 49
2017	9	8～9	ライン脇で作業用台車の往来を避け位置を変えながら作業見学を 行っていた。作業用台車が近づいて来た為、パイプ組棚②を回っ て元の位置へ戻ろうと移動した際、最下部に置いてある金属パイ プ先端が右足作業ズボンに引っ掛かりバランスを崩し左前方へ転 倒。左側にあった部品組棚③の支柱（上から3本目の横支柱、長 さ約1.5m、高さ約1m）にヘルメットの左側頭部と眼鏡が衝突し	40	391	2	100～ 299

			た。				
2017	9	10～ 11	派遣先である倉庫内にて、ゴミ箱用のダンボールが並んでいる通路を歩行中、足がダンボールに引っかかってしまい、転びそうになり踏みとどまろうとしたが通路が狭かった為、バランスを崩し両手を突いて転倒した。転倒した先にパレットに積まれていた冊子にあごをぶつけ、地面に左ひざ、右ひざをぶつけ受傷した。	41	611	2	30～ 49
2017	9	9～ 10	被災者は飲料パレットのケース投入作業を行う際、ベンダー操縦士の自主荷役による商品パレットがホームの端ギリギリに置かれている状態の商品をホーム際で投入開始。体勢を整える為、左足を下げた所、バースから踏み外し、足とおしりが同時に地面へ着地した際、おしりを痛めた。	18	416	1	30～ 49
2017	9	14～ 15	派遣先のプラットホーム上にて、荷物の仕分け作業中、ダンボール（60cm×25cm×120cm、重さ約5kg）を運んでいた所、運んでいるダンボールで視界が遮られていた為、他の荷物に当たった反動で、プラットホーム上から転落した（高さ約100cm）際、右足を負傷した。被災当日は、痛みはあったものの大した事は無いと思いそのまま作業を続けたが、翌日痛みが酷くなった為、受診した。	57	611	1	100～ 299
2017	9	13～ 14	タッカー（針で固定する工具）を使用して、ベッドの枠付け作業をしていたところ、タッカーで右手人差し指を貫通した。	36	379	4	100～ 299
2017	9	13～ 14	しゃがんでチョコレートの廃棄物を段ボールに捨てる作業を終え、立ち上がった際、右膝に痛みが走り、そのまま痛みが引かず膝を曲げることが困難となる。	55	921	19	300～ 499
2017	9	19～ 20	病院の洗い場で、洗浄された食器が入っているカゴを乾燥機に入れる作業をしているとき、次々とカゴが流れてくる環境に、カゴを溜められない状態があって、急いでしまい乾燥機の内枠に左手甲を強打してしまった。痛みを我慢して勤務していたが、5日経っても痛みが引かなかったため、受診したところ亀裂骨折の診	56	391	3	500～ 999

			断が出た。				
2017	9	9～10	倉庫内に於いて、トラックに積む荷物をリーチフォークで持ち上げ後退した際、後ろに止まったリーチフォークと接触、リーチフォーク外に出していた左足が挟まれ病院に行く怪我をした。	32	222	7	50～99
2017	9	10～11	石畳の上をパンプスを履いた状態で歩く業務を継続して行ったことで、疲労が蓄積し怪我に至る、骨に異常はないが足首関節の炎症、水を持って腫れている状態となり湿布とサポーターで療養した。	39	921	19	10～29
2017	9	7～8	船倉内でコイルの検品中に1段目コイル上から体勢を崩し船底へ転落した。	38	521	1	100～299
2017	9	11～12	保育園の2階ホールで、障がい児を1名保育していた時に発生する。障がい児を巧技台とマットで遊ばせようと思い、マット整理ワゴンから掛けてあったマット（90×180×厚さ5m、重さ10kg）を出そうとした時バランスをくずす、よろけてしりもちをついた時にマットを両手に持っていたので、そのまま左手肘を床につく形となる。	22	413	19	1000～9999
2017	9	13～14	鉄のリール（重量物）を箱から取り出す際に痛みがでた。	20	611	17	1000～9999
2017	9	20～21	コントロール室に於いて、加熱取り出し作業中に、誤ってステンレスのバットに手をぶつけた。直後に痛みは感じなかったが、休憩時に痛みを感じたので、痛み止めを服用し作業に戻ったが、痛みが治まらなかったため、担当者同伴にて退勤した。	53	521	3	50～99
2017	9	14～15	棒材の束（1本5kg、7本）を床から切断機に上げるのにクレーン使用するが、棒材の束のひもが強くクレーンのフックにかからないので、隙間を作るため棒材を持ち上げた時に、腰足の付け根を痛めた、1週間ほどガマンして仕事に出ましたが、痛いので病院に	42	521	19	10～29

			行った。				
2017	9	22～ 23	エンジンから冷却水用ホースを取り外す作業を行っていた。パイプとホースが固着し、抜けにくくなっていたため、ホースを両手で持ち全体重をかけて引っ張った所、ホースが抜け、姿勢のバランスを崩し、後方に転倒しそうになり、右足を踏ん張った際に痛みが走った。	47	391	19	100～ 299
2017	9	20～ 21	業務が終わり、派遣先の車庫にトラックを駐車し、事務所へ戻る為バイク（自己所有・通通勤使用）にて走行していた。片側2車線の道路を走行中、交差している道路左方面より乗用車が自身が走行している車線に右折をして来ようとしているが、乗用車は一旦停車したが当方バイクが通りすぎる前に右折を再開した為、乗用車とバイクが衝突した。救急搬送され、医師より左手・左前腕擦過傷、腰部打撲傷と診断された。	44	231	17	30～ 49
2017	9	13～ 14	太陽光パネルのアルミ枠の外し作業（倉庫内にて）において、パネルの表面に張り付いているアルミを手で勢いよく剥がした際に、手で先端を持たず中間部分を引っ張り、アルミ枠の端が反動で跳ね上がり、左目にそのアルミ枠の先端が当たり損傷した。	47	521	6	50～ 99
2017	9	9～ 10	派遣先の請負先である総合病院で就労中、歩いていたところ躓いて転倒し左肘を強打した。（障害物はなかった）	69	417	2	100～ 299
2017	9	13～ 14	コンバインの刃を新しいものに取り替える為に、コンバインからカッターを外し地面に置いて、新しい刃をインパクトレンチでナットを締める際に、その刃を左手で押さえていたが、少し緩み左手の甲を切傷した。	70	379	8	300～ 499
2017	9	9～ 10	工場内において、端末加工機で銅管の先端を加工中、誤って銅管をセットする右手が残っている状態で加工スタートスイッチを押した為、右手人さし指と中指の2本が加工機に挟まれて負傷した。	67	159	7	500～ 999
2017	9	11～	部品を探すために積み重ねたパレットに上がり探していた時、つまりいて3メートルの高さから落ち、パレットの横に置いてある鋳	47	379	1	50～

		12	物の製品と製品の間に左足を打撲し挟まれ、左足を骨折した。				99
2017	9	10～ 11	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に、右手でナイフを持ち力を入れた所、ナイフの刃が滑り、右中手指関節を捻挫した。	36	921	19	300～ 499
2017	9	8～9	第一工場（A-8）で、ステンレス板（縦1160mm×横58mm×厚1.5mm）を縦10cm毎に切断作業中に、残り短くなった板を切断する為に、内側にある板を抑える部品の認識もなく安全カバーと板の隙間が7mm程度あったため、板を抑えるために手を入れた。板を抑える部品と板に右手中指先端が挟まれた。	48	156	7	300～ 499
2017	9	16～ 17	本社兼店舗内の1階店舗部分にいて、商品の販売部分を担当する事を常として勤務していたが、月末のため5階の倉庫内の商品在庫の確認のため台（アルミニウム製）の上に上り確認作業をしていたところ、アルミ台のストッパーが掛かっておらず、4本の足が滑り左右に広がり真下に転落する事となり、怪我をすることとなった。後は、動くことも出来ず、四つん這いになり鉄扉まで移動して隣室の方に知らせ、救急車を呼んでもらい病院まで運んでもらうこととなった。	32	371	1	1～9
2017	9	14～ 15	センター内にて、足場材の整理作業を行っていたが、フォークリフトの運転者が積荷のスチール製の足場板を荷揚げ作業中に落下してしまい、右足・腰下・太腿・膝に当たり負傷した。	58	222	4	30～ 49
2017	9	10～ 11	ドアから出ようとした際、ドアと棚に指をはさみ、骨折した。	33	419	7	10～ 29
2017	9	14～ 15	工場内で天板からドーナツを抜く工程で、抜き専用台に当てドーナツを抜く際、天板と抜き台に指を挟んでしまった。その後、指は痛かったが自然に治ると思い数日仕事をしていたが、段々と腫れてきた為、病院へ行った。	60	165	7	100～ 299
			派遣先である、製品の内視鏡検査作業に従事中、手直しする製品				

2017	9	1～2	を一時的に置いておく台車が満杯になったので、検査場から選別置場まで、両手で台車を引きながらバックで移動していた為、コンクリート製の床の劣化して剥がれた箇所で車輪がはまって動けなくなった為、抜け出そうと勢いよく台車を引いたところ、バランスを崩して正座状態になった被災者に向かって台車が倒れてきた。被災者は、右に避けたが避けきれず、台車が左臀部に直撃して受傷したものである。	36	362	6	100～ 299
2017	9	11～ 12	味噌詰めした箱を移動させている作業中に痛みが出て来ていたが、作業が一段落したときに激痛が走り、動けなくなった。	46	921	19	100～ 299
2017	9	6～7	入社以来、ハイエース及びコースターの製造職場で、エレカでの部品の供給に従事していた。今般、首の痛みを感じて、通院、診察の結果、頸椎症性神経根症と診断された。	27	921	99	100～ 299
2017	9	17～ 18	配送先が入っているビルの階段で、商品の入ったかごを両手で運んでいたところ、上から下ってくる人とすれ違う為、後ろ向きのまま踊り場まで下がろうと、一段下がったところ、もう一段下に踏み外してしまい、右足小指付近を骨折したものである。	57	413	3	10～ 29
2017	9	15～ 16	被災者は、コンクリートの補修作業を行っていた。午後の休憩を取り、その後片付け作業を始めた。1段目のセグメント上に置いてあった脚立（A）を片付ける為、脚立（B）を使ってセグメントの上に昇った。セグメント上に置いてあった脚立（A）を下ろし降りる際に脚立（A）を使用し下りた。脚立（A）が斜めになっていたことに気付かず、足をかけた際に転倒した。転倒した際に右掌から着地した為、その反動で右肘を骨折、脱臼の怪我を負った。当時、片付け作業を行っていた為、転倒時の目撃者は居なかった。他作業者が片付けた荷物を持って戻ってきた所、うずくまっている被災者を発見、救急車を要請した。	35	371	2	300～ 499
		14～	派遣先本社4階倉庫内にて、中間決算の棚卸し作業中、ゴルフボールやマグカップの入ったケース（17.5kg）を棚から床へ降ろそう				500～

2017	9	15	と手前へ引き出した際に、想像していた以上の重量が腰へ一気にかかり、ぎっくり腰を発症した。	38	611	19	999
2017	9	1～2	工場内でフリーパックの製造をしている時に、製品のエラーを知らせるブザーが鳴った為、急いで対象の製品を取り除こうとして手を出したところ、機械の可動部分に触れてしまい、指を挟まれ受傷した。	47	169	7	30～ 49
2017	9	14～ 15	トイレ介助作業中、利用者の方に手摺を掴んでもらい、利用者を立たせた状態で介助をしていた際、利用者が下がったため両手で利用者の臀部を支えて押し上げた時に、右手首に痛みが走った。	47	921	19	300～ 499
2017	9	11～ 12	車庫構内にて、コンクリート杭の荷役作業をしていた。コンクリート杭の置場にあるバタ角の上に足をのせたら、雨で濡れていて安全靴を履いていたが、滑ってしまい、左足首を捻った。	36	379	19	1～9
2017	9	13～ 14	工場内において、凍結した漬けを入れたトレイ（厚み5cm位）を20段2列（40枚）を台車の乗せ、冷蔵庫から加工場へ搬送途中停車しているリフトと接触、リフト乗務員は被災者を確認した時点で停止していたが、被災者は間に合わず停止していたリフトの爪の先端にのりあげる状態で接触（台車に積んでいたトレイ3～4枚くずれる程度の衝撃）その際、右側にあった3t秤の台に転倒し負傷した。	52	222	6	100～ 299
2017	9	15～ 16	当社派遣先B棟プレス機投入口西側に於いてドライワイパー（床用水切り）を使用して、紐切り済みの新聞をプレス機コンベアに押し込む作業を行っていた。その作業中、左足が紙の上で滑り、左足をひねり尻餅をついて転倒し左足首上部骨折（腓骨の外果付近の骨折とのこと）と診断された。	66	417	2	100～ 299
2017	9	14～ 15	この災害は派遣先である工場内の製造ラインにおいて、タイルが入った箱をローラーコンベアにて左手で手前に移動しようとした時に力が入りすぎて箱を引っぱった為、製造ラインの壁とタイル	49	224	7	30～ 49

			が入った箱の間に左手を挟まれ、その際に左第5中手骨を骨折したものである。				
2017	9	16～ 17	倉庫でバン詰作業終了後、作業員がコンテナを閉めようとしたが閉まらなかったため、クランプリフトでコンテナのドアハンドルを押して閉めようとした。その際、被災者が左手でドアハンドルを持ってクランプで押し、ドアハンドルをフックに掛けようとした時クランプがずれて、左手親指がはさまれ負傷した。	68	222	7	50～ 99
2017	9	15～ 16	ミキサーボール洗浄の為、ミキサーボールを台車に載せ、右手で台車を押しながら左手でミキサーボールを抑えていた。台車の車輪が床の穴にはまって転倒しそうになり、横にあった他の台車に体を支えようとした際、転倒した。その時、左手親指がミキサーボールを台車の間に挟まり、受傷（骨折）した。	61	362	2	—
2017	9	9～ 10	午前中に派遣先にて、タマネギのボイル作業中、大きなボイル釜の機械から、茹で上がったタマネギをザルにあげる際、右足を滑らせ、尻もちをついた拍子に、釜に残っていたお湯が手首にかかり、負傷した。	42	519	11	100～ 299
2017	9	13～ 14	冷蔵倉庫内で、カゴ車を移動させていたところカゴ車の端に踵が挟まった状態でカゴ車を動かしてしまい、右足首と右ふくらはぎがカゴ車と床の間に挟まった。	33	362	7	500～ 999
2017	9	8～9	朝礼の場所から自分の作業場へ移動する際に、左足首を捻った。	40	417	3	100～ 299
2017	9	9～ 10	肘付き椅子を利用し、収納庫の上に上り、壁に設けてある、月、日、曜日の札をその日の分に取り替え作業で、取り替えを終え、収納庫の上から後向きで降りようと、右足を椅子にかけたが、かけそこねて転落、右背中を椅子の肘で強打し骨折した。	47	417	1	100～ 299
2017	9	8～9	派遣先にて、2階の接待部屋を出る際に、入室をする方とぶつかりそうになったため、避けたところ、段ボールにぶつかり、無理な体勢になってしまい、右側の股関節を痛めてしまった。	22	529	3	300～ 499

2017	9	0～1	自身の現場へ向かう歩行中、構内通路の油の拭き残しで右足を滑らせ転倒。転倒時、通路脇に置いてあったパンフレットにぶつかり、左膝を床面に打ち受傷した。	62	417	2	500～ 999
2017	9	13～ 14	自動ロボット生産中、パイプ加工品払い出しの左右の昇降リフトの上昇スピードが違う為、自動運転中スピコン調整する際に、誤って右手薬指が半分位を材料固定クランプに入れてしまい、指先を挟んでしまった。	19	121	7	10～ 29
2017	9	13～ 14	NC旋盤機内に切粉が絡んだため、右手中指で手前に払って落とそうとしたが取れず、その際、右手中指を切ってしまった。	49	521	8	100～ 299
2017	9	23～ 24	電子・電装機器製造部電装機器製造課にて、DC/DCコンバータの製造過程の部品を接着させる作業中、SX720という接着剤を出しやすくするために接着剤の筒を120℃の硬化炉で15分温めた後、右手で取り出す際にカートリッジホルダーと、高温になった接着剤が同腕に接触し熱傷を負った。	38	379	11	300～ 499
2017	9	16～ 17	車での出張帰路中、当事者が後方座席から助手席へ移動する際、運転者が出口付近の車両渋滞で急ブレーキをかけた。その際、当事者が前方のダッシュボード及びフロントガラスに頭部、鼻を強打した。	53	231	17	50～ 99
2017	9	9～ 10	派遣先の営業所の倉庫にて、荷物を積みやすくするために、床に置いたパレットからフォークリフトのパレットに梱包された住宅用タイルを積み替えしていて、タイルを持ち上げたとき、バランスを崩して腰をひねってしまい負傷したものである。	32	921	19	10～ 29
2017	9	12～ 13	派遣社員が、製造部ホルモン工程にて、洗浄したホルモンを入れる為の空箱を台車から台車に移動させる際、誤って足下にある台車に左足を乗せてしまい転倒、肋骨に骨折を負った。	58	362	2	300～ 499
2017	9	9～ 10	派遣先事業所の調理室において、人参の皮剥き作業をしている際に、手が滑ってしまい、人参を持っていた左手親指を負傷した。	26	364	8	100～ 299

2017	9	9～10	巻線機にセットしたコアへ銅線を機械巻きしていた、機械巻き中は何度かコアが高速回転と減速をくり返すが、まだ最後ではない減速中に「回転が止まる」と勘違いして、左手を回転部に持って行き、かつ作業性を良くすると手が痛くならないように手袋を着用していたため、コアを保持している治具に手袋が引っかかって左手が巻き込まれてしまった。このため、小指第一関節欠損、中指脱臼、手の甲の切創をする事故に至った。	49	169	7	30～49
2017	9	0～1	派遣先工場内にて、部品の空箱（1箱）をゴミ箱まで捨てに行く際、小走りで向かった。ゴミ箱直前で停止する事ができず右足首をひねり、右側へ転倒した。	33	921	2	100～299
2017	9	11～12	工場内の3階にある製造ロケーションにおいて、業社専用の製品の入った通い箱（80×45×65cm）を搬入作業中、棚の枠に通い箱が上手く入らず、抱えた状態で身体を捻った際、違和感が生じ、ぎっくり腰を起こしたものである。	33	611	19	10～29
2017	9	1～2	構内作業場で荷物が載った台車を移動中に、前方に荷物が載った台車があり、その台車を避けようとする際、上手く台車の軌道修正が出来ず前方の台車（トッテ部）に接触し、左手小指を負傷した。	56	362	7	30～49
2017	9	8～9	工場内でシャーリング作業中、切断した鉄板が落ちてきて指を挟まれた。	63	521	4	30～49
2017	9	13～14	フィルムにつける接着剤が機械からあふれ出た状態に気づき、派遣先の社員に対応方法を確認したところ、あふれ出た接着剤をふき取るよう指示があり対応、マスク装着等の対応をせずに20～30分程度作業を行っていると感じが悪くなり社員に申し出。作業から離れ職場内パレットの上で休憩をしていたが、回復しなかったため外の空気を吸いにでて休憩するも体の震えや吐き気が出てきた為病院を受診、有機溶剤の吸いすぎによる化学製品中毒症状と診断された。	40	514	12	1000～9999

2017	9	4～5	検品作業をしているベアリングが乗ったプラスチックケースがレーンに流れてきて押し出されるが、先に出ていたケースと出てきたケースの間に左手人差し指を挟み受傷した。	26	379	7	1000 ～ 9999
2017	9	15～ 16	食品工場の製造、下処理現場にて、ベルトコンベアーで野菜の下処理を行っているとき、野菜がベルトコンベアーの刃に詰まった、その野菜を取り除こうとして、電源を切らずにベルトコンベアーに指を入れてしまい、左手中指を切断した。	63	121	7	—
2017	9	11～ 12	納品作業時、トラックへ荷物を積み込む際、米（パックごはん）が積まれたバッカンゲートをすべて積む際に、7～8段積みのもので一気に積み込み、腰を痛めてしまった、当日終業後に、普段通っている整体院に行って診療中に歩けない程の痛みになった。その日は何とか家に帰り、翌日朝起床時に、立ち上がれない程の痛みであった為病院へ行き、医者から「ヘルニア」の為、3～4日の入院が必要との診断を受けた。後日、腰椎捻挫の診断を受けた。	41	921	19	30～ 49
2017	9	10～ 11	携帯電話の試験工程において、ベルトコンベアで運ばれてくる携帯電話を手に取り、コンベア奥に設置してある試験設備（身体から30cm程度離れている）に出し入れをしているとき、腰を痛めた、この時に突発的な原因があった訳ではないが、ベルトコンベアと試験設備の高さ約80cmに対し、身長が180cmと高いために、前屈みでの継続的な作業が腰に負担がかかったため、腰痛症を発症したと思われる。なお、試験工程作業は、入社以降、2、3日に1回の頻度で担当しており、1日の就業時間中に3回の休憩があるが、姿勢を整えるなどのために随時その場を離れることも可能な環境であった。	37	921	19	1000 ～ 9999
2017	9	9～ 10	工場にて、ゴーグル着用せずにサンダーに取り付けたワイヤーブラシにて型枠鉄板部の錆び取り作業を行っていたところ、ワイヤーブラシが破損し、針金状の毛が左目角膜から刺さり、水晶体	49	169	4	100～ 299

			硝子体部分に留まり負傷。				
2017	9	18～ 19	勤務時間内での途中休憩が終わり、バックヤードから階段を使って売場に戻る際に、3段目から足を踏み外してしまい、中段まで滑り落ちてしまった、体を支えるために左手の人差し指を負傷した。	55	413	1	300～ 499
2017	9	16～ 17	食品容器用PETシートのロール状の原反の交換作業において、原反の鉄芯を成形機の固定する溝に2名にて移動中に、通常であれば、全ての指で鉄芯を掴んでいるところ、誤って右手人差し指を伸ばした状態で作業して、固定する溝と鉄芯に指が挟まれ、間隔が狭い為、人差し指を切断したもの。原反の重さは約300kgである。	47	169	7	100～ 299
2017	9	1～2	宅急便の仕分けの構内で、持ち場から荷積み場までロールボックスを引っ張って行き、目的場所に到着する手前で、他方から来たロールボックスと腕が接触したもの。前方確認がそれぞれ不十分であったと思われます。	66	611	3	500～ 999
2017	9	4～5	労働者派遣先である工場4F北ラインにて、現場の備品を移動させる作業を行っていたところ、床が濡れていたりゲル化剤の粉が残存して滑りやすくなっており転倒、後頭部を強打した。	42	417	2	100～ 299
2017	9	9～ 10	柿の選果場で柿を箱詰め作業中、通路をフォークリフトが通過した際、自身の左足がフォークリフトの左後輪に踏まれ受傷した。	47	222	6	100～ 299
2017	9	8～9	充填に使用する一斗缶（油）を台車に載せ、充填タンクまで運搬しようと台車を方向転換した際、一斗缶が台車から滑り落ちそうになった為、とっさに右手で支えようと缶の開け口（フタ）のギザギザになっている部分を持ってしまい、右手（親指を除く4本指）を裂傷した。	46	362	8	1～9
2017	9	7～8	集配車の荷台において荷物整理、積込などの作業中、バランスを崩し荷台から地面に転落したもの。転落時に、頭部・肩・肘を打撲、骨折した。	61	221	1	100～ 299

2017	9	19～ 20	製造機械に併設された、全高60cm、3段の金属性階段を上り、機械上部に置かれた金型メンテナンスに必要な工具を取りにいき、別の作業員へ渡した後、階段から下りる際に左足を踏み外し、落下・転倒。その際に階段の角部分に、自身の体重を乗せた状態で右足が接触、右足脛骨、腓骨を骨折した。	45	413	1	100～ 299
2017	9	10～ 11	業務中、電報棟から本棟へ書類を受け渡しに行った帰り、3階から2階へ階段移動中足を踏み外して転倒、右足を捻って痛みがひどく、そのまま近くの病院を受診、腓骨骨折の診断を受けた。	41	413	1	100～ 299
2017	9	13～ 14	中学校パソコン室横の緩やかな傾斜地の草抜きをしていた際、誤って1mほど下にある溝に落ち、右手首をひねり、左足を強打した。	69	418	1	300～ 499
2017	9	19～ 20	添乗業務を行っていた、お客様を廊下から玄関へ後ろ向きに進んで誘導していた処、階段に気付かず尻もちを付いた、その際変な角度で左手を付いたため、左ひじの下を骨折した。	58	413	1	100～ 299
2017	9	20～ 21	運送会社の仕分け作業場で、台車から荷物をおろす際に荷物が左足に落下した、安全靴をはいていた為、足先は異常なかったが、足の甲を負傷した。	38	611	4	10～ 29
2017	9	15～ 16	工場内仮設事務所に勤務、少し離れた屋外に仮設トイレがあり、雨で土砂降りだった為、トイレの段差をおりる際に滑り、左足をひねった状態で着地、その後、腱かじん帯傷との診断を受けた。	40	419	19	100～ 299
2017	9	15～ 16	炊き出し用の釜のスープの濃度チェックをする為、お玉を取り3段の階段を下りる際、段を踏みはずし転んで、腰と臀部を打った。	64	413	2	100～ 299
2017	9	14～ 15	特別養護老人ホームの入居者とのレクリエーションを見守っていた時、入居者が使用していた風船がフロアに転がったので、それを拾おうとしたところ、入居者の車イスに足を引っかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	53	417	2	50～ 99

2017	9	15～ 16	牛舎にて、安全靴を着用し、鋼管の柵（約50cm）の上り、壁に掛けられたチェック項目表を取り替える作業中、足を滑らせ転倒し、地面で左肘を強打したため、骨折し負傷したもの。負傷日当日は痛みが少なかったため、我慢し就業していたが、帰宅後から翌日にかけて痛みが増したため受診するに至った。	57	418	1	100～ 299
2017	9	16～ 17	並んだパレット間で従業員が積荷作業をしており、フォークリフトで積荷作業が終了したパレットを移動させようとした時に、勢いあまってパレットを前に押ししまい、従業員の足首がパレットの間に挟まれた。	19	222	7	50～ 99
2017	10	14～ 15	派遣先工場内の卵を選別するラインで、通常、入り口と出口付近に触れることはないが、近くに卵の殻があり、本人が気になって取り除こうとした。その際、歯車に指を巻き込まれ、引っ張ってしまい右手人差し指の第一関節の部分が切断された。	69	169	7	1～9
2017	10	10～ 11	民有林間伐現場で胸高直径40cm位のダケカンバを伐倒している時に、直前に伐採し掛かり木になっていた胸高直径36cm位のダケカンバが、何らかの影響で被災者の方に倒れてきて、頭部を地面との間に挟まれた。	64	712	5	10～ 29
2017	10	11～ 12	派遣先事業所の工場内において、トレーラーの荷台床補修作業を実施していた際、床板を全てはがして、フレームとケタの状態で作業中、本来は足場板をかけ、固定をした上で作業を行うところ、固定をせずに左手に工具を握ったままの状態です場板の上を歩き、バランスを崩し落下した。約1m弱の高さの為、両足は着いたが、工具を握ったままの左手を落下した際にフレームに強くぶつけてしまい、フレームと工具の間に左手を挟む様な状態となってしまう負傷した。	20	364	7	50～ 99
2017	10	14～ 15	乗馬クラブ内の各種運搬作業中に高い箇所からの荷受け作業時に、足元にあった木材に乗って作業していたところ、木材の一部に穴が開いており、その穴に足首がはまり込み、その部分を中心	36	522	2	10～ 29

			として転倒した結果、骨折となった。				
2017	10	14～ 15	生産終了後の中間掃除時、スライサーを別の場所に移動しようとスライサーの向きを変えようとした時に、グレーチング部分にキャスターが引っ掛かりスライサーが倒れ、その拍子に転倒して足首を捻り被災した。	46	165	5	50～ 99
2017	10	5～6	加熱部署作業場で、設備（ベルトニーダ）のチェーン部を掃除しているときに、設備を動かしたままで作業を行ったため、右手食指をチェーン部に巻き込まれた。	40	121	7	30～ 49
2017	10	10～ 11	集荷場にて商品チェックの作業を完了し、次の業務へ移る際に振り返ったところ、後方に置いてあったカートに気付かず足首をカートに引っ掛け転倒。（膝→腰→右肩→背中→右手首の順に倒れ最後、後方に置いてあった飲料ケースに頭部を打つ。）当日は痛みを堪え作業を続けたが、翌日迄痛みが残った。	46	379	2	300～ 499
2017	10	13～ 14	午前中の作業が終わり、昼休憩で食事を摂るため、作業場からバックヤードを通して休憩室へ移動中、足を挫いてしまった。床は乾いており、段差や荷物が無いことから、本人の不注意により発生した。事故発生後、すぐに痛みは感じず、午後の作業を終え、徒歩で帰宅途中に少しずつ痛みを感じ始め、帰宅後は傷病部が赤く腫れ、痛みを伴った。右足関節靱帯損傷と診断された。	64	921	19	100～ 299
2017	10	12～ 13	注入縁切完了後のバー材をパレットに積み込む為に待機していた際、右手を移載排出コンベアの先端部に掛けていた。その時縁切後のバー材がコンベアに排出されピッチ送りが間隔110mm作動し右手人差指の軍手がベルトに巻き込まれ、それに引きずられ右手指が排出コンベアプーリーに挟まれ受傷した。	39	224	7	100～ 299
			仕込工程で生産終了後の清掃作業に送液ギヤポンプ付きのタンクをお湯洗いしていた。通常通りの回数洗いを入れお湯を抜いたが、タンク内に残渣が出ており、残渣をタオルで拭き取ろうとした結果、タンク内のギヤポンプにタオルを巻き込んでしまった。				50～

2017	10	1～2	巻き込まれたタオルが破損し、ギヤポンプ内にタオルの破損片が残り、慌てて破損片を取り除こうとギヤポンプに手を出してしまい、左手中指の第一関節から上部分を挟まれてしまい、損傷した。	49	165	7	99
2017	10	14～15	チョコレートの溶解タンクにチョコレート粒を投入後、チョコレートの溶け具合を確認中、溶解タンクの中の回転中のバー上にチョコレート粒が落ちずに残っていることに気づき、左手に持ったマイナスドライバーでチョコレート粒を下に落とそうとした際、バーが回転している状態で行った為、バーと溶解タンクの周囲の間に左手が巻き込まれ、負傷した。	65	165	7	50～99
2017	10	20～21	派遣先、センター内にて商品を仕分けて出荷先別の台車に載せる作業中、冷蔵庫入口のスロープ部分から倉庫内へ台車を運ぶ際、通常であればスロープを上がった後は台車の脇部分を持って移動しなければいけなかったが、台車を後から押していた。その為、後ろから押されてきた台車と自分が作業していた台車の間に挟まれてしまった。	48	362	7	50～99
2017	10	10～11	スイング式の扉の反対側から勢いよく台車を押してくる人が見えたため、食品トレーを持ったままと扉の手前で待っていたところ、台車ごと扉に突っ込んできた。そのため、扉と食品トレーが接触し、衝撃で左手首から肩にかけて負荷がかかり痛めた。	29	418	6	300～499
2017	10	7～8	当社派遣先において、製品の出荷作業中、ローリフトを操作し製品を出荷場所に移動する際、カーブを曲がろうとしたが曲がり切れず、一旦バックして切り返そうとしたところ、低速でバックをしようとしたつもりが誤って高速にギヤを入れ間違えてしまい、ローリフトに勢いがつきローリフトと製品を置いておくコロコーンとの間に右足を挟み受傷した。	42	229	7	300～499
			第二工場焼成室で、鉄板移載リフターのエアシリンダー2台のう				

2017	10	8～9	ち奥側の1台が動作不良のため、左手を伸ばして調整を行っていたら、突然シリンダーが下降したことで左手親指の付根付近を挟まれた。	27	214	4	30～ 49
2017	10	18～ 19	工場において、業務終了前に敷地内のゴミ置き場へビニールゴミを置きに行った際、大雨が降っていて足元を滑らせてしまった。この時、ゴミ置き場のフェンスに胸を強くぶつけて打った。土曜日の夕方の出来事で病院へ行けず、また、痛みはあったがただの打ち身だと思い我慢していた。翌々日の朝も我慢して出勤したが、業務に支障をきたす痛さだった。	43	417	2	50～ 99
2017	10	4～5	スポット溶接後破壊検査において、本来軍手をした上に皮手袋をするはずが、軍手をせずに作業していたため誤って左手をロット（長さ1m30cm）に当ててしまい、切り傷を負ってしまったものの。	21	521	8	500～ 999
2017	10	14～ 15	特別養護老人ホームの浴室にて入浴介助の為、ご利用者をベッドから車椅子へ二人介助にて平行移乗を行う。ご利用者を降ろした際に腰部に異音があった。いつもとは、まるで違う違和感を抱いた為、安静にし、クーリングにて様子を見るも次第に激しい痛みで身動きが取れなくなった。	33	921	19	50～ 99
2017	10	19～ 20	配達に向かう路上を走行中、駐車中の車輦に追突し転倒。労災事故を発生させた。	65	231	17	500～ 999
2017	10	18～ 19	台風による豪雨の中、軽自動車で宅配配送作業中、民家に囲まれた細い道路と豪雨での視界悪化があいまって、交差点に気付くことが出来ずに時速20kmで侵入し、右から来た軽バン車両に交差点内で追突を受けた。背中、腕、腰の打撲との診断となる。	41	221	17	30～ 49
2017	10	16～ 17	ネットスーパー作業室でピッキングの作業中、折りたたみコンテナ（5個重ね、約17.5kg）を床上15cmから持ち上げようとした時、腰に激痛が走った。	75	611	19	100～ 299
			スマートメータ組立#3ラインの第1工程において、回送されてき				

2017	10	13～ 14	たパレットに部品（名称:ベース約180g）を持ちセットする際にベースと部品の間に人差し指先端を挟み込み受傷した。受傷当日は軽傷だと判断したが、翌日になり痛みと腫れが増してきた。	40	169	7	100～ 299
2017	10	13～ 14	派遣先にて午後からの勤務に戻る為、作業服に着替え現場へ徒歩で向かう途中、突然腰に痛みが出て動けなくなった。発生日の午前中は原料の開梱作業（ダンボールの箱開けや、商品の積み替え）しており、原料の重さは2kgから10kgで、その場で移す、乗せる、積み替える作業で、運搬は台車等を使用していた。	28	921	19	100～ 299
2017	10	16～ 17	派遣先事業所において、商品補充の作業中に床に置いてあった、平台車に取りつけてあったビニール紐を踏んだ事により転倒し、右頬、右手、右膝を床に打ち付け右膝骨挫傷の怪我をしてしまった。	35	416	2	30～ 49
2017	10	11～ 12	エアコンコーナー付近売場通路にて、就業開始直後歩行中の方向転換の際、台風による大雨の影響で濡れて滑りやすくなった床、または自分の濡れた靴で足を滑らせ転倒し、顔面と左手、右膝を床に打ち負傷してしまった。	52	417	2	30～ 49
2017	10	13～ 14	派遣先である会社構内において、玉掛け作業中、2～3mの高さに積み上げた鉄筋を出荷するため、細長い鉄筋棒鋼の東に登ろうとしたところ、足を滑らせ背中から落下し、腰を強打した。	50	521	1	50～ 99
2017	10	18～ 19	物流倉庫内にて、オリコンの中に日用品雑貨等（業務用5kgの洗剤類）が入っているものを、運ぼうとした際、荷物を持ちあげた時に、手を滑らせてしまい、右足に落とし右足小指を負傷した。	27	611	4	100～ 299
2017	10	17～ 18	派遣先にて産業廃棄物を処理中、散乱している廃プラスチックを整理していた時、廃プラスチックに足を取られ後ろ向きに転倒し負傷してしまった。	54	417	2	50～ 99
2017	10	10～ 11	マンションのエントランス下の階段の掃き掃除をしていたところ、端の低い階段につまずき、手首をひねった形で右手をつき、	68	413	2	500～ 999

			右手関節を骨折する。				
2017	10	10～11	被災者は派遣先においてワインのピッキング作業に従事していた。昼食後に喫煙室に向かおうと長椅子から立ち上がって歩き始めた際、長椅子の脚（座席部分から15cm程脚が飛び出ている形状）に左足を引っ掛けて転倒し、負傷した。なお、長椅子は背中側に壁、正面にテーブルが置かれた場所に配置されており、甲は身動きしづらい状態だった。	51	379	2	1～9
2017	10	17～18	宴会準備中、ステージに継ぎ足してあるダックステーブルに乗ってしまい、バランスを崩しテーブルごと転倒、首・右腕を打撲した。	38	391	1	100～299
2017	10	16～17	当日の就業場所である飲食店で接客サービス業務に従事中、濡れたタイル面に足が滑り転倒負傷した。	22	417	2	100～299
2017	10	20～21	調理場から6m程はなれた、パントリーホール用の水道にて、両手鍋（直径40cmほど）に水を9割入れ、調理場へ戻る際に首と腰を痛めてしまった。	49	391	19	50～99
2017	10	17～18	ホテル1階厨房の高い棚から物を取ろうとして段の上に上がり、下りた時にバランスを失い、右足を痛めた。時間の経過と共に右足のふくらはぎが腫れて歩行困難となった。	62	419	3	1～9
2017	10	13～14	派遣先事業所にて、機内食を積んだカートを押して運搬していた際、カートのタイヤがシャッターロック用の溝にはまってしまい、転倒した。	26	362	2	300～499
2017	10	14～15	チルド倉庫内にて、ピッキング作業中、足を滑らせ後方に転倒。商品を持っていた為、右手のみ床につき、右手首を骨折。	50	417	2	10～29
2017	10	16～17	訪問入浴利用者の自宅にて、訪問入浴の作業中に利用者を浴槽からベッドに戻す際に利用者の体格が大きく、また両下肢を切断されている方だったため、利用者を支える自分の手や腕が不安定となっていたところに腰に激痛が走った。	36	911	19	100～299

2017	10	15～16	事務所内でコピーをした時、足元に通常は無いビニールが置いてあり、その上に乗ってしまい、しりもちをついた時、両手で支えようとして床についた右手と左手を商品の上についた。滑った時に足首と膝を捻った。	51	417	2	100～299
2017	10	8～9	工事現場において、地上より2.5m程の高さにある底の上にて、現場打ち合わせを行った際、周囲の人がハシゴを使い昇降する中、本人の判断により底の上から2.5m下の地上に飛び降り被災した。	29	418	3	1000～9999
2017	10	14～15	ダンボール箱からパスタを取り出し、貼り付け、貼り付け作業を終えたパスタを元のダンボール箱に戻し、その箱（約16～18kg）を持ち上げ、並行した別のレーンに移す際、落下しそうになり持ち直そうとしたところ、右肩から肘にかけて痛みが走った。	51	611	19	100～299
2017	10	14～15	キャリアカー1番フロアーのワイヤー交換時、安全靴の右かかと部分がエキスパンダーの淵に引っ掛かり、体勢を崩してしまった為、上段より下段に落下（高さ約1.3メートルから落下）してしまった。	53	221	1	100～299
2017	10	10～11	引越作業中、廃棄物の入ったごみ袋を両手で3袋（右2袋、左1袋）を持ち、階段を下りていたところ、右足で持っていたごみ袋の端を踏んでしまい階段を2～3段踏み外した。バランスを崩しながら着地したため、右足を捻ってしまい負傷したものである。	39	413	19	50～99
2017	10	16～17	被災者は当日、OG事務所にて、ワッシャー・ボルトの仕分、ピッキング作業にて派遣就業。自動車エンジン部品のピッキング作業時、高さ100cmの棚からボルト約80本（2～3kg）をカートが一番下に載せた時に腰に痛みが走る。当日以降、契約期間だったため、痛み止め薬・湿布などをして様子をみていたが、痛みが治まらないため病院へ。当社への報告は後日。棚から商品箱を床におろす作業を繰り返しており、腰への負担が毎日あったことが原因と考えられる。	68	921	19	30～49
			当日、派遣先において退勤後、保育室脇にある階段を下りていた				

2017	10	16～ 17	ところ、玄関先にいた保護者に気をとられ階段を踏み外し、着地した時に左足首を捻ってしまったもの。	29	413	3	30～ 49
2017	10	12～ 13	被災者は当日の派遣先にて10kg程度の箱を運ぶ軽作業業務に従事していた。開始から数時間後、商品を玄関先から運搬を行った際、腰に痛みを感じたが勤務を続けていたところ、さらに数時間後、後ろにおいてあった入荷直後の商品ダンボールに腰部をぶつけ、衝撃を受けるような痛みを感じた。痛みを我慢しつつ、仕事を継続したが、5日後には立ってられないほどの痛みになり、接骨院へ搬送され、腰部捻挫と診断された。原因は不慣れな作業で腰に負担がかかる状態が継続したことによると思われる。	44	611	19	100～ 299
2017	10	17～ 18	被災者は派遣先において、仕分け業務に従事していた。現場担当者の指示により、商品棚のボルト締め作業中、足場になっていたパレット（商品棚にのせて足場になっていた）が、ズレてしまったため、不安定になった足場でバランスを崩し、転落（1.5m）して負傷した。原因は、現場担当者と被災者の危険予知が不十分だったことによる。	28	391	1	30～ 49
2017	10	15～ 16	体重のある利用者様を車いすからベッドへ移乗介助する際に足を捻り、歩行が困難な程の痛みがあった。	53	911	19	100～ 299
2017	10	8～9	工場内でプレス機の作業開始前点検を行っていた。プレス機の作動油がにじんでいたため、安全装置の有効範囲外のところから手を入れ清掃しようとしていたところ、誤って操作ペダルを踏んでしまい、機械と金型の間に指を挟んでしまった。	50	154	7	100～ 299
2017	10	10～ 11	就業場所（派遣先）の2番倉庫内にて、材料の荷受けをしていた。H鋼という鋼材を業者に下ろしてもらう際、養生する為に、下に敷くiraない段ボールが必要になった。その段ボールが、被災者の丁度胸の高さ位ある材料が入った段ボールの向こう側にあった為、右手を伸ばして取ろうとしたところ、手前の段ボールが左側	43	611	6	500～ 999

			の肋骨を押すように入ってきた。当日は、それ程痛みを感じなかったが、日増しに痛みが強くなって来たため受診、骨折をした。				
2017	10	11～ 12	レーザー加工機運転中、止まってしまい、手でタレパンを落とし復帰させようとしたところ、機械が動き左手が挟まり負傷した。	35	159	7	500～ 999
2017	10	3～4	夜勤の勤務時に出荷場でコンテナ台車を8枚積み重ねて運搬作業中に、通路幅のパレットへ積み重ねされた特大リール入りのプラスチックダンボール箱（約5kg）の上部1箱が倒れてきて、手で押さえようとしたが転んでしまい、プラスチックダンボール箱の角部が左足脛部に落下してきて負傷。夜明け前のお荷場の出来事であり、薄暗い状況であった。	33	611	5	300～ 499
2017	10	17～ 18	作業中、ダンボール箱（空）2個を両手で持って移動中、クールボックス用の配線に足を引っ掛け転倒。床に膝を打ち損傷。	70	417	2	300～ 499
2017	10	19～ 20	幹線車両の左側ウイングを開けアオリを下ろして長尺品の積込作業をしていた際、走行中にウイングが長尺品によって開かないようコンパネを前アオリに立て掛けようと、荷台の後方に平積みしてあった養生材を取りに向かった。トラックボードなど15～16枚の束の中からコンパネを横にずらして取ろうとしたところ、勢い余ってバランスを崩し、荷台より飛び降りる格好で右足より転落した。	45	221	3	100～ 299
2017	10	15～ 16	製品を取りに行く際、通路で台に躓き、右手前の台に左脇腹を打ち受傷。	54	417	2	300～ 499
2017	10	17～ 18	工場内、金属加工ラインにて、後方部の切り粉取り出し箇所に溜まった切粉を処理する際、突出していた切粉を除去しようと引っ張った時、綿手袋とゴム手袋をしていたが、その切粉で右手親指を切ってしまった。	36	521	8	100～ 299
2017	10	13～	VK大型ラインで水中ポンプの組立て電動トルクドライバーでヘッドカバーを取り付けようとしていた。4ヶ所のうち最後の1個のナットを締め終った時、電動トルクドライバーが、元に戻ろうと	18	169	7	100～

		14	逆回転（左まわり）にまわり始め、支えていた右手親指をドライバ―にもっていかれ靱帯を損傷した。				299
2017	10	14～ 15	派遣先にて2人1組のペアで自動車ガラス（縦1m横1.5m10kg）を持ち上げる作業中、いつもと違うペアの方と作業をしたところ、スピードが速かった。その為、ガラスを取り出す際に誤って指をぶつけた。	50	529	3	300～ 499
2017	10	16～ 17	派遣先水産加工会社工場にて、清掃作業中、ごみを捨て振り返ったところに金属製の手押し車が目の前に滑りこみ、右足の向こう脛の部分に打撲した。	43	362	6	50～ 99
2017	10	22～ 23	倉庫内で台車を引いて運搬作業中台車を止め移動場所を確認しようとしたところ、止めていた台車が風にあおられ左足にぶつかった。	34	362	6	100～ 299
2017	10	14～ 15	事務所近くの台車置き場にて、マットを入れておく為の台車が一杯になった為、台車の入れ替えをしようと引っ張ったところ、台車が重く動かなかったため、両手で思いっきり引っ張った時に、足元の注意を怠り、左足の親指が轢かれた。	30	362	7	100～ 299
2017	10	12～ 13	派遣先にて、プラスチック容器の製造作業に従事中、CT3号成形機のタイニーチャック異常により、自動機が非常停止となった。復旧作業を行う為、解除ボタンを押した後に旋回BOX部の安全カバー上に製品が落ちているのに気がつき、自動機セレクトスイッチを自動から手動に切り替え、安全柵内に入り製品を除去しようとしたところ、取り出しスライドのサーボが原点位置に戻ってきて、取り出しアームと旋回BOXの間に体が挟まれ、右肩を脱臼骨折したもの。（原因は、取り出しアームのスライドのサーボが原点に戻った確認をせず、安全柵内に入った為。）	59	169	7	30～ 49
2017	10	19～	派遣先において、作業中に穴明機前から高周波焼入工程へ移動するときの事故。足元に敷いてあったマットで滑り、バランスを崩	37	379	2	300～

		20	し転倒したとき、仕掛品が入っているポリ容器に背中を強打した。				499
2017	10	18～19	3課4係の前工程にて加熱ゼネレータ付近で作業していた時、加熱終了のブザーが鳴った為、右回転で振り向き、操作盤に向かおうとした。その際、滑って転倒し開いていたゼネレータの扉に右肋骨付近を強打した。	48	391	2	10～29
2017	10	16～17	派遣先内積層室にて、カーボンシートを切断する自動切断機を操作中、カーボンシートが詰まる不具合が発生した。安全カバーの隙間から作業中の切断機のカッター部分に左手を入れ、詰まりを直そうとした際、下りてくる刃に左手の中指と薬指が挟まれた。	49	169	7	500～999
2017	10	10～11	前工程を検査台にて検査終了後、隣の台場にケースを置く際に左手が滑り、ケースと台の枠にて右手を挟んで受傷した。（ケースを落としそうになったので右手を出した。）	43	529	4	500～999
2017	10	10～11	休憩時間になったため、職場の3階から更衣室・トイレがある2階へ移動しようと階段を使い降りようとしたとき、携帯を触りながら階段を下りたので最後の2～3段手前で足を踏み外し滑って腰を強打し、腰椎打撲と診断された。	46	413	1	50～99
2017	10	9～10	派遣労働者が、工場で、台に置かれていた重さ約100kgのL字鋼の束から、順次L字鋼を作業台へ持ち運ぶ作業をしていた。L字鋼を運ぼうとした際、誤って台に体を接触したため、束が崩れ、崩れたL字鋼で左手を挟み、左手小指、左手首を負傷した。	50	521	7	100～299
2017	10	8～9	派遣先の物流倉庫で、朝礼を行う場所へ集まる途中に、床にあったエアホースに足を引っ掛け左手をついた。その後、2時間程作業を続けたが、左肘に痛みがあった。病院では、過去に左肘に骨折の跡があり、その箇所が痛んでおり、左肘関節捻挫と診断された。	46	417	2	10～29
			20フィートコンテナの中で荷下ろし作業を行っており全ての作業が終わりコンテナから降りる際に、足元がでこぼこになっており				30～

2017	10	7～8	躓き頭から落ちそうになったので手と右膝から着地し右膝に全体重をかけてしまったため、骨折してしまった。	48	611	1	49
2017	10	7～8	乗用車の内装下地（フェルト）置き場にて、荷崩れ、変形を防止するために結束されたフェルトの最上面に乗せられているベニヤ板を、取り外す作業をしていた。ベニヤ板は長さ100cm×幅80cm×厚さ0.9cm重さ約6～8kgで、作業は両手でベニヤ板を掴み、手前に引きながら降ろしかけたところ手が滑りベニヤ板が落下した。ベニヤ板は約1.5m落下し、左足指つけ根を直撃し親指を骨折した。安全靴は、前日の台風で濡れており、事故当日は通勤用の靴を着用していた。	32	522	4	50～ 99
2017	10	9～10	派遣先にて、ゆで卵の製造作業に従事中、塩水に浸けたゆで卵のパレットが浮かないようにするための重り（約10kg）を持って冷蔵室に入った時、冷蔵室の床が塩水で濡れていることに気付かず、左足を滑らせ転倒。転倒の際、左足首を痛めたもの。	35	417	2	100～ 299
2017	10	17～18	派遣先にて、製品の棚入れ作業に従事中、製品の入った段ボール箱（約9kg）を、踏み台（幅約40cm高さ約45cm）に乗って高さ170cmの棚に入れようと背伸びした時、バランスを崩して踏み台から落下。左足首を捻って受傷したもの。	37	371	1	100～ 299
2017	10	10～11	工場内で旋盤の切り粉を台車に乗せ、切り粉保管場に移動中工場内のスロープで足が滑った際、右腰に痛みを感じた。	68	362	19	50～ 99
2017	10	16～17	製作所I工場エレベータ内で電動ハンドラーリフトを運転作業時、電動ハンドラーリフトに関しては本日が初の運転であり事前に広いスペースにて練習を行った後I工場1Fよりエレベータに乗り、I工場2Fにてエレベータから電動ハンドラーリフトを降ろす際、エレベータから降ろすためハンドラーを後進させたが、ハンドラーの前方がエレベータに干渉しそうになったため進行方向を前進に切り替える必要があった。実際の操作では前進に切り替えたつも	45	229	6	100～ 299

			りでいたがスイッチは切り替わっていなかった。（操作を誤った） 操作を誤った状態で、レバーを握ってしまったため、意図した方向（自分から離れる方向）に動かず、後進方向（自分側へ）急に動いたためハンドラーのステップと壁に左足が挟まれてしまった。				
2017	10	8～9	本社工場2F、研削盤の加工作業場でワークの脱着作業をしている際、ワークのはめ込みが不十分だったため、電源を切らずに取り外そうとした際、右手甲が砥石に接触し切り傷を負った。	25	153	8	100～ 299
2017	10	7～8	GPセンター（卵のパッキングセンター）内で、始業前準備を高さ30cm程の検品作業台の上で行っていた。そこから床に降りる際に、5cm程の溝へ右足を取られて転倒し、右足首をくじき、くるぶしを骨折した。	52	417	2	1～9
2017	10	11～ 12	派遣先で商品の陳列作業中に、右手にペットボトルを持ったまま躓き転倒した。	67	416	2	50～ 99
2017	10	16～ 17	就業先A棟1階SEM室にて、金属顕微鏡の順番待ちをしており、空いたので隣の椅子から顕微鏡手前の椅子に移ろうとした際に、物を取ろうとして、足かうまくつけず左足首を捻って転倒した。	44	391	2	100～ 299
2017	10	17～ 18	施設からの送迎業務中、ご利用者様のご自宅のあるマンションの1階歩道にて、送迎を終えて車に戻る際に足元の段差に気付かず転倒、左足を負傷する。	45	413	2	100～ 299
2017	10	10～ 11	コンクリート製品を製造現場にてアンカープレートをインパクトレンチを使用し取り外す作業中、ボルトを外す際、通常は少しずつ緩め、少し緩んだところでプレートを抑えて安全にボルトを外していたが、一気にボルトが緩み、「プレートが落下」。落下したプレートが体の（足の）方向に倒れてきたため、足を除けたが間に合わず、プレートが足の上に倒れ挟んだ。	65	529	5	30～ 49
2017	10	16～	5階駐車場北エスカレーター入口付近にて、ショッピングカート2台を運搬中、駐車スペースに設置されている車止めに気付かず膝	70	419	2	100～

		17	から転倒し、床で強打した。				299
2017	10	11～12	道路左側の歩道を歩いていた時に、後方から走ってきた自動車に追突された。加害者は前から来た車と歩いていた被災労働者を避けようとしたそうだが、ブレーキをかけ損ねたとのこと。ノーブレーキで追突され、後方から突然だったため、一切身構えが不可能で、飛ばされ、地面に叩きつけられ負傷した。	44	362	6	100～299
2017	10	1～2	構内で仕分け作業中、荷物が載ったカゴテナー台車を前後2人で移動させようとしたところ、前の車輪がストッパーで動かず引っかかり、台車が前方に転倒してきた。かわそうとしたが台車の上部分が左足に接触し、負傷したもの。	28	362	4	300～499
2017	10	15～16	食堂でおやつの時間に利用者様の義歯を取りに行こうと急ぎ足になり、誤って転倒した際、体をかばおうとフロアーに手をつき、左手第2指腹側の皮肉がはがれ裂傷となった。	51	416	2	100～299
2017	10	11～12	派遣先事業所の倉庫内で、商品を台車に積んで移動する作業中に右腕に負荷がかかり肉離れを起こした。	34	362	19	10～29
2017	10	11～12	3F倉庫にて倉庫の空箱を取ってほしいと声を掛けられた。倉庫の一番上に空箱があったため、キャスター付き脚立の一番上に乗って、背伸びをして取ったところ、空箱自体が少し重く、よろけて仰向けに転倒し、倉庫のフロアで腰と背中を強打する。その後、痛みがあったものの勤務中だったため、痛みを堪えてそのまま勤務を行った。打撲だと思っていたので、転倒当日の夜より湿布を貼って痛みを引かせようと試みたが、1週間ほど経過しても痛みが引かず、腰の内部と足に痺れを感じ、腰を曲げると激痛が走り、病院で第2腰椎圧迫骨折と診断される。	63	371	1	300～499
2017	10	17～18	ハンドソーで肉のカット作業中、肉を押さえていた手が滑り、ハンドソーの刃に左手中指を接触させ負傷した。	20	165	8	100～299
			クールの発送置き場にてクールの引っ張り作業後、戻ろうと振り				

2017	10	6～7	向いた直後（荷物はクール品）、再度、荷物を取りに振り向いた無防備な状態でカゴ台車が後から衝突して右アキレス腱、右下腱を負傷する。	32	362	6	50～ 99
2017	10	4～5	工場成型工程の成型機323号機にて、生タイヤ台車（縦約1800mm×横約1500mm×奥行き約2500mm、重さ約300kg、タイヤ24本積、車輪4個）を作業スペースまで移動（約2m）しようと引っ張った時、腰に痛みを感じた。（引っ張り力は、静荷重約10kg、衝撃荷重約15kg、工場による調査）	43	921	19	100～ 299
2017	10	16～ 17	作業場にてマシニング加工中、ペット板から製品（材料）を外す際に、左手中指第二関節部分を8mm程切る。表面上の傷は治るものの、鈍痛と違和感が残る。傷に触れると痛みがあり、赤みもあった。異物が残っている可能性があったが、レントゲンでは判断できず、経過観察していたが中指全体が炎症で腫れ、メディカルでMRI後、手術を行い、切除した組織を病理検査に出すこととなった。	45	521	8	50～ 99
2017	10	14～ 15	冷蔵庫売り場で冷蔵庫商品の入れ替え作業時に、本人を含め計2名で、倉庫に収納する冷蔵庫を台車にのせて搬出する際、冷蔵庫の置き位置が台車の中心からずれていたため、冷蔵庫の位置を変えようと、立位にて、冷蔵庫の側部角を持ち、引き寄せたときに痛みを感じた。その後、腕が上らなくなった。	69	612	19	100～ 299
2017	10	16～ 17	構内作業中にカゴ台車を引っ張って移動させていたところ、カゴ台車の車輪が右足に乗り上がり、右足人差し指と中指を負傷した。	63	611	7	500～ 999
2017	10	18～ 19	工場内で柱上部を溶接するために、脚立を利用して3m位の高さから柱に乗ったところ、バランスを崩して柱ごと地面に倒れた。安全ベルトをしていなかった。	49	521	5	10～ 29
			商品を出庫する場所でカートの並びかえを行おうとしているときに、通常ルートではなく立入禁止スペースルートを通じた上で				

2017	10	20～ 21	並びかえを行おうとした。その際、パレットを横切ろうとしたが、十分な通過スペースがなく落下した。落下した際に右足踵を骨折した。	41	418	1	50～ 99
2017	10	16～ 17	1000枚程重ねて機械にセットしていた紙が、スライドする感じで倒れてきたため、思わず手で受け止めた。このとき、受け止めきれずに右足が下のローラとその紙に挟まれた。	28	529	7	30～ 49
2017	10	15～ 16	作業現場でサンテナを3つ重ねて台車で運んでいるときにサンテナが崩れ落ちそうになり、支えようとしたときに足を捻った。	49	379	19	300～ 499
2017	10	5～6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	529	19	300～ 499
2017	10	9～ 10	派遣先の病棟にて、オムツ交換をしていたところ、体位を変える必要があったため、自身の身体の向きを変えた際、右ふくらはぎの肉離れを起こした。	51	911	19	50～ 99
2017	10	8～9	2セット包装冷却出口振り分けバーコンベアー駆動部進行方向左側において、動いているバーコンベアー駆動部スプロケットとチェーンの間に左手人差し指が巻き込まれ、爪部分までを切断した。機械が動いている中に清掃のため持っていたウエス（不織布製）が機械に巻き込まれ、左手人差し指も一緒に巻き込まれた。	35	224	7	1～9
2017	10	23～ 24	派遣先より当社従業員が右手首を怪我した可能性があるとの報告を受ける。その後本人に確認を取ったところ、作業中に負傷したとのこと。部品交換の際に使用したインパクトレンチを持って移動中に、トリガー部分の針金が作業服に引っかかりインパクトレン	38	169	8	100～ 299

			チが作動した。その際、インパクトレンチを持っていた右手を捻り負傷したと本人より報告を受ける。本人が報告連絡を入れていないため、その時の状況を確認できる現認者がいない。				
2017	10	8～9	金型係全室内の作業台の上で削出成形機の金型をメンテナンスする際に上下に装着した金型を外すため、ホイスで釣り上げ、ゴムハンマーで金型の両サイドを叩いて外していた。なかなか外れず20～30回叩いていると金型が揺れ出し、その揺れを止めるためについつい金型に左手を添えてしまい、右手で持っていたゴムハンマーを自分で自分の左手を殴打した。	36	361	7	30～ 49
2017	10	10～11	介護施設内にて利用者を車椅子からトイレへ移乗する介助中に発生。利用者は介助度が高く、移乗する際は被災者を含め2人で介助していた。被災者はトイレ介助をしようと、車椅子からトイレの便器に座らせるため、利用者を立たせ、被災者は中腰になりズボンと紙おむつをひざ下まで降ろし、中腰のまま利用者を正面に向かせようとしたところ、腰を右方向に強く捻ってしまった。	59	911	19	300～ 499
2017	10	15～16	工場内で「箱流し」という回収された空箱を洗浄機に送る作業中に、2つあるベルトコンベアラインを移動する際に、足元に出ている水槽開閉レバーに足をひっかけ、レバーの近くにあるバルブで左脇を強打した。	60	391	2	100～ 299
2017	10	16～17	派遣先の二連梱包ラインにてパレットを動かそうと持ち上げ、ずらしていたところ誤って右足の上に落としてしまい受傷した。	21	379	4	100～ 299
2017	10	1～2	派遣先の直接雇用の男性スタッフが、台車の上に積んであった番重を洗浄室に運搬しようとしてバランスを崩し番重が倒壊した。倒れた番重は米入れ作業中だった被災者の右足太ももから足首にかけてぶつかり落下した。勤務終了しそのまま帰宅したが、帰宅後痛みを感じた。翌日痛みが引かず、右下腿打撲傷および右足関節捻挫のため2週間の療養を要するとの診断だった。	41	379	4	50～ 99
			作業現場にて前出しの作業中に商品の段ボールをカッターで開封				

2017	10	10～ 11	している際、カッターで左手小指を損傷した。傷が深かったため止血処理後、病院で6針縫う。	33	364	8	10～ 29
2017	10	8～9	第2工場製品包装室において、コンベアテンションローラ部の汚れ拭き取り清掃の作業中、会社から指導もされており、通常はコンベアを停止させて作業を行っているが、当日はうっかりコンベアを作動させたまま、作業を行っていた。その際、クロスがローラ部に巻き込まれ、取り除こうとして誤って左手を肘の辺りまで巻きこまれてしまい、左手首を骨折した。	59	224	7	100～ 299
2017	10	16～ 17	派遣先で、エアーブロー作業場を交代しようとした際に後方を確認せずに後ずさりし、回転している研磨機に腰が当たり腰部を火傷した。背部挫滅創とのことだった。	29	153	8	1～9
2017	10	22～ 23	労働派遣先でプロパー社員とペアを組みハンドリフトを用いてパレットを動かしていたところ、プロパー社員がパレットを別のパレットに引っ掛けたため、1m以上の高さからオリコンが倒れてきて右足に接触。靱帯を損傷した。	41	611	4	100～ 299
2017	10	17～ 18	工場内に於いて、バイターライン（スティック型アイスキャンディーを製造する機械）の稼働準備のため、バケツ（殺菌用に塩素水が入っている）を準備しようとバイターラインと窒素トンネル（砕いたチョコレートを低温で冷やし、固める機械）間の通路（幅約1m）を移動していた際、窒素トンネルの冷気がいつもより強く床面が凍結していたため、滑って後方に転倒し右手をついた瞬間右手首を骨折した。	68	417	2	30～ 49
2017	10	16～ 17	1日の仕事終了し作業場の掃除をしていた時に立ち眩みを起こして作業場の床に設置してあるダンボール運搬用の大型ローラーコンベアのローラーの上に足を着いてしまい体を支え切れずに転倒した。当日そのまま帰宅したが夜になって腫れがひどくなった。左膝外側側副靱帯損傷の診断を受けた。	44	224	2	100～ 299

2017	10	10～11	派遣先である敷地内における商品のトラックへの積み込み作業中の被災。トラックの荷台で、商品（人参が満載された段ボールで、重さ約10kg）をトラックに積み込んでいた際、高く積んだ商品（荷台床からの高さが約130cm程）が安定が少し悪かったために倒れてきて左足首のくるぶしの辺りに商品が直撃し、その衝撃で骨折したもの。	45	611	4	300～499
2017	10	9～10	物流倉庫内で作業を始める準備をしていた際、折りコンを乗せるキャスター付の枠組みに誤って右足が乗ってしまい前に進んだため、止めようと左足に力を入れた際、足を捻り左足の靱帯を痛めた。	47	362	19	50～99
2017	10	3～4	被災者のスポット溶接工程（第6工程）において設備の電極交換時に電極を取り付け手動で圧を掛けた際、電極が外れ誤って、とっさに手を出してしまい挟まれ受傷した。	52	339	7	1～9
2017	10	23～24	倉庫前室からリーチフォークリフトでバック走行しており、ホクトの部屋へシャッターを開け入室しようとした際、パレットがあり、止まろうとしたところ止まれず左足をリーチフォークリフトとパレットとの間に挟んでしまった。	41	222	7	10～29
2017	10	14～15	包装工場にて荷積み作業中に、周りへの注意力が散漫になり、横で作業している人に接近しすぎたため、箱が左眼に当たり、強打。自らの不注意によるもので、当方の一方的な過失であるため、相手に対して損害賠償請求は発生しない。	38	611	3	100～299
2017	10	10～11	営業所にて荷物を運ぶ作業中に部品の入った段ボールを持ち上げた際に腰に痛みが出た。（重量14.4kg）（規定で女性は15kg以上は一人では持てない）	26	611	19	50～99
2017	10	8～9	第2工場の牛すきラインで肉の選別作業を行い、選別した肉の入ったケースを両手で抱えて所定の場所に移動していた。業務用スポットクーラーの配線が床に這っていることに気付かず、足が配線に引っ掛かり両手にケースを持ったまま左膝から転倒したため	46	417	2	500～999

			膝を強打した。				
2017	10	14～ 15	運動会に参加時、マシュマロキャッチ競技中に使用していた粉が床に落下していたため、右足を滑らせた。右側頭部から倒れそうになり咄嗟に床に右手をついた。その時、右手首に激痛が走り、腫れた。	58	416	2	10～ 29
2017	10	16～ 17	惣菜課のベルトコンベアー附近を、ゴム製の長靴を着用し歩いて移動していたところ、床に少量の出汁がこぼれていたことに気づかずその箇所を踏んでしまったため、足が滑って転倒し右手を床につき負傷したもの。帰宅後に痛みが増大したが、骨が折れているとは思わず、痛みが引くのを待ち様子を見ていたが、一向に痛みが治まらず耐えられなくなった。	59	417	2	100～ 299
2017	11	15～ 16	タルト生地をプレス機にて成型中、生地の原料が飛び散っていたため清掃しようと思いプレス機の電源スイッチを切って手を入れたところ、機械が止まったと思い込み挟まれ被災した。	30	165	7	1～9
2017	11	13～ 14	派遣先にて冷凍庫に保存してある油揚げを取りに行った際、足を滑らせて転倒した。転倒した際に頭部、右腕肘部分を負傷した。痛みがあったが出勤した。その後、病院へ受診し、右腕XP撮影の結果、骨に異常はなく、後日改めて受診することとなった。	49	417	2	100～ 299
2017	11	12～ 13	被災者が利用者様を脱衣所から浴室へ誘導する際に、その利用者様から、ホールから脱衣所に通じる出入口のドアを閉めるよう依頼された為、素足で出入口に向かったところ、出入口の手前のコンクリート床で転倒した。その時、体右側から床に転倒した。	50	417	2	10～ 29
2017	11	14～ 15	派遣先の生産エリア通路にてLR機種 of 梱包用部材が載った緑柵台車のフレーム両側面を両手で掴みながら後ろ向きで運搬中、通路の柱に気付かず、緑柵台車と柱の間に左手を挟み、左手人差し指第一関節にヒビ（骨折）が入った。	45	362	7	100～ 299
			玄関すぐ右脇の管理室入口のドアを抜けてすぐのところ、玄関でスリッパに履き替えて管理室に入室した時、右足が前に滑り、右				

2017	11	8～9	手・右肩から床に転倒した。スリッパ底の劣化摩耗により滑り止めの効果が損なわれていた。転倒時の衝撃により、右上腕部を骨折した。	83	417	2	500～ 999
2017	11	11～ 12	訪問活動において、顧客訪問途中に突風に煽られ自転車のハンドル操作を誤り、横転した。当時は駅方面に進行していたが、横転時、左側に倒れた場所に高さ30cmのコンクリートの基礎があり、横転した自転車と基礎部分に挟まれ左足の膝下を裂傷し、病院で2針を縫う、又、挟まれた時、打撲をしたことにより水膨れとなっている。	59	719	17	10～ 29
2017	11	23～ 24	工場で、切り餅の切断工程にて切り餅を切断する機械の洗浄作業中。通常機械内部の洗浄作業をする際は、手を入れず専用のブラシで外部から水で流しながら作業をするところ、無意識に手を入れてしまい刃を押さえた為、手のひらを受傷した。	44	165	8	100～ 299
2017	11	14～ 15	出かけるために車を暖機しようとマニュアル車（軽自動車）のクラッチに左足を乗せて（身体と右足は車外）鍵を回したところ、ギアがローに入っていたため車が急発進し、左足が引っ張られ足首を受傷した。	24	231	6	1000 ～ 9999
2017	11	12～ 13	レンタカー店敷地内の駐車場でバックしている車を誘導中、一度車が停まったためトランクを開けてお客様の荷物を取ろうとした際、更に車がバックして来て、胸部を強打し受傷した。	35	231	6	100～ 299
2017	11	11～ 12	肥料包装業務の現場で、肥料包装用のダンボールを装置を稼働させて、作成及び3ヶ所ある肥料充填設備にダンボールを配っていた。ダンボールを配っている際、ダンボール作成装置のコンベアから、ダンボールが飛び出し続けているのを発見し、慌てて、装置へ向かった。その際、床が濡れていたため、足が滑り、バランスをとるため体勢が崩れ、右前腕を装置のコンベア部の角にぶつけた。	33	417	2	1～9

2017	11	13～ 14	工場内組立定盤上で、旋回Rブラケット（幅300mm×長さ575×高さ210・重70kg）2個をクレーンで運び終えたところ品物が重なっていた為、自力でずらそうとし左手をブラケットの下にあてがったところ品物が一瞬ずれた拍子に左手中指、薬指を挟んでしまった。	59	521	7	10～ 29
2017	11	15～ 16	帰宅しようと同僚2名の計3名で工場の駐車場に停めてある車まで向かう時に、3台バラバラに駐車していたため、別々に分かれた。駐車場を斜めに横切るようにマイカーまで向かい歩行していたが、辺りが暗く車止めに気付かず足を引っ掛けて転倒し右膝を強打し被災したものである。	27	521	8	100～ 299
2017	11	14～ 15	派遣先において10tトラックの荷台に積まれたゴミの確認を行う為、トラックの梯子を登っている時、次の段へ上がろうと右足を浮かせたところ左足が滑り転落（高さ約2m）した際、左踵右足及び左尾てい骨を負傷した。	62	221	1	50～ 99
2017	11	11～ 12	当社ダンプカー（10730kg）で、工場からコンクリート工場に砂利を運んでいたところ、駐車場でダンプのボディストッパーを外していたところサイドブレーキをしっかりと掛けなかったため、ダンプが動き出し、サイドブレーキを引き直そうと運転席に乗ろうとしたところ地面がぬかるんでいたため、足が滑って転倒したところに、ダンプの前後輪のタイヤにのぼられ、両足を負傷したものである。	69	416	3	10～ 29
2017	11	16～ 17	着物が入ったバッグの仕分けを行う際にカゴ台車が数台あったため、作業スペースを確保しようとカゴ台車の片付けを行った。カゴ台車を折りたたんでいる際に、一度たたんだ台座部分が倒れてきて左足の脛に直撃した。	30	362	6	30～ 49
2017	11	11～ 12	トラック荷台の荷物を縛るためにロープを掛けて引いたら、外れていて勢いよく後ろの下のブロックに腰を打ってしまった。（置き場での怪我）	29	519	4	100～ 299

2017	11	20～ 21	新聞を届け自動車が1台とまっている車庫の狭い横を通り抜けようとした際、右足を石にぶつけ脚を痛めてしまった。	22	921	19	300～ 499
2017	11	11～ 12	自社作業場にて、当日の現場作業で余った材料を置き崩れないよう杭とハンマーで打ちつけていた際、目標を誤り、右手人差し指を杭に強く打ちつけ負傷した。	44	719	90	1000 ～ 9999
2017	11	15～ 16	老健棟1階更衣室付近の流し台は清掃担当者が清掃で使用するポリッシャーを洗浄する場所となっている。事故発生日も流し台でポリッシャーの洗浄を行ったが、洗浄の際に周囲に水が飛び散ったことに気付かず拭き取りを行っていなかった。そこへ、業務終了後、更衣室に向かって歩いていた被災者が流し台を通りかかった際、水で濡れた床で足を滑らせ左膝を強打した。	23	379	5	30～ 49
2017	11	14～ 15	工事現場で通行止めをやっていた。工事現場近くのお宅へ来た車が来たので、急いで通行止めのカラーコーンをどかそうと走った際、道路の舗装の継目の段差に躓いて転倒し、左肩部を強打し、左上腕部を骨折した。	49	221	1	30～ 49
2017	11	9～ 10	当社営業所から移転作業中、敷地内駐車場において、運送業者のトラックの荷台（4t平ボディ）に乗り、商品棚の積み込みを手伝っていた時に、棚が倒れない様に押さえていたが、棚の荷積が安定したので、後ずさりしたところ誤ってトラック荷台後部より転落（約1m）し、臀部を強打し尾骨を骨折した。	27	154	4	100～ 299
2017	11	11～ 12	休憩時間中に施設の3階から2階へ階段を下りる際に、階段を踏み外して右膝を怪我する。職場に報告せず約1時間作業して痛むので報告し、処置する。階段を下りる際は、手すりを掴むのがルールだが未実施であった。	48	413	1	100～ 299
2017	11	8～9	休憩中にトラックの車内でカップラーメンを食べようとお湯を入れてトラックに乗り込もうとしたところ、トラックのステップに躓き、カップラーメンをひっくり返し、左手にかかってしまい、火傷をした。	45	911	11	100～ 299

2017	11	21～ 22	工場内のウレタン製品の製品接着エリアにて接着作業中に、足元を這っていた延長コードを踏んだところ、コードが床を滑ったため転倒した。その際、作業台の角に右脇腹が当たった。翌週の一日は出勤したが痛みがあったため、翌二日間は休み、その後二日間は出勤した。痛みが引かないため後日に受診したところ肋骨を骨折していた。	52	416	2	100～ 299
2017	11	10～ 11	店舗にてカゴ車2台を店舗搬入口へ移動中に下が斜めになっていた為、そのままカゴ台車が自分側に倒れ、挟まれてしまった。	46	362	4	50～ 99
2017	11	15～ 16	鉄道軌道脇で現地確認作業を行っている時、列車接近によりトラフ上で退避を行った。列車通過後、トラフ上から軌道側へ移動する時に足を滑らせ、左膝辺りを負傷した。	62	419	2	100～ 299
2017	11	11～ 12	荷物の積み込み作業中に、現場のゴミを回収してゴミ袋からフックを外しに行ったところ、ゴミ袋の持ち手に足を引っ掛け前に倒れ、両手をついたところ、右手捻挫、左手骨折した。	43	611	2	500～ 999
2017	11	10～ 11	空調改修工事の屋上にて配管撤去後すぐに機器搬出段取り確認のため、エキスパンドメタルを歩行した時、床開口（直径約25cm）に右足が入り脛を挫創した。	63	417	2	100～ 299
2017	11	10～ 11	研修のため、研修先に向かおうと自宅からバス停へ歩いている際、躓き、カクンとなったので右足を伸ばした、その後から足を引きずるようになった。	47	921	19	10000 ～
2017	11	5～6	入出荷フロア1Fにて仕分作業中、床に置かれている商品を取る際に腰を屈め、膝を落とし上下する作業等を繰り返し行っており、腰、左足全体に異変を感じ通院し、療養中である。	45	611	19	100～ 299
2017	11	9～ 10	就業先から営業エリア先へ向かう途中、地下鉄の駅改札付近でホーム行きのエレベーターに乗ろうと急に小走りを始めた際、左膝を負傷した。	55	921	19	1000 ～ 9999
			就業準備のため、地下1階にある更衣室へ向かう階段を下りていた				1000

2017	11	8～9	際、足を滑らせ約1.5m下まで転落した。	49	413	2	～ 9999
2017	11	8～9	選別作業場に移動していたところ、鉄箱を積み運転するフォークリフトが視界が悪い状態のまま運転し、（本来、フォークリフトの移動は後退すべきところ、）前進してしまったため、気付いてもらえず、轢かれてしまう。鉄箱と地面の間に足を挟んでしまい負傷した。	38	222	7	50～ 99
2017	11	7～8	派遣先において、3直勤務時間の最後に乾燥機の状態を確認するために、F3形成化室から乾燥室に手に何も持っていない状態で歩いて移動していたところ、足を滑らせてでん部から転倒し受傷した。	37	417	2	500～ 999
2017	11	4～5	エレベーターに荷物の入ったロールボックスを搬入、後閉ボタンを押したところ、扉が下りてくる際にロールボックスの上部に引っ掛かってしまった。それを外そうとロールボックスを引いた際に扉が上から頭、背中に落下し損傷した。	47	214	4	100～ 299
2017	11	7～8	利用者様の部屋で朝食の為リビングへ利用者様を移動させようとし、2人介助のため2人で介助した際に腰を痛めた。（車椅子への移乗の際）男性の利用者様で体格も良く、80kg以上ある方だったため、腰への負担が強かった。	33	921	19	500～ 999
2017	11	9～10	業務用エレベーター部材輸送業務中、トラックの荷台にて積み込み作業をしている際、工場担当者より、荷物に書かれた品番の確認を求められ、金属部材の入ったプラスチックコンテナを少し持ち上げ、ずらす動作を行った時に、腰を痛めた。	46	611	19	1～9
2017	11	15～16	製造作業中に、金具を左手に持った状態で歩行中、通路に置いてあったプラパレットの上を歩き、降りる時にプラパレットが滑りバランスを崩して転倒した。転んだ際に金具を持っていた左手を床について金具が手のひらに刺さった。	44	379	2	100～ 299
			4t車到着車両荷卸し中、荷台内から荷物を台車へ卸す際、車両と				

2017	11	23～ 24	ホームの間に出来た隙間に左足が挟まり、その際、転倒した。転倒時、左足太腿を強打したものである。	59	414	2	10～ 29
2017	11	15～ 16	派遣先において踏み台（高さ565mm×幅455mm×奥行525mm）を使用し商品棚にPOP貼り付け作業中、POPを貼り終え左足から踏み台を降りようとした時、踏み台左側に足を踏み外して転落転倒し、左手を床面についた際、左手首を負傷した。	67	371	1	500～ 999
2017	11	10～ 11	当社派遣就業先の特別養護老人施設浴室にて利用者の入浴介助中、用意が整ったので利用者を迎えに風呂場から脱衣所に歩いて移動中に排水口の辺りで足を滑らせ後ろに倒れるように転び咄嗟に頭部を守ろうとして、でん部と右手を強打し負傷した。	62	417	2	50～ 99
2017	11	4～5	勤務中、部品の入ったプラスチック製のコンテナを持ち上げた時に、脇腹に痛みを感じてその場にうずくまった。痛みがあったが、そのまま勤務を続けていたが我慢できなくなり後日、診療を受けたところ右肋骨骨折をしていた。	46	611	19	100～ 299
2017	11	9～ 10	ガラス面取機内にて、不良ガラスが出た為ガラスを捨てに行った際に、捨て板箱の角にガラスをぶつけて割れたガラスが手の平に落ちて怪我をした。	27	529	8	50～ 99
2017	11	15～ 16	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に左手でナイフを持ち作業していたところ、左手に力を入れたところ、ナイフの刃が滑り、左手関節を捻挫した。	36	921	19	300～ 499
2017	11	7～8	宅急便仕分け作業中、ロールボックスパレットを移動させようとしたところ、ボックスの中から荷物が落下し、右足甲部に当たり負傷した。	69	611	4	300～ 499
2017	11	21～ 22	倉庫の棚と棚の間の通路で、商品を手作業で棚へ収納している時、フォークリフトが後ろ向きで被災者の後を通ろうとしていた。作業を終え後を振り返った瞬間に、右足つま先がフォークリフトと後輪の下敷きになった。着用していた安全靴のつま先部に	32	222	7	50～ 99

			穴があいており、中指がはみ出していた事も影響し、右足中指を負傷した。				
2017	11	1～2	コンベアーに生地を流す作業が終了した為、オペレーターから生地を取り除くためのヘラを持って来るように依頼された。ラインが止まってしまう恐れがあったので急ぎ足で歩いていた為、コンベアーのコーナーの所で滑って転倒する。その際に床に設置してあるゴミ箱の縁に、左脇腹を打ちつけてしまう。	58	417	2	100～ 299
2017	11	15～ 16	工場内の食品ラインで、パレットから空の重箱をラインに乗せる作業中に、休憩から戻った時に、重箱入りのパレットが溜まってしまっていたので作業を急いだ際に、重箱入りのパレットが通路に飛び出していたために足を躓き転倒し、右膝挫傷・関節血腫及び背部挫傷となった。	49	379	2	300～ 499
2017	11	14～ 15	トラックの荷台にてタイヤ運搬中に発生したものである。ホイールタイヤ（重量40kg程度）を起こす作業の際にバランスを崩し左膝を捻る。激痛がはしり、その後走る事が出来ない状態であったが、その日は業務をこなす。翌日になっても痛みが治まらず欠勤となる。その後2日間は休日のため様子を見たが状況が変わらず、次の日に通院し左膝関節捻挫との診断を受ける。また膝に水が溜まっているとのことである。就業不可となったその後に首・腰・肩にも痛みが生じた。	49	921	19	50～ 99
2017	11	16～ 17	工場柱加工ラインにて、柱のホゾを加工する機械のおが粉を掃除するため、機械を停止せず安全柵の中に入り掃除を行っていた。機械のベース部分に左足を掛け掃除をしていたところ、加工が終わり原点に戻って来た機械とベースの間に左足先が挟まり、左足親指、人差し指、中指を骨折した。	30	416	1	100～ 299
2017	11	16～ 17	事務用・通信用機器組立作業場においてプラスチックダンボールで用品入箱をを作成中、プラスチックダンボールを床面に置いてカッターナイフで切り込みをしていた時、誤って金尺で押さえて	61	364	8	100～ 299

			いた左手にカッターが当たり負傷した。				
2017	11	23～ 24	当社派遣先の被災者が成形課アニール作業エリアにて、アニール製品取り出し用の昇降台車から運搬用平台車に製品を乗せ換えるため同僚と二人で合図しながら約50kgの製品を運搬用平台車に乗せる際、腰を曲げる姿勢を取ることとなった。定常的に行われている作業であり、被災者は特別に不安全とは感じることなく、作業を行ったところ、以前から腰に若干の痛みはあったが、この作業を発端に腰部の痛みが激しくなり、夜勤であったことから早退したが当日は病院の受診をせず、翌日の受診となった。	35	611	19	30～ 49
2017	11	13～ 14	原料（チョコレート）の計量作業中、原料が不足し、前工程（原料を細断する工程）で原料を補充しようとしていた。その際、装置内の原料も掻き出そうと安全カバー内に右手を進入させたところ、刃で指を切創した。	41	165	7	100～ 299
2017	11	10～ 11	派遣先、1階エレベーター内にて、1階休憩所から2階の作業場へエレベーターで上がる際、リフトが先にエレベーター内にいて、本人がその後ろに乗り込んだ。その後リフトが後退して来た為接触した。	27	222	6	300～ 499
2017	11	17～ 18	事業部工場内において、終業チャイムが鳴った後で、タイムカード打刻のために3階から2階へ移動する際に不注意にも階段を踏み外し、転倒し、尾骨を強打し仙骨骨挫傷した。	25	413	1	30～ 49
2017	11	17～ 18	本社の敷地内において帰宅の際、ロッカーから出たところに物が置いてあり、躓き転倒した。その時に左腕を骨折してしまった。原因としては、暗くて足元が見えず、物があるのに気付かなかったことである。	47	417	2	100～ 299
2017	11	16～ 17	工場内にて製缶パレット荷の移し換え中、高さ70cm程度の作業台よりバランスを崩し、転倒し、左足つま先より着地した際、薬指を打ち痛めた。	35	371	1	10～ 29
			10枚ほど重なった状態で容器内に入っていた製品を両手で持ち上				

2017	11	13～14	げた。運搬する際、荷姿が悪いと判断し、荷姿を変えようと反転しようとした。その際、重みで製品が斜めになり滑り、右手中指を切った。	58	521	8	100～299
2017	11	11～12	物流構内作業中にて、資材を取りに行く際に仕切りの段差に気付かず、足を捻り、そのまま昼までは作業を続けたが、痛み始めた為、早退し、自宅で様子をみたが、痛みを感じた為、夜間に病院に行き、診察を行ったところ、右足関節外側靱帯損傷、右膝関節捻挫により、6週間の加療を要すると診断されたものである。	60	417	3	100～299
2017	11	9～10	派遣先にて、化粧パネルの加工作業に従事中、木材（446mm×1800mm×15mm、重量約1kgの板）を切断機で切断加工後、板を作業台（高さ約700mm）に置いて体を起こした時、腰部に強い痛みを覚えた。直ぐに整形外科で受診したところ、腰部挫傷と診断されたものである。	32	921	19	100～299
2017	11	1～2	被災者は、営業所倉庫にてトラック荷台に積んである製品を荷降ろし後、トラック荷台にあったパレットを手作業で整理していたところ、立ててあったパレットが倒れ左手薬指とパレットに挟まれ、受傷した。	61	379	5	100～299
2017	11	16～17	肉の冷凍庫内で、肉を出荷の為に、電動パワーリフターをバック走行しながら、どの肉を取り出すか右方向を見ている時、後方にあった高さ20cmのプラスチックパレットと電動パワーリフターに左足首を挟まれ被災した。この日は痛くなく定時まで作業したが、翌朝足に違和感があり、病院に行くと左足首の上部が骨折していた。	67	229	7	100～299
2017	11	14～15	駐車場にてトラックの荷台で作業をし飛び降りたところ、着地の際にバランスを崩し左膝を痛めた。	45	417	3	30～49
2017	11	14～	工場内切断機にて、切断した材料（鉄製：縦10cm、横8cm、高さ5cm）を左手で取り出す折に、手元が狭く持ちづらかったので、材料を固定するクランプを広げるため右手で開のスイッチを押すべ	45	152	7	100～

		15	きところ、誤って閉のスイッチを押したため、左手小指をクランプと材料の間で挟み負傷した。				299
2017	11	10～11	台車運搬にて、第1工場と新工場間のシャッター式出入口を通る時、シャッターが自分が開けた高さより下がっていることに気付かずに通ろうとして、シャッターのへりに頭部をぶつけ負傷した。	55	419	3	100～299
2017	11	9～10	大型ガスメーター組立職場にて、下ケースを両手で持ち上げ、作業台まで運搬する際、足元が確認しづらい状態であった為、元々置いてあった木製パレットに右足が躓き転倒した。その時に持っていた下ケースのエッジ部が、左手親指付根付近に当たり、裂傷を負った。	29	417	2	10～29
2017	11	10～11	派遣先にて、段ボール封緘機を用いて段ボール箱の梱包作業に従事中、箱の蓋が開かないように上部を押さえながら封緘機に投入する際、手を離すのが遅れ、段ボール箱と箱を送るためのローラー（ゴム製）に右母指を挟まれ受傷したものである。	64	169	7	100～299
2017	11	9～10	工場内にて溶接の機械（オペレーション）作業中、リフトが作業エリアに直進してきて溶接の機械操作中の作業員と接触した。	39	222	6	30～49
2017	11	13～14	新人作業者の為、正規作業員2名にて作業手順を習いながらの作業を行っていた災害時、完成品を治具より取り出そうと手を添えた際、クランプSWに体が当たってしまいクランプが開始して、添えていた手が挟まれてしまった。（クランプ＝部品を固定する為の工具）（SW＝スイッチ）	58	169	7	30～49
2017	11	13～14	派遣先事業所の運輸倉庫作業所において、昼食後、作業場へ戻る際に雨で靴や地面が濡れていたため、リフト通行用の鉄板の上で足を滑らせてバランスを崩し、右膝をついて負傷した。	53	417	2	30～49
2017	11	14～15	勾配のきつい下り坂で、除草作業中に停車させた作業車が、サイドブレーキが不十分で動き出してしまい、停車させようと運転席	73	221	17	1～9

			側に回り轆かれてしまった。				
2017	11	21～ 22	グラインダーを使用しアルミに付着したボンドを除去する作業をしていたところ、回転時の振動が大きくなり左腕に負担がかかり左腕に痛みと痺れを発症した。	52	921	19	10～ 29
2017	11	19～ 20	夜礼の為、第3工場出入口を出て、構内を徒歩で移動中、建物横に2段積みされた木製パレットが置いてあったが、辺りが暗かった為に気が付かず、躓き転倒した。両手から着地し、負傷した。	52	379	2	50～ 99
2017	11	3～4	作業場で洋菓子をオーブンで焼いている時、オーブンプレートを取り出す際に手に当たり、左手首と右人差し指に火傷をした。	34	519	11	1～9
2017	11	11～ 12	当該職場配属後1週間程度経過した頃から左腕肘裏に腫れが見られ始め、その後右顔面にも腫れが出てきた。金属部品を機械に投入した後、加工された部品を回収し箱詰めする作業を軍手の上にビニール手袋をはめた手で行っており、部品に付着している機械油（主成分：白灯油）が直接手に触れる状態ではないが、油の付いた手袋をはめた手で皮膚に触れたことにより発症したと思われる。	25	512	12	100～ 299
2017	11	15～ 16	就業先事業所2階で会議が終わり、折りたたみ用長机を横に移動させた際に、机の脚が内側に折れ右足人差し指に落下し受傷した。出血がひどく、同日医療機関で受診した。	36	911	4	500～ 999
2017	11	14～ 15	工場内で台車から商品の運搬中スロープに商品を荷下ろしする時に、転倒を防ごうと踏ん張った時に、スロープから足を踏み外し右足首を痛めた。	31	362	2	100～ 299
2017	11	14～ 15	工場内で空になったパイプ台車を折りたたみ保管場所に移動させていた際に、パイプの台車が前方に倒れ同時に本人も転倒した。	26	416	2	10～ 29
			倉庫内で商品を積載したカートラックの検品作業を行っていた際、カートラック上段に乗っている商品の数を確認する為カートラック下段の中心部分に右足を掛けたところ、カートラックが自				100～

2017	11	1～2	身に倒れ込みカートラックと積載商品の下敷きになったが、右足の痛みはあったものの特に異常が無かったので、そのまま就業したが帰宅後足の痛みが引かない為病院へ行ったところ、骨折と診断された。	65	362	5	299
2017	11	13～14	同事業場にて、ラインベルトからカゴ車に段ボールを移し替える作業をしていたところ、段ボールの内容物に重量の偽りがあった為、荷物を支え切れず、体勢を崩してしまい、荷物（段ボール）とカゴ車の間に小指を挟んでしまった。	49	611	7	30～49
2017	11	10～11	1Fにて住宅資材を150cm程の高さの棚に補充をしている際に、後ろを通ったリフトに右足を轢かれて右足小指と踵を亀裂骨折してしまった。現場の足元には何もなく、環境は良いが他現場に比べると少し動線が狭い環境であった。双方の注意不足により起こってしまった。	39	222	6	10～29
2017	11	15～16	軽自動車の天井を脚立を使用し、拭き上げ作業中、脚立の脚が折れ高さ約55cmから転落し、左肩を打撲した。（原因）脚立が使い込まれており老朽化していたと思われる。	25	371	1	100～299
2017	11	10～11	ご利用者（女性）が水分補給をする為、車椅子への移乗介助を行った際に腰に痛みが出た。当日はそのまま勤務を行い、翌日は自宅療養していたが、痛みがひどく、後日病院を受診した。	51	921	19	300～499
2017	11	21～22	焼きおにぎりライン6号成型機にて、成型機のカップ部に付着した米を取り除こうと、成型機カバーの安全装置（近接センサー）のパスワードを入力した。安全装置を解除し、成型機を動かしたままカップ部に手を近づけてしまった為、ロックアウトのカップ部分とプレートとの間で指を挟み負傷した。	44	165	7	500～999
2017	11	17～18	派遣先の9階にあるお食事処のパントリーにて、沸騰した味噌汁を入れた鍋（やかん）の蓋が左手に滑り落ちてきたため火傷を負った。	25	379	11	300～499
			労働者派遣先において、段ボールケース（25×30×20cm）をコン				

2017	11	11～ 12	ベア（幅35cm）に載せる作業中、コンベアと手が接触しない様に商品の側面を持ち垂直に置くべきところを、斜めかつローラーと手が接触する位置に手を添えていたため、段ボールケースを置く際にラインのローラーに右手示指を挟んだ。	19	224	7	100～ 299
2017	11	16～ 17	工場内で検品作業を行っている際、製品が入っているケースの傾きを変えるために、高さ30cm程度の踏み台の上に乗って、両手でハンドルを回す作業を行っていたところ、手が滑り、ハンドルを放してしまった。足場が不安定であったため、バランスを崩し、後ろ向きに転倒し、後ろに置いてあった鉄製の製品入れに背中を打ちつけた。	43	371	2	500～ 999
2017	11	10～ 11	鉄鋼製品を入れた運搬用バスケットを2段積みクレーンを使用して運んでいた。1段目と2段目のバスケットの間に少しズレがあった為、手で押して修正したタイミングと、クレーンからその荷を降ろしたタイミングが重なり、そのズレ（隙間）に左薬指が挟まり負傷した。全治1ヶ月程度と診断された。	55	211	7	50～ 99
2017	11	14～ 15	印刷機の機械を停止させ、刃の清掃をしていた際、誤って右手親指を切り受傷した。	29	166	8	500～ 999
2017	11	17～ 18	労働者派遣先において機械の清掃時に、ローラー部分に布が置いてあった為、機械の停止ボタンを押さずに右手で取り除こうとしたところ、ローラーに手を巻き込まれ人差し指、中指、薬指、親指を負傷し、右手甲の皮膚が一部剥がれた。	27	163	7	100～ 299
2017	11	16～ 17	L-50下皿玉入れ専用機で、キャスターの金属部品の組立作業中＜※加工部分（棒状）にステンレス製皿を載せて、機械で皿に玉を入れボンドで接着する）、機械が加工している間に右手を入れてしまい、安全装置が作動した。その際、加工部分（棒状）が下がり、土台と加工部分に人差し指が挟まれ受傷した。	45	169	7	100～ 299
2017	11	15～	倉庫内出荷場にあるローラーレール上で、搬入・仕分け・引き込み作業を行い、片付けが終わり、事務所に戻る際、ローラーレール	41	419	1	100～

		16	ルより足を滑らせ転落した。腰・背中・肘を打ち、捻挫をした。				299
2017	11	9～ 10	15GNショットのターンテーブルから南側のローラーコンベア上にある搬送容器に鋳物（約20kg）を手で持ち運搬していた。その際、手が滑り持っていた鋳物を左足の甲の上に落とし負傷した。	26	521	6	500～ 999
2017	11	11～ 12	労働者派遣先である会社において開梱作業が終わり段ボールが乗っていた樹脂パレットを片付ける際、パレットを持ち上げる時に上面から手を入れ（通常はリフトの爪を挿入する2ヶ所に手を入れる）立ち上げる最中に床に面している下辺が滑ったため、とっさに押さえようとしたところ右膝と左手小指を打ちつけ負傷した。	52	379	4	100～ 299
2017	11	3～4	派遣先にて就業中、会社の敷地内にて一人で、ごみを捨てて戻ろうとした際に、足元のコンクリートの踏み台（高い段差の手前に踏み台があり）に気付かずぶつかり、左膝を打ちつけ転倒した。	53	416	2	100～ 299
2017	11	13～ 14	派遣先の倉庫の折り畳まれたカゴ台車（高さ約170cm、幅約90cm）が並べられて置かれているところで、カゴ台車の数を数えるため台車の上に登って数えていたところ、台車が動いてバランスを崩してしまい落下してしまった。その際、左手の指が台車に引っ掛かった状態で落ちたため、関節が外れた。	36	362	1	10～ 29
2017	11	16～ 17	異物の選別作業の為、製品を選別台で選別中、選別が終わって、製品を製品受け箱に入れる為に、レバーを操作し選別台を傾けた。製品を左手で受け箱に落とし終わり、選別台を元の位置に戻す際に左手を選別台の先端に置いたままレバーを操作した為に、指を選別台に挟まれてしまった。選別作業の為、手袋はしていなかったし、選別台に挟まれるという認識が無かった。受傷時に班長に報告したが本人が大丈夫と判断した為、上長への報告もなく適切に治療もせずに10日間も放置し、通常作業をしていた為に症状が悪化したと推測される。	48	391	7	50～ 99

2017	11	12～ 13	出勤し、駐車場から工場へ向かう際、近道を通っていた時に滑りやすい箇所があり、転倒してしまった。この時、体を支えようとして右手を強打してしまった。診察の話では右手首骨折と言われた。	62	719	2	300～ 499
2017	11	19～ 20	メカニズムASSY組み立て作業完了後、作業台クランプを解除した際に手が滑りクランプバーに右手首が挟まり、そのまま体勢を崩し、右手を捻った。	27	391	7	100～ 299
2017	11	11～ 12	工場600tブランキングラインにてブランク材料を梱包作業中に、パレットが変わったはずなのに、パレット台車が反転機から出て来ないことに気付き、被災者は確認する為に、パレットチェンジャー間に入った。チェーンが空回りして、パレット台車が出て来ないことが分かり、機械を停止させようとした。しかし、被災者は、来た道を戻らずに、パレットチェンジャー操作盤にある非常停止ボタンを押そうと移動した際、足を滑らせて転倒し、動いていたチェーンに右手の人差し指、中指が巻き込まれ被災した。	47	169	2	300～ 499
2017	11	13～ 14	作業場内で、製品に切り込みを入れる作業中、刃によって製品に切り込みを入れる道具を使用している時、製品を必要よりも深く持ってしまったため刃物を降ろした際、右手の指を切断してしまう状況になった。派遣先では本来、鎖の手袋を装着して作業を行うが、当日は、納期が近く2人体制で作業を行っており鎖の手袋は1つしか備えていなかったため、被災労働者は装着していなかった。右手中指先端切断と出血。	27	169	7	100～ 299
2017	11	16～ 17	ホルモン盛り付け業務終了後、フロア清掃をする際作業靴から長靴に履き替え、清掃業務を行おうとした際に、足を滑らせ、後方に倒れ込む時に、右手で身体を支えようとした時に、右手が地面に先につき、その際に右手首を負傷した。	41	418	2	10～ 29
			荷物を降ろして帰るため運転中、道を間違えて脇道に入り、早朝日の出前で真っ暗のため海がある事に気が付かず、車止めを乗り				

2017	11	5～6	上げ海にキャビンから落ち、フロントガラスが割れ水が入り、逃げ遅れて水死した。	62	221	10	1～9
2017	11	18～19	工場内2Fのグロサリー部門にて、商品のピッキング作業中に商品を車輪付荷台車に積み込み、本人は右側に立った状態で右手前方に荷台車を持ち、左手にも後方に同様にもう1台別の荷台車を持って牽引していたところ、左足のかかところが左側後方の牽引していた荷台車前側の車輪と車輪（左右）の間に挟まり、荷台車の重さが左足かかるとに掛かり、打撲及び靱帯損傷した。	48	362	6	300～499
2017	11	16～17	水酸化リチウムの袋詰め作業において、原料ホッパーから粉体を袋に充填する際、袋から粉がこぼれる状況が発生し左足付近に粉が付着した。当該作業においては、水酸化リチウムの特性上、粉塵の皮膚付着による熱傷の可能性が既知であった為、ライン内はパーテーションで囲い局所排気装置専用の防護装備対策（フルフェイス電動ファンマスク、防塵服、PE長手袋、安全短靴）は実施済みであったが、安全短靴（一部足首が露出）と防塵服の隙間より粉塵が内部に侵入し熱傷した。	62	514	12	100～299
2017	11	10～11	派遣先で脚立にのってピッキング作業をしていた。脚立をおりようとしたところ脚立が滑りバランスを崩して転倒した。	55	371	1	30～49
2017	11	7～8	支店の現場にて制服に着替えている時、作業靴を半分履いた状態でズボンを穿こうとしたら、ズボンに靴が引っ掛かりバランスを崩して前のめりになって転倒した。その際に右足指が曲がり負傷した。仕事はせずそのまま帰宅後、病院で診療を受けた。	64	417	2	30～49
2017	11	0～1	バルブ加工の“ナトリウム挿入工程”において、ナトリウム補充の準備をするため、“ボトル”と呼ばれる治具を洗浄機にセットしたが、洗浄前にボトル内のナトリウムの除去確認を怠り、そのまま洗浄してしまう。結果、洗浄液に残ったナトリウムが混ざり、化学反応を起こし爆発した。その際に、衝撃で扉が打ち破ら	37	511	14	30～49

			れ飛び散った中和液を顔と左足に浴びてしまう。				
2017	11	13～ 14	ピッキング作業中、作業場所を移動しようとしたところ、段差に躓いて転倒し、左肘を床に強打してしまった。	50	417	2	10～ 29
2017	11	14～ 15	工場内第2組立課のリアサス搭載工程で、トルクレンチを使用してボルトの締め付け作業を行っている時、トルクレンチをしっかり握っておらず手を滑らせて親指をひねり捻挫した。	23	371	19	100～ 299
2017	11	10～ 11	倉庫内で商品の返品作業中、オリコンを持ち上げてパレットに降ろした瞬間に腰に激痛がはしり、作業が出来なくなった。	52	611	19	300～ 499
2017	11	22～ 23	派遣先内の2工場4階RAK成型機2号において、トップトレッドの貼り付けジョイント後、ステップボタンを押し自動ステッチングを開始し、その時プライコード先端がドラム上に垂れ下がっていたので修正の為、左手で先端を掴みエプロンガイドに戻そうとしたところ、PLYが生タイヤに接触し、左腕がPLYごとドラムに巻き込まれその反動で前のめりになり、顔面をエプロンガイドにぶつけた。	33	169	7	100～ 299
2017	11	15～ 16	工場で、ベンダー機による鉄筋の曲げ作業をしていた際、90度曲げのスイッチを操作すべきところ、誤って隣にある180度曲げのスイッチを操作して作業したため、機械が作業者の想定以上に作動し、鉄筋を保持していた右手が、鉄筋を曲げるアームに挟まれて、右手中指を負傷した。	40	159	7	1～9
2017	11	14～ 15	店内の厨房にて、食品をまな板の上で包丁を使いカットしていたところ、まな板の上に置いていた包丁が滑って落ちそうになったため、それを拾おうとした際に右手の小指を負傷した。	50	364	8	50～ 99
2017	11	22～ 23	ウェ이터として就労中、キッチンと洗い場に通じている廊下を、料理を運ぶ際に急いで角を曲がる際に滑り、近くにあったお皿が入っている箱にぶつかり転倒し、左膝を負傷した。	38	416	2	50～ 99
			サッシの中にウレタンを注入する作業中、誤って左手にウレタン				

2017	12	15~16	を付着させてしまった。付着に気づかず作業を続けた所、社員の方に指摘され、手袋を外したところ、左手指が赤くただれており受傷した。様子を見ていたが痛みがひかず、後日受診した。手袋の掌側はゴム製、甲側は布製であり、布からウレタンが浸透した模様である。	31	519	12	100～ 299
2017	12	12~13	工場冷蔵庫内で、コンテナの中身を確認する際、いつもは上段のコンテナを降ろし、作業しているが、今回は玉ねぎの入ったコンテナ（5段積）の5段目を左手で持ち上げ、5・4段の間から右手で玉ねぎの大きさを探っていたところ、左手が滑り、コンテナが落下し、右手首が挟まり受傷した。	69	611	4	100～ 299
2017	12	8~9	出勤時、工場敷地内駐車場に車を止め歩行中、凍結路面で右足を滑らせ転倒しそうになった。その際、右手で身体を支えた結果、右手首を負傷した。	59	417	2	300～ 499
2017	12	9~10	派遣先の野菜の加工工程にて包装室内にて添加液を入れたビーカーを持って移動中、取り除き漏れた野菜片があったが、気付かず踏んでしまい滑って転倒し左膝を打った。	41	417	2	100～ 299
2017	12	7~8	農産食品加工工場で、野菜ごみを捨てに行くため、外に出て工場に戻る際、入口前に敷いてあるステンレスの板に雪が積もったため（当日は雪が降っていた）、足を滑らせ尻餅をつきそうになり、右手を地面についたところ体重がかかり、手首を痛めた。	55	417	2	100～ 299
2017	12	18~19	加熱殺菌用の釜から、加熱処理後のおでんを載せたトレーカーを台車に移す際、アルミ棒でトレーカーを勢いよく台車に移す作業中に、アルミ棒でトレーカーを勢いよく引いた際、台車が動き、台車が膝に当たり打撲した。	52	362	6	30～ 49
2017	12	12~13	派遣先の自動車シート製造工場で、ウレタンに車のシートのカバーを貼り付けて固定する作業に従事していたが、2週間程度で手と腕に筋肉痛が発生し、右腕に違和感が発生した。初めて受診した病院では原因がわからず、5箇所目の病院で初めて右肘の疲労骨	30	999	19	50～ 99

			折と診断され、手術をした。				
2017	12	16~17	配送中に塩ビパイプを指定場所に降ろしている作業中、トラックに戻る際、他の資材にかぶせてあったビニールシートの重石につまずき、両手をアスファルトに強くつき、左手首骨にヒビ、右手首をはく離骨折した。	46	417	2	50～ 99
2017	12	9~10	店舗で清掃作業中、店内に入ってきた子供が、吹き込んだ雪等で濡れていた床で滑って転んだ。派遣会員が転んだ子供をしゃがんで抱き起こした後、立ち上がろうとして派遣会員も足を滑らせ、尻もちをつく形で転倒した。転倒する際に受け身をとろうと、両手を床についた際に激しい痛みを感じたことから、手袋を外してみたところ、左手の出血がひどかったため、すぐに病院を受診し、左手裂傷、左手首骨折と診断された。	72	417	2	500～ 999
2017	12	15~16	工場内にて、年末年始休暇前の大掃除で、窓拭きを上に登り行い、終了後、下に降りようとした際に窓の前にある棒に足が引っかかり、そのままお尻から落下し、腰を圧迫骨折した。	49	418	1	500～ 999
2017	12	11~12	加工場内、第1グループ梱包室にて箱詰め作業を行っていた際、床に落ちていた氷を踏み、誤って足を滑らせ加熱用カゴの角部分に脇腹をぶつけた。	49	379	3	100～ 299
2017	12	10~11	機械修理を依頼した業者をコンテナ洗浄工場北側の洗浄機械まで、工場のドアを抜けて案内する間に、作業用カゴに臀部をぶつけ、右尻のポケットに入れていた携帯電話の角が尾てい骨右側に当たり軽い痛みを感じた。気にする程ではないと思い、修理作業を終え、工場内の清掃をしていたが歩き回っているうちに右臀部が腫れ痛みで歩行困難になった。	57	379	3	100～ 299
2017	12	10~11	工場の仕上げラインで、番重を台車から下ろして品物をラインに流す作業中、右手を痛めた。	52	611	19	50～ 99
			派遣先3階クリーンルーム内で、被災者Aが半導体製造業務の付帯作業として、装置搬入に関連した養生作業に他3名と共に従事して				

2017	12	16~17	いた。その際に被災者Aが脚立に約1m上がって作業を開始し、作業 者Bが脚立を支えながら養生シートを手渡し、被災者Aがテープ で柱に固定した。その後、被災者Aが脚立から降りようとした 際、床面と思い込み足を着こうとしたが、もう1段ありバランスを 崩し、全体重が右足に掛かる状態で着地し転倒負傷に至った。な お、負傷直後にクリニックを受診、別の病院へ転院紹介を受け右 頸骨高原骨折により入院予定で全治3ヶ月3kも見と診断される。	32	371	1	100～ 299
2017	12	12~13	入浴介助の為に利用者を抱きかかえた際に、強い痛みがあった。 当日は痛みを我慢し仕事を終えたが、翌日、痛みが引かず受診し た。	31	921	19	100～ 299
2017	12	9~10	1系焼却設備、反応助剤カートリッジ交換作業後、確認のため、床 に敷いてあったブルーシートの上で、二段脚立に足をかけたところ、 脚立から踏み外して転倒した。	26	416	19	30～ 49
2017	12	13~14	当社派遣先工場内（構内請負事業場）において、搬送ライン上の 製品（H鋼、高さ250mm×幅125mm×長さ4000mm、重さ120kg）が 倒れたので製品を起こそうとしたところ、ラインから押し出され てきた製品と起こそうとした製品の間に左示指を挟まれ受傷し た。	24	521	7	1000 ～ 9999
2017	12	11~12	作業現場でグラインダーを使って製品を研削していたとき、背後 にある製品が入った箱から左手で製品を取り出し、グラインダー の右側にある作業台に製品を載せた際、左手中指がグラインダー に接触し、左手中指を切創した。	60	153	8	100～ 299
2017	12	13~14	測定室にて、商品の測定作業を終え、テストにかけた商品をゴミ 箱に捨てようと椅子から立ち上がった所、めまいを起こし、後方 にある別の作業台に右前腕を強打し受傷した。	34	419	3	100～ 299
2017	12	11~12	加工職場にて、ボール盤を使用したタップ加工中に、バイスに挟 んだ母材を入れ替える際、回転を停止させないまま行い、誤って	73	152	7	10～ 29

			右手小指が回転中のタップにまき込まれてしまった。				
2017	12	18~19	高圧容器製作所にて、50kg容器をパレットに載せかえる作業中、空いたパレットを本来はフォークリフトによって移動する決まりとなっているものを、忙しさにおわれ、本人の判断で、手作業でパレットを持ち上げ移動したところ足がもつれ、尻餅をついた際にパレットが本人の右足に落ちて受傷した。	39	379	4	50～ 99
2017	12	10~11	派遣先の冷凍倉庫内（マイナス15℃）において、布手袋2枚を重ねて着用し、カップアイスの袋詰め作業を朝から行っていたところ、午前の休憩時に手袋を外すと、指先（右手5本、左手中指・環指）が白く変色し被災した。被災後、若干痛みがあったが、終業時間まで勤務し、翌日になっても痛みが消えず水疱も出来てきたため受診した。	54	529	11	100～ 299
2017	12	4~5	冷蔵倉庫内にて、ベルトコンベアに流れてくる宅配物を配送先毎に仕分ける作業中、宅配物が詰まり直そうとベルトコンベア脇に乗ろうとした所、足を滑らせベルトコンベアの外枠の鋭利な部分に左足甲をぶつけ、靴を貫通し負傷した。	23	224	3	10～ 29
2017	12	16~17	当社工場内にてプラスチックでできた空き箱を1m程度の距離に対して手で投げて移動させていた際に、後ろに人がいることに気付かず、投げた空き箱が被災者の頭部左側に接触してしまった。被災者は接触した箇所を押さえながら一瞬その場に蹲り、しばらくして立ち上がったものの仕事を中断して帰宅した。2日後、最寄りの病院に行ったところ脳震盪との診断を受けた。	50	379	6	1000 ～ 9999
2017	12	2~3	工場内、インタミ／LサイドBラインにて、径360mm、厚さ80mm、重さ4kgのアルミ製自動車部品を切削機にて加工作業を行っていて、床に切削油がこぼれて滑りやすい状況で作業を続けていた。品物を機械から取り出す為、一歩踏み出した時に右足首が滑り、右足首を内側に捻って転倒した。	50	416	2	100～ 299
			作業中に移動する際、階段を使用せずプラットホームより飛びお				

2017	12	19~20	りた所、着地時に体勢を崩し転んで左ひじを損傷した。しばらく自宅で療養したが痛みが引かなかったため、後日受診し、左ひじ打撲と診断された。	36	416	3	50~ 99
2017	12	1~2	宅配便の仕分け作業中、ベルトコンベアーに載っている荷物の向きを直す作業中、荷物を取りそこない床に転倒し、その時に左足大腿骨付近を痛めた。	72	416	2	500~ 999
2017	12	15~16	一般家庭ゴミの回収作業の動作によるパッカー車への乗り降り・積み込み作業が原因による腰の痛みと左膝の痛みが発生した。	56	611	19	300~ 499
2017	12	18~19	食品製造工場内で食材冷蔵庫の肉を餃子加工ラインに2人でカートを手押しで搬送中に冷蔵庫内で足がすべり、腰から床に転倒して負傷した。	32	921	2	100~ 299
2017	12	17~18	就業先にて、業務内容の事で介護主任と打ち合わせをすべく、施設敷地内の寮に出向き、その帰りに同施設の外階段の最後の1段を踏み外し、右上腕部を打ち付けて、同部位を負傷した。	52	413	1	1000 ~ 9999
2017	12	17~18	派遣先である就業先工場内で、2人でガスボンベの整理作業を行っていた際、相手が2本の瓶（1本約100kg）をローラー上で押して渡してきた時に、勢いが強く瓶を掴みきれず、置いてあった瓶との間に指を挟んだ。	28	611	7	100~ 299
2017	12	16~17	鉄製の手すり（フラットバー板厚約4mm、巾12mmで加工されたもの。高さ約0.8m、長さ約3m、重さ約50kgを2枚）をフォークリフトで作業台の上に載せ、仕上げ作業を行うため1枚ずつずらしたところ、バランスが悪く、1枚が床に落ちた。落ちた板を作業台の脚に不安定な状態で立てかけたまま、もう1枚も落ちないように2名で押さえていたところ、立てかけてあった1枚が被災者の左足甲にあたり負傷した。	29	521	5	10~ 29
2017	12	9~10	鉄製ドア製造工場内にて、レール据付式のインデックスハンガー（横2m、縦50cm、重量約40kg）に吊り下がっているドア枠の養生をしていた際、誤って体がドア枠に触れて大幅に傾いた状態の	21	211	4	100~

			ままハンガーが動いてしまった。その為、レールからハンガーが外れて落下し、被災者の頭頂部に直撃して負傷した。				299
2017	12	9~10	構内において、クールボックスを移動中に、柱とクールボックスの間に右手を挟んでしまい、裂傷・骨折の怪我をした。	70	611	7	500～ 999
2017	12	3~4	1階構内Aラインシューターにおいて、一般宅配便仕分け作業中、ゴルフバッグを誤って右足甲に落とし負傷した。負傷した際は痛みはそれほどなかったため、グループ長への報告を怠り帰宅し、自宅に帰宅途中に右足が痛みだし、病院を受診した。その後、痛みと腫れが酷くなり、3日間休み、4日後に本人より報告があり、労災事故が発覚したものである。	53	611	4	500～ 999
2017	12	22~23	厨房内にて皿洗いの業務をしているとき、足場付近に立てかけてあった鉄板に足をひっかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	21	521	2	500～ 999
2017	12	15~16	職場の休憩スペースで、ソファに横になっていた状態から起き上がる際に、ソファの端に足を掛けたため踏み外し、足の甲から着地し、強く捻った。	41	391	19	1000 ～ 9999
2017	12	2~3	スポンジ仕込室入口扉前において、洗浄室で器具を洗い、充填室に器具の入った番重を押して運搬中、前のめりにゆっくり転倒し、両肘と両膝で四つん這いの格好で転倒した。長靴の靴底は滑り止めがなく、ツルツルした状態であった。	47	417	2	100～ 299
2017	12	8~9	店内の惣菜の作業場から寿司の作業場に移動する際に滑って転び、右手首を負傷した。当時、床は清掃直後で濡れていて滑りやすい状況だった。	53	417	2	50～ 99
2017	12	2~3	倉庫1階荷捌き場で、商品にストレッチフィルムを巻いて梱包している時、フォークリフトが前進して近づいて来ているのが、死角になっており、作業者の右足が走行中のフォークリフト前方に出て、フォークリフトが積んでいた空パレットと作業者の右足親指	22	222	6	—

			がぶつかってしまった。				
2017	12	11~12	3階フロアにて、展示物の調整のため、高さ30cm程の什器に靴を脱いで上がり、作業後、靴をはこうとした際に、乗っていた什器の台が滑りやすかったこともあり、足を踏みはずし、転落して足を骨折した。	30	416	2	—
2017	12	23~24	7日間の添乗中、オーロラ鑑賞の為、レストランの外階段にて足を滑らせ転倒した。その際、腰と右肩を強打した。	53	413	1	—
2017	12	15~16	トラックから供花をおろす作業中、トラック荷台の入り口のところに出ていた突起（ネジの様なもの）に右手人差し指を引っ掛けて切ってしまった。	20	221	8	100~ 299
2017	12	10~11	派遣先のトラックで配送助手作業をしていた。トラックが停止し、運転手がトラックを離れ配達中の時は、助手席を下りて荷台に上がり整理作業をするが、助手席に戻るためトラック荷台からステップを使い降りる時に、荷台を背に前向きに降りた為、右足をステップから踏み外し落下し、路面へ右足・右肩・腰を強打して負傷した。	72	221	1	30~ 49
2017	12	14~15	施設浴場脱衣所で、入浴が終わった利用者の更衣介助中、車いすに座った利用者にリハビリパンツをはかせるため車いすに座った利用者の左足側でしゃがんだ姿勢をとっていた時、突然、利用者が被災者の右耳付近を手で強打したことにより、受傷した。利用者は認知症を患っている方で、理由は不明である。	48	911	99	100~ 299
2017	12	5~6	配送センターに於いて空置場に接車後、空番重をトラック荷台からバスへ手鉤棒を使用して後ろ向きで引きずっている際に、バスが雨で濡れていて足が滑り転倒し、番重20枚が受け身を取った右手に落下し、右手中指開放骨折を負った。	39	416	2	—
			納品時、トラックの庫内で納品準備を行っていた際、カゴ台車のロックが外れてしまい、道路に傾斜があったため、カゴ台車が大きく動き、カゴ台車と庫内の壁の間に挟まってしまった。痛みが				500~

2017	12	19~20	あったが問題ないと思い作業を続け、その後も出勤していたが、勤務中に痛みが酷くなり早退し、病院にてレントゲンを撮ったところ、骨折していたことが発覚した。	45	362	6	999
2017	12	7~8	出張先関連会社で荷降ろしの業務に就いていた。14バースにて車両とプラットフォームにスロープを使い、荷降ろし業務（入荷）を行っている際、商品が目一杯に積載された背丈の高いカゴ車であったため、荷降し途中でカゴ車が倒れかかってくる形となり、押し潰されるように下敷きとなってしまった。	49	362	5	10~ 29
2017	12	15~16	入居者を車椅子からベッドへ移乗する際、入居者の両脇に自身の手を差し入れて持ち上げた瞬間に腰に痛みが走った。	42	921	19	300~ 499
2017	12	18~19	就業先の利用者居室にて、利用者を食堂へ連れて行くためベットから車椅子へ移動しようとしたところ、利用者が急に仰け反ったため腰に激痛が起こった。激痛が起こった後、めまいがし動けなくなってしまう、その後腰の痛みが強くなった。	53	911	19	100~ 299
2017	12	10~11	勤務先施設内で、経管栄養をする為、ベット上の利用者の姿勢を直そうと利用者の頭部側より両脇に腕を入れ、持ち上げた際に痛みが出た。	52	911	19	30~ 49
2017	12	14~15	派遣先において、洗浄作業を行うため、切断したガラスインゴットを2人でばらす作業中、切断したガラスインゴットを固定用専用板の端まで2人でずらしていたところ、被災者がバランスを崩し専用板の端からガラスインゴットがずり落ちた際、鋭利になっている切断面で、右手環指及び右手小指を負傷した。	38	529	8	100~ 299
2017	12	16~17	被災者（以下「甲」）は、派遣先において、機内食セット業務に従事していた。甲は、飛行機から返却された空のカートを、作業エリアへ搬送中、カートを4台並べて押しながら搬送していたところ、右手前のカートが車輪不良によりバランスを崩したため、持ち上げようとしたところ、左手前の1台もバランスを崩してしまっ	47	362	2	100~ 299

			た。甲は2台のカートが支えきれずに転倒し、倒れたカートの車輪ストッパーを左前脚部に受けて負傷した。				
2017	12	10~11	事務所内にて、書類ファイルを書庫へ戻す為自席から移動した所、床にあるコンセント突起物に左足が突っかかり転倒しないように踏ん張った所、以前に負傷して治療中の左足首を再度捻り負傷した。	33	417	2	300～ 499
2017	12	9~10	自動車部品製造業務に従事しているとき、午前休憩を終え椅子から立ち上がったところ意識を失いその場に倒れこんだ。裂傷の部位・形状から、倒れた際に顔から倒れこみ、掛けていた保護メガネにて右頬に受傷したと推測される。意識を喪失した原因については不明であり、災害性はない。	41	911	90	300～ 499
2017	12	9~10	設備をビニールシートで養生する為、梯子を使用し、設備上にのぼろうとした所、梯子が倒れ、被災者も同時に高さ1.7mから転落し、頭を強打した。	34	371	1	100～ 299
2017	12	10~11	倉庫内にて、梱包された製品を台車からパレットに移す作業をしていた。台車の製品を全て移動した時、右足を台車の上に載せたところ台車が動き、右足を滑らせた時、左足に全体重がかかり、左大腿骨頸部を骨折した。	68	362	2	100～ 299
2017	12	14~15	バス室内の後床板シール塗布後、シールガンを置き場（左斜め前）に戻そうと、左足を引き、前に進んだ際、左側床のトイレ穴に左足が落ち、受傷した。作業ルール上、トイレ穴には仮フタを置くことになっていたが、守られていなかった。	30	414	1	1～9
2017	12	11~12	クリーンルーム内で、2段式の踏み台に乗った状態で装置内清掃作業を実施した。清掃作業終了後、2段式の踏み台から降りる際（後ろ向きで降りる状態）、1段目（高さ60cm）の踏み台から足を踏み外し、そのまま後ろ向きに転落し、後頭部を打撲した。	54	371	1	500～ 999
2017	12	16~17	作業終了後、手を洗うため作業場から手洗場に向かう途中、2cm程の段差に躓き、前に倒れた。	57	418	2	300～ 499

2017	12	5~6	派遣先の食堂厨房内において、開店準備をする際、厨房内を移動中、側溝の金網の上で左足が滑り、転ばないように力を入れたところ、左足首を捻り負傷した。	66	417	19	100～ 299
2017	12	16~17	本社工場1F野菜原料庫内で、社員と2人で排水桟を清掃するため、排水桟の上のパレットを持ち上げた際に、横に積み上げていた荷が崩れてきた。それを手で支えようと持ち上げていたパレットを放したために、足の上に落下し受傷した。	51	611	4	30～ 49
2017	12	9~10	派遣先事業所の倉庫現場内にて、作業開始直前に倉庫内の床面に設置してあるパレットに足が引っ掛かり転倒した。ピッキング作業用のプラスチック箱を片手で持ったまま転んだため、胸部と腕を打撲した。	58	379	2	300～ 499
2017	12	17~18	派遣先工場加工場内で、バンドソーを使用して冷凍マグロの加工作業中、誤って手を滑らせ、右手親指がバンドソーの刃に接触し負傷した（メッシュ保護手袋未着用）。	41	165	8	50～ 99
2017	12	14~15	作業中に空のパレットを取ろうとしたところ、手を滑らせパレットが落下し、右足の親指の上に当たった。	46	391	4	100～ 299
2017	12	13~14	派遣先製作所のルームエアコン製造ライン最終作業にて、パネル（350mm、横120mm、奥行300mm、重さ500g）を段ボールから取り出してシールを貼り、キッティングハンガーへ表向きに置く作業で、1日約1000台超分行っていた。数ヶ月前から手首に違和感があるとの申し出があり、別の軽作業に変更するなどして様子を見ながら作業を行っていた。その後、当月作業中に激痛があり、様子を見たが痛みが引かず受診した。	59	999	99	300～ 499
2017	12	12~13	派遣先工場内にて、包丁で余計な脂を削ぎ落とした豚肉を機械に投入する際、15kg位の豚肉を機械に投入し終え、再度肉を補充しに行く途中、床に落ちていた切れ端と脂を踏んで、腰から転倒した。その際、咄嗟に出した右手を負傷した。	54	416	2	300～ 499

2017	12	20~21	派遣先において、帰宅途中の事故である。体調不良のため早退し、自家用車で帰宅しようと駐車場から工場出口に向かって走行中、めまいがしてハンドル操作を誤り、空調の室外機に衝突した。	32	231	3	300～ 499
2017	12	18~19	作業後に清掃する際、バケツにお湯を入れ、蛇口を閉めたとき、誤ってお湯をこぼし、右腰にかかってしまった。	49	341	11	30～ 49
2017	12	16~17	派遣先にて、鋼材のリコイラー作業に従事中、巻き付け作業が終了し、コイルカー（コイルを載せた台車）が機械から離れる際、ドラムサポート（巻き付け作業中に芯を支える安全バーで、機械の出口側に設置されている）が上がったままコイルカーが動き出し、ドラムサポートに引っ掛かったコイルが奥へ抜けそうになった。被災者が咄嗟に右手で奥側のコイルを押さえたとき、奥側に設置された転倒防止バーとコイルに環指および小指を挟まれ受傷した。	24	611	6	100～ 299
2017	12	15~16	鑄造工場にて、自動車部品を製造する鑄造ラインで、自動注湯機の作業中、自動注湯機が奥の方まで移動している状態でレール上に降り、鑄型の周りにこぼれた溶湯をハンマーで除去していた。すべての注湯を終えた自動注湯機が元の位置に戻ってきたが、警報音に気づくのが遅れ、待避行動をとったが間に合わず、自動注湯機とデッキの間に挟まれ負傷した。	31	169	7	100～ 299
2017	12	14~15	客先正門付近にて営業活動で歩行中、道脇の段差を踏み外し、左足踝辺りを損傷した。	37	418	19	100～ 299
2017	12	5~6	派遣先の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し、接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げて受傷した。	38	222	6	100～ 299
2017	12	16~17	派遣先である中央センター内にて、食品のピッキング作業に従事中、通路を移動する際に、製品の袋を7袋（合計約2.5kg）抱きかかえるように持っていたため、足元が死角になり、棚から10cm程	51	379	2	100～ 299

			はみ出していた段ボール箱に躓いて転倒し、右膝を負傷した。				
2017	12	8~9	ロッカー室に向かう階段を下りている際、靴が挟まり、転落した。	54	413	1	100~ 299
2017	12	1~2	昼勤務の残業時間帯に、貨物機に貨物用パレットを載せていた。載せたパレットを固定するため、センターロックを掛けようとした際、パレットが動き出し、本人の方に近づいて来た。パレットをかわすことができず、足の甲の上にのり負傷した。	36	611	6	100~ 299
2017	12	15~16	冷凍倉庫内で、休憩室へ移動するために歩いていたときに、ゆっくり歩かなくてはならない環境の中、移動を少し急いだことにより転倒し、その際に右手を強くついてしまったため、右手首を負傷した。	43	417	2	500~ 999
2017	12	15~16	派遣先工場にて、製品を運搬する台車を2人で2台直立に並んで運搬しているときに、後ろの台車の車間距離をつめた状態で曲がろうとし、スピードを落とした際に右踵部分に台車の1番下のフレームが接触し、右膝が自分で運搬していた台車の2段目のフレームに接触した。	61	362	3	100~ 299
2017	12	9~10	工場で、当社従業員の派遣社員が研磨した自動車部品（大きさ15cm程の円盤の真中に円筒状の突起がある）を当該機械から抜こうと力を入れたとき、横で稼働していた機械の研磨するタップ（約60cm離れている）に右手人差指と中指の間が当たり負傷した。	46	153	8	300~ 499
2017	12	4~5	仕分作業中、鉄骨（高さ30cm）に右足を乗せて乗り越え、左足から空パレットに着地した際、パレットの天面の窪みに躓いて左足首を捻り、左肘と左手首、そのあと左側頭部を床にぶつけた。	46	417	2	50~ 99
2017	12	14~15	自動車部品の曲げ加工の作業中、機械と部品の上に指先を入れてしまい、指を挟まれた際に左手中指と薬指を負傷した。	30	169	7	30~ 49
2017	12	12~13	食堂にて、シンク前で振りかえった際に転倒した。	40	416	2	50~ 99

2017	12	16~17	派遣先のプレス機の前にて、プレス機のパネルを台車に降ろす作業中、1枚目のパネルを降ろし、2枚目のパネルを重ねる際に手を挟み、両手親指から手首にかけて腫れた。	51	529	7	10～ 29
2017	12	14~15	2人ペアでパイプを曲げる加工中に、もう1人が部材を外す前に本人がスイッチを押した。部材が外れていないことに気付いて、本来動作を止めるべきところ、止めずに機械の中に入り、機械のハンドルに挟まれた。	50	159	7	100～ 299
2017	12	16~17	チルド荷捌き場にてカゴ車を押して移動していたところバランスを崩し、前に転倒した。その際、左手小指をカゴ車と自分の間に入れたまま床で挟み、左手小指を剥離骨折した。	16	362	2	50～ 99
2017	12	4~5	就業先の倉庫内の仕分け場にて、荷物の仕分け作業中、台車に荷物を移すときに、台車に右足が挟まり、右足首・踵が腫れた。	34	362	7	1～9
2017	12	14~15	大型トラックの荷台（ウイング車）で、運転席の方を向き手積み作業をしていたとき、斜め後方から段ボール箱が倒れてきて下敷きになった。その際、ヘルメットを着用していたが、右こめかみ辺りを強く打った。段ボールはフォークリフトのパレットに3段で積まれ、トラックに積む際、リフトを上げた状態で手前3段が倒れた（1箱約20kg）。作業は、被災者とフォークリフト運転手の2名のみで行っており、積み込み時に声がけはしていなかった。	39	611	5	30～ 49
2017	12	7~8	冷蔵庫を運んでいるとき、躓き転倒した際に冷蔵庫が足の甲に倒れた。	69	416	2	1000 ～ 9999
2017	12	14~15	路上にて、自販機配送助手の業務中、トラックの車道側のスライドドアを開けて、積荷である飲料商品をピッキングおよび荷卸し作業をしていた。通常通りトラックの車道側でピッキング伝票を見ながら作業していたところ、賃走中のタクシーが客を降車させようとして車線を割って入り、タクシーのサイドミラーが左腰部から右臀部にぶつかり負傷した。	46	231	17	30～ 49

2017	12	10~11	コピー機の搬入作業で、屋内からトラックへ運んでいる際に10cmから15cmの段差を越えようとして左足を滑らし、コピー機を左足の上に落とし地面と挟まった状態になり骨折した。	47	611	4	100～ 299
2017	12	9~10	工場1F米置き場において、原料米の整理をしていたとき、フレコン（お米の台車）を移動させようとした際にバランスが崩れ、重さ約400kgの米袋が倒れて、右足に当たり、大腿骨を骨折した。	58	611	5	—
2017	12	13~14	個人宅で、60cmの脚立の1段目（約10cm）に足をかけ跨った状態で窓の拭き掃除をしていた。降りようとしたところ足がもつれて脚立ごと転倒し、右肘・右膝・右側頭部を打撲した。	46	371	1	50～ 99
2017	12	10~11	派遣先にて、部品にハンドラップを使用して手首を捻りながら梱包する作業を行っていた（部品の重量は5kg～15kgと様々）。しばらくして両腕に痛みが出始め、その後、痛みが酷くなり病院に行き、頸肩腕症候群と診断された。3年前に首の神経を痛めており、今回、手首を捻りながら作業したことで首にも負担がかかり、痺れが出たのではないかと診断された。	41	611	19	100～ 299
2017	12	18~19	お客様の傘を買うため、地下の店舗から階段を上って外に出たときに、店舗と歩道の境目の大理石の床が雨で濡れていたため、足を滑らせ転倒し、左足を負傷した。	31	413	2	1～9
2017	12	4~5	店内を巡回中にお客様に抱きつかれ、肋骨を骨折した。	25	911	90	1～9
2017	12	17~18	業務のため駐在している建物に隣接する駐車場にて、駐車していた自身の車両後方から運転席側に歩いている際、照明は届いていたが、足元は車両または自身の影が影響して車止めに気がつかず、躓いて転倒した。	45	419	2	500～ 999
2017	12	17~18	倉庫内にて片付け作業中、屈まなければならない場所にオーブンレンジを置いたあと、頭を上げた際に、設置されていたクランプで頭を強打し負傷した。	47	391	3	30～ 49
			作業現場にて、パレットに積まれていた梱包前の商材をパレット				

2017	12	16~17	ごと動かそうとした際に、近くにあった空のパレットに差してあったハンドリフトを使おうとした。抜けなかったために他の作業員が代わり抜こうとし、本人にパレットの上に乗って押さえてもらっていたとき、ハンドリフトを引いた反動でバランスを崩し、右手をついて転倒した。	59	379	2	100～ 299
2017	12	13~14	酒粕を包丁で切る作業が終わったあと、テーブル上の酒粕の残粉を片づけていたところ、包丁をテーブルに置いたまま作業したため、包丁に手が接触し、右手人差し指第2関節を切った。	31	364	8	50～ 99
2017	12	15~16	製造終了後の機械清掃中に、充填包装室内の架台上から備品・パーツを両手に持ってステップを降り、床に足をついた際に右足がそのままスリップし、転倒した。転倒した際に、左足腓骨を負傷した。	45	417	2	100～ 299
2017	12	11~12	事業所工場内において機械清掃中、上部に登るため機械に足のかけたところ、不安定だったためにバランスを崩し、上部にあったパイプにつかまった際、右肩を負傷した。	52	921	19	100～ 299
2017	12	21~22	作業場構内に到着後、下車してセンター内へ向かう道中において、駐輪場付近を通過中、原付バイクのエンジンオイルのような液体が地面に漏れており、それで足を滑らせて尻もちをつき、救急車で搬送された。	39	417	2	100～ 299
2017	12	18~19	構内に宅配便（小荷物）の引き取りのお客様が来て、構内から荷物を事務所に運ぶ途中、構内にあった台車に気づかず、台車に躓いて転倒した際に右手首を骨折した。	63	362	2	100～ 299
2017	12	17~18	派遣先にて仕分け作業中に、空になった箱3箱を押していた際、手に持って運べばよかったのだが、床に置いて手で押していたところ、床の継ぎ目の段差に箱が引っかかり、前のめりに転倒し、左手首を負傷した。	66	417	2	100～ 299
			段差（7～8cm）がある場所で、家具の搬入・搬出作業中に、段差に気づかず、左足を段差にのせて歩こうとしたところ、右足も段				

2017	12	13~14	差にのせなければと焦ってしまい、左足に全体重がのったため、左足を捻って骨折した。	24	417	19	1~9
2017	12	12~13	派遣先において業務中、1才児のクラス内にあるトイレで、子供のトイレを済ませ、抱き上げて移動しようとした際、置いてあったおまるに右足小指を強打し受傷した。	45	911	3	100~ 299
2017	12	15~16	居室ベッドに寝ている利用者を移乗する際、利用者がベッドの下の方に寝ていたため、ベッドの上の方へ移乗させようと足を踏ん張ったとき、左足脛に激痛がはしった。	42	911	19	50~ 99
2017	12	16~17	障害者福祉サービス事業所にて、利用者の送迎を終え、車を洗車するため車庫に出入りした際、出るときにシャッターに右肩を打ちつけ、右肩腱板断裂した。	73	419	3	50~ 99
2017	12	11~12	山間部で測量（観測作業）中、視通障害の竹を伐採し、斜面で伐採した竹を鎌を使って細かく切っているとき、誤って鎌の刃が右足向こう脛に当たり負傷した。	41	364	8	50~ 99
2017	12	23~24	センター内で、ベルトコンベアの上にブルーボックスをのせ、貴重品横の置き場へ移動しようとした際、ベルトコンベアを渡る板の上を歩行していたところ、地面との段差に気づかず左足を踏み外し、左足首と膝を捻った。	37	417	19	100~ 299
2017	12	7~8	出勤当日、通用口より通路を進み、右手にある勤怠システムにて勤怠（出勤）処理を行ったあと、その先にある5、6段の階段に足が躓いて転倒した。	29	413	1	100~ 299
2017	12	9~10	製作所本工場内で、60tプレス機（9号機）にて重機フィルターの部品のプレス加工中、手動ですべきところを足踏みに切り替えてプレス作業をしていたところ、製品を金型に置いた瞬間、手を引く前に誤って足を踏んでしまい、プレスが下りてしまった。	20	154	7	100~ 299
2017	12	16~17	業務で郵便局に郵便物を出しに行った際、道路の端を歩行中、張っていたロープに躓き転倒し、路面に左膝を強打して受傷し、	51	417	2	100~

			救急搬送された。				299
2017	12	19~20	作業中、トイレに行きたくて急いでいたところ、出入り口付近の床が濡れていたため滑って転倒し、慌てて左手をついたが、左手も滑り、左肩を強打して負傷した。	48	419	2	100~ 299
2017	12	23~24	集塵機の清掃作業で、エアブロー中にバランスを崩して転倒し、右手を床についた際に右手首を骨折した。	61	391	2	50~ 99
2017	12	14~15	派遣先事業所の管理栄養部下膳室の食器洗浄機前で、食器消毒保管庫に食器の入ったかごを入れたあと、食器洗浄機から出てくる食器を取ろうと移動した際に、滑って尻もちをつき、背骨付近を圧迫骨折した。	66	417	2	30~ 49
2017	12	15~16	派遣先工場内でパック詰めのお餅を冷凍庫へ移動するため、トレー（縦50cm、横30cm、高さ10cm、重さ約2kg）に並び入れて、台車に19段積み上げる作業を連日していたところ、腕が段々と痛くなり、病院で右上腕2頭筋断裂と診断された。	49	921	19	100~ 299

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html